

Retek® Data Warehouse 10.2



オペレーションガイド



企業本部

Retek Inc.

Retek on the Mall

950 Nicollet Mall

Minneapolis, MN 55403

888.61.RETEK (toll free US)

+1 612 587 5000

本マニュアルで説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもとに提供され、その契約条件に従う場合にのみ使用できます。

本マニュアルの全部または一部を、Retek Inc. (Retek on the Mall, 950 Nicollet Mall, Minneapolis, MN 55403) の書面による明示的な許諾なくして複製または配布することはできません。

本マニュアルの情報は予告なく変更されることがあります。

欧州本部

Retek

110 Wigmore Street

London

W1U 3RW

United Kingdom

電話番号 (代表)

+44 (0)20 7563 4600

セールス窓口

+44 (0)20 7563 46 46

Fax: +44 (0)20 7563 46 10

Retek は内容の保全を図るため、製品資料を読み取り専用フォーマットで提供します。Retek カスタマサポートは、Retek の許可なく変更された資料についてはサポート致しかねます。

Retek® Merchandising System™ は、Retek Inc. の商標です。

Retek、および Retek のロゴは、Retek Inc. の登録商標です。

この情報は未公開であり、機密保持契約、企業秘密、およびその他の法律によって保護されています。出版に際しては、次の事項に準拠するものとします。

©2002 Retek Inc. All rights reserved.

Retek 日本オフィス

〒107-0061

東京都港区

北青山 3-6-7

青山パラシオタワー 11F

+81 (0)3 5778-7620

Fax: +81 (0)3 5778-7640

本マニュアルで言及されている他の製品名はすべて、各社の商標または登録商標であり、それに準じた取り扱いをする必要があります。

米国にて印刷。

カスタマサポート

カスタマサポート時間帯:

カスタマサポートは、電子メール、電話、Web アクセスによって 365 日、週 7 日間 (24 時間) ご利用いただけます。

選択したサポートオプション (スタンダード、プラス、プレミアム) によっては、特定のサービスの提供回数が制限される場合があります。重大度 1 の (深刻な) 問題の処理は、週 7 日間 (24 時間) ベースで行われ、問題が解決されるまで、アクティブメンテナンス中のすべてのクライアントは継続的に監視されます。

お問い合わせ方法 連絡先

インターネット (ROCS) www.retek.com/support
Retek 社のお客様向け Web サイトです。問題に関する最新の情報を参照することができます。

電子メール support@retек.com

電話 米国およびカナダ: 1-800-61-RETEK (1-800-617-3835)
その他の地域: +1 612-587-5800
EMEA: 011 44 1223 703 444
アジア太平洋: 61 425 792 927

メール Retek カスタマサポート
Retek on the Mall
950 Nicollet Mall
Minneapolis, MN 55403

カスタマサポートにご連絡いただく前に、下記の内容をご確認ください。

- 製品のバージョンおよびプログラム/モジュールの名前
- 具体的、技術的な症状 (業務に与える影響を含む)
- 問題の詳細な再現手順
- 正確なエラーメッセージ
- 問題の操作を確認できるスクリーンショット (手順ごと)

目次

第 1 章 序文	1
RDW およびデータウェアハウスとは	2
テクニカルアーキテクチャ	3
ディメンション処理	4
ファクト処理	5
RDW におけるレコードの更新処理	6
補足情報	6
第 2 章 ディメンションデータ概念	7
RDW のディメンション処理の概要	7
RDW 10.2 のディメンション	9
メジャーチェンジと下位レベルディメンション	10
マイナーチェンジと最上位レベルのディメンション	11
処理中のアクション	11
DM テーブルのメンテナンス列	12
キーと識別子	12
Next_key_val	12
as-was と as-is	13
プッシュダウン	13
RDW のディメンション処理フローの概要	14
下位レベルディメンション用データの準備	14
下位レベルディメンション用データの準備フローの説明	16
下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー	17
下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフローの説明	19
最上位レベルディメンションの処理	20
最上位レベルの処理データフローの説明	22
データマートテーブル	22
ディメンションデータマート (DM) テーブル	23

第 3 章	ファクトデータ概念	25
	RDW のファクト処理の概要	25
	ファクトのファンクションエリア	27
	ファクトテーブルのタイプ: ベースと集計	28
	ファクトの一般的な処理	29
	ファクトの読み込みに関する詳細な説明	30
	ベースファクトの読み込みプロセスフローの説明	32
	ファクト集計	33
	ポジショナルファクト集計	33
	標準ファクト集計	35
	ファクトプロセスフロー (ファクト集計の説明)	36
	導出データマート	38
第 4 章	圧縮とパーティション化	41
	圧縮の概要	41
	圧縮とは何か	41
	圧縮のメカニズム	42
	圧縮テーブルと CUR テーブル	43
	メジャーチェンジへの対応	44
	パーティション化 (Oracle クライアントのみ)	45
	パーティション化計画の概要	45
	RDW パーティション化の実装	46
	MicroStrategy 7 のパーティション化計画および要件	48
	パーティション化の設定とメンテナンスおよび圧縮在庫テーブルの ウェアハウスパー ティションマッピングの例	50
	Oracle によるパーティションの実装	53
	サマリー	54
第 5 章	RDW プログラムの概要	55
	プログラムの機能	55
	プログラムリターンコード	55
	プログラムステータス制御ファイル	55
	再起動/復旧	56
	メッセージログ機能	58
	プログラムエラーファイル	59
	DWI 拒否ファイル	60
	スキーマファイル	60
	コマンドラインパラメータ	61
	パーティション化	62

一般的な実行およびデバッグの状況	62
DWI ディメンション抽出	63
DWI ファクト抽出	64
RDW ディメンション読み込み	68
RDW ファクト読み込み	69

第 6 章 RDW のインターフェイス71

Retek Merchandising System	73
ディメンションデータ	73
ファクトデータ	73
Retek Sales Audit	74
Retek TopPlan	75
Retek Customer Order Management	75
クライアント提供のデータ	76

第 7 章 プログラムフロー図77

バッチスケジュール	77
バッチスケジュールの設定	77
dwi_config.env の設定値	78
rdw_config.env の設定値	78
RMS、ReSA、および RDW バッチスケジュール	79
TopPlan から RDW へのスケジューリング	79
未定義ソースからのデータ	79
DB2 クライアント専用の RDW バッチスケジュール	80
プログラムフロー図	80
凡例: RDW 10.2 ディメンションプログラム	81
凡例: RDW 10.2 ファクトプログラム	87

第 8 章 プログラムの参照リスト95

ディメンションプログラム	95
ファクトプログラム	110
メンテナンスプログラム	130
プログラムタイプおよびオペレーションタイプの説明	136
ディメンションタイプ	136
ファクトタイプ	142
メンテナンスタイプ	149

付録 A アプリケーションプログラミングインターフェース (API) の フラットファイルの仕様	151
API フォーマット	151
ファイルレイアウト	151
すべての API に共通の一般的なビジネスルールおよび標準	152
ディメンション	153
抽出および読み込み	153
読み込み専用	187
ファクト	198
抽出および読み込み	198
読み込み専用	231

第 1 章 序文

Retek Data Warehouse (RDW) バージョン 10.1 は、Retek Extract Transform and Load (ETL) 1.7.X フレームワークと連携して動作します。このアーキテクチャにより、高性能データ処理ツールが最適化され、データベースのバッチ処理が並列処理の利点を最大限に発揮できるようになります。さらに、RDW は従来の Oracle だけでなく、IBM の DB2 Universal Database (UDB) および NCR の Teradata に拡張することもできます。

RDW クライアントは、ETL の実装により、次の機能の利点を得ることができます。

- データベースの独立性: RDW を各種データベースプラットフォーム上に配置できます。
- 並列コンピュータテクノロジー:
 - スタンドアロンソリューションの柔軟性を高めます。
 - データベースのバッチ処理に並列処理の利点を最大限に応用できます。
 - システムとデータベースサーバーの並列処理を利用しながらスケーラビリティを向上します (読み取り、書き込み、トランスフォーメーション、集計)。
- アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) の応用: より手軽なカスタマイズを実現します。
- テーブルトリガの排除: ソースシステムに対する負荷を軽減します。
- Extensible Markup Language (XML) スクリプト: 有効な演算子を使用することで、フレームワークがファクトデータおよびディメンションデータを効率よく処理できるようにします。
- 無駄をなくした ETL コード: コードのボリュームを減らし、複雑さを排除することにより、データの格納領域の節約、簡単な実装、メンテナンスに必要な手間の軽減を実現します。

RDW およびデータウェアハウスとは

データウェアハウスとは、Retek Merchandising System (RMS) などのトランザクションシステムのデータを格納、照会するための物理的な場所、つまりデータベースです。RDW を使用するには、RMS、Retek Sales Audit (ReSA)、Retek TopPlan などのソースシステムから、既存のデータを初期入力しておく必要があります。

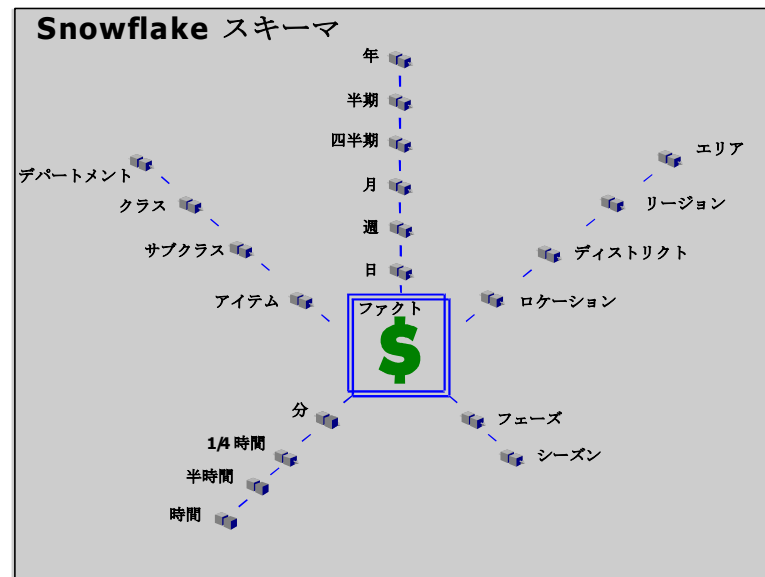
RDW では、データウェアハウスへの入力に非常に高度な方法が使用されています。当該の技術については、このガイド全般に詳述されているように、たとえば、RMS ソースシステムからデータを抽出して、それを変換し、ウェアハウスに読み込むといったバッチプログラム (本ガイドでは通常 "モジュール" と呼ばれる) の使用がその例として挙げられます。データをデータウェアハウスに読み込む方法は、"ファクトデータ" か "ディメンションデータ" かによって異なります。

ファクトデータとディメンションデータの違いを理解するには、まずデータウェアハウスにおけるデータの処理を理解する必要があります。RDW は、データとのインターフェイスとして機能するオンライン分析処理 (OLAP) アプリケーションを使用し、デザイン済みのカスタムクエリおよびレポートを介してデータを表現する手段を提供します。データウェアハウス自体も、有用なスキーマにデータを構造化することにより、この機能をサポートしています。ここで使われている 'スキーマ' とは業界標準用語であり、データウェアハウスにおけるデータのモデル化および編成の方法を指しています。後で説明する 'スキーマファイル' と混同しないように注意してください。スキーマファイルの詳細については、『RETL 1.7.X プログラマーズガイド』を参照してください。

ファクトデータは、このスキーマに基づいて存在します。ファクトとは、データウェアハウスのソースシステム (RMS など) で発生するトランザクションのことを指します。店舗またはウェアハウスにおいて、売上トランザクションファクトや在庫棚卸ファクトを確認したり、在庫の移動ファクトを確認することもあるでしょう。

通常、ファクトは数値であるため、それ自体に意味はありません。たとえば、ある店舗での売上数が 6、ウェアハウスの在庫アイテムが 15 個、または 300 品目の在庫移動などの数値情報は、それだけでは役に立ちません。RDW において、ファクトデータに真の意味を与えるものは、ファクトが存在する、複数のディメンション間の論理積です。具体例を挙げると、水曜日に店舗 B での売上数が 6、先週の月曜日にシカゴのウェアハウスで 15 台の食器洗い機が在庫残、または 2 月最後の週にセントルイスのウェアハウスからデンバーのウェアハウスに 300 着のブラウスを在庫移動、となります。すなわち、データウェアハウスに存在するディメンションデータは、ファクトに対する基準データとして位置付けられます。

データウェアハウスのスキーマは、データエレメントとその相互関係を表すものです。次の図では、RDW で使用されるスキーマについて説明します。



RDW 10.1 の Snowflake スキーマ

RDW のスキーマ "snowflake" では、ファクトを中心とする、放射状に延びた線上のエレメントから構成されます。これらの点は、基準点として機能することにより、ファクトに意味を与えるディメンションデータです。

RDW には、ディメンションデータと比べて、大量のファクトデータが格納されています。ファクトは、ディメンションよりも数が豊富であるうえ、データベースに新しいデータが追加されるたびに、絶えず変更されます。これに対し、ディメンションデータは、めったに変更されません。データウェアハウスに新しい店舗を追加する必要性は、毎日処理しなければならない、売上トランザクション (ファクトデータ) の追加に比べれば非常に頻度の低いものです。ファクトデータおよびディメンションデータは、その性質の違いにより、RDW によるデータの読み込みおよび操作に、それぞれ異なる技術が採用されています。

この章の後半では、ディメンション処理およびファクト処理の相違点について説明します。どちらも、RDW をデータウェアハウスとして正しく使用するための有用な情報が記載されています。以降2つの章で、ディメンション処理とファクト処理の概念について、より詳細に説明しています。

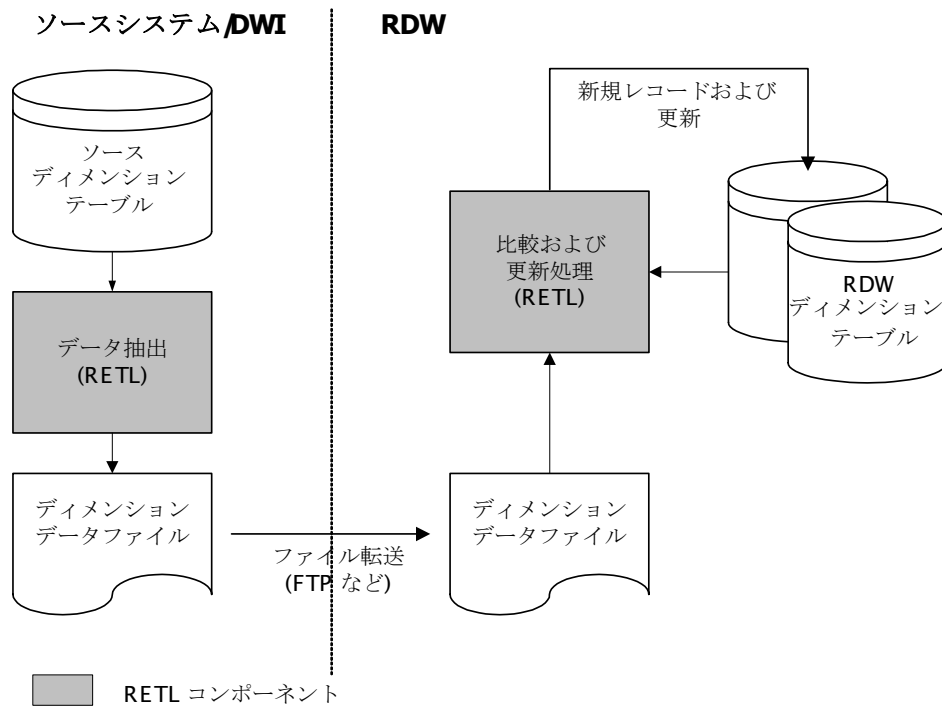
テクニカルアーキテクチャ

RETL アーキテクチャの主な目的は、強化された並列処理を利用しながら、合理的なコードを実行する、データベースに依存しないソリューションを提供することにあります。RETL フレームワークは、XML スクリプトに記述された有効な演算子を実行、解析します。

この項では、RDW 10.1 の3つの機能 (ディメンション処理、ファクト処理、レコード更新処理) について説明します。

ディメンション処理

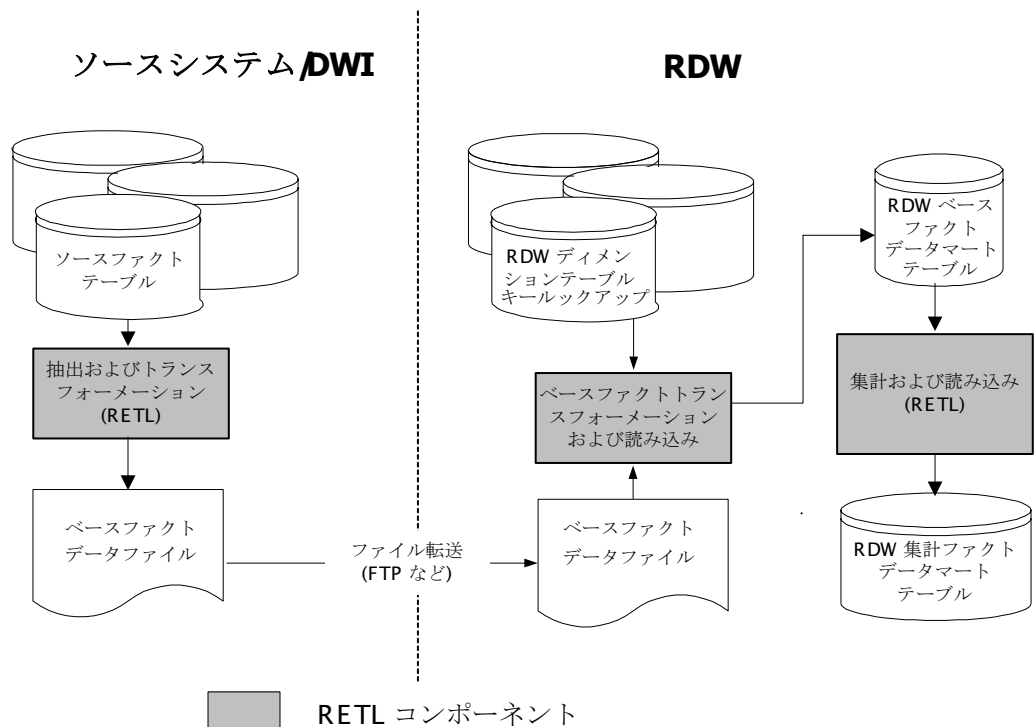
次の図は、RDW 10.1 で採用された、ディメンション処理アーキテクチャを示しています。このプロセスには、現在のディメンションデータを (該当するテーブル全体のスナップショットとして) ソースシステムから抽出したり、それを RDW の履歴データと比較したりする作業が含まれます。この比較により、ディメンションの変更が日に何度も発生するようになるときに、逐一変更内容を取り込む必要がなくなります。比較作業は RETL フレームワーク上で実行され、RDW のデータマートテーブルに直接書き戻されます。



RDW 10.1 におけるディメンション処理

ファクト処理

次の図は、RDW 10.1 におけるファクト処理を示しています。DWI 機能の向上により、RETL コンポーネントはソースシステムからのデータの抽出を行います。本日分の変更済み新規ファクトまたはそのいずれかが抽出されます。出力されたデータは、変換、集計され、ステージングテーブルを使用せずに RDW に直接読み込まれます。



RDW 10.0 におけるファクト処理

RDW におけるレコードの更新処理

RETL は、現在、データベースの更新演算子をサポートしていないため、データベースへの実際の更新作業は、標準更新または差分更新のどちらかで実行されます。標準更新とは、新レコードを使用して、ターゲットテーブル内の古いレコードを置き換えることをいいます。差分更新 (ファクト処理にのみ適用) とは、新レコードとターゲットテーブル内の古いレコードとを合わせて、古いレコードを、新たに集計したレコードで置き換えることをいいます。

注: このオペレーションガイドに登場する一時テーブルは、毎日、一時テーブルを使用するさまざまなバッチプロセスが完了した後でバッチコードによって必ずドロップされます。

標準更新の説明

- 1 新規レコードが格納されているデータセットを一時テーブルに書き込みます。
- 2 この一時テーブルを使用して、ターゲットテーブル内の古い更新レコードから削除するレコードを決めます。
- 3 ターゲットテーブルから古いレコードが削除されます。
- 4 ターゲットテーブルに新しいレコードが挿入されます。

差分更新の説明 (ファクト処理にのみ適用)

- 1 新規レコードが格納されているデータセットを一時テーブルに書き込みます。
- 2 更新するレコードがターゲットテーブルから読み取られ、2 つめの一時テーブル (一時テーブル 2) が作成されます。
- 3 一時テーブル 2 を使用して、ターゲットテーブル内の古い更新レコードから削除するレコードを決め、削除します。
- 4 一時テーブルと一時テーブル 2 のレコードが組み合わせられ、新しいデータセットが形成されます。
- 5 目的のファクトフィールドを集計するため、新しいデータセットが、ターゲットテーブルの主キーによってグループ化されます。
- 6 結果のデータセットがターゲットテーブルに書き込まれます (つまり、レコードがターゲットテーブルに挿入される)。

補足情報

RDW 10.1 に関する詳細な情報については、次のリソースを参照してください。

- RDW 10.1 データモデル
- RDW 10.1 インストールガイド
- RETL 1.7.X プログラマーズガイド
- RDW 10.1 ユーザガイド
- RDW オンラインヘルプ

第2章 ディメンションデータ の概念

この章では、RDW がソースシステムのディメンションデータをどのように処理するかを説明します。この章では、RDW 10.1 の次のディメンションデータの概念について説明します。

- ディメンションデータ処理の概要
- RDW 10.1 におけるディメンション
- ディメンションの処理フローの詳細

RDW のディメンション処理の概要

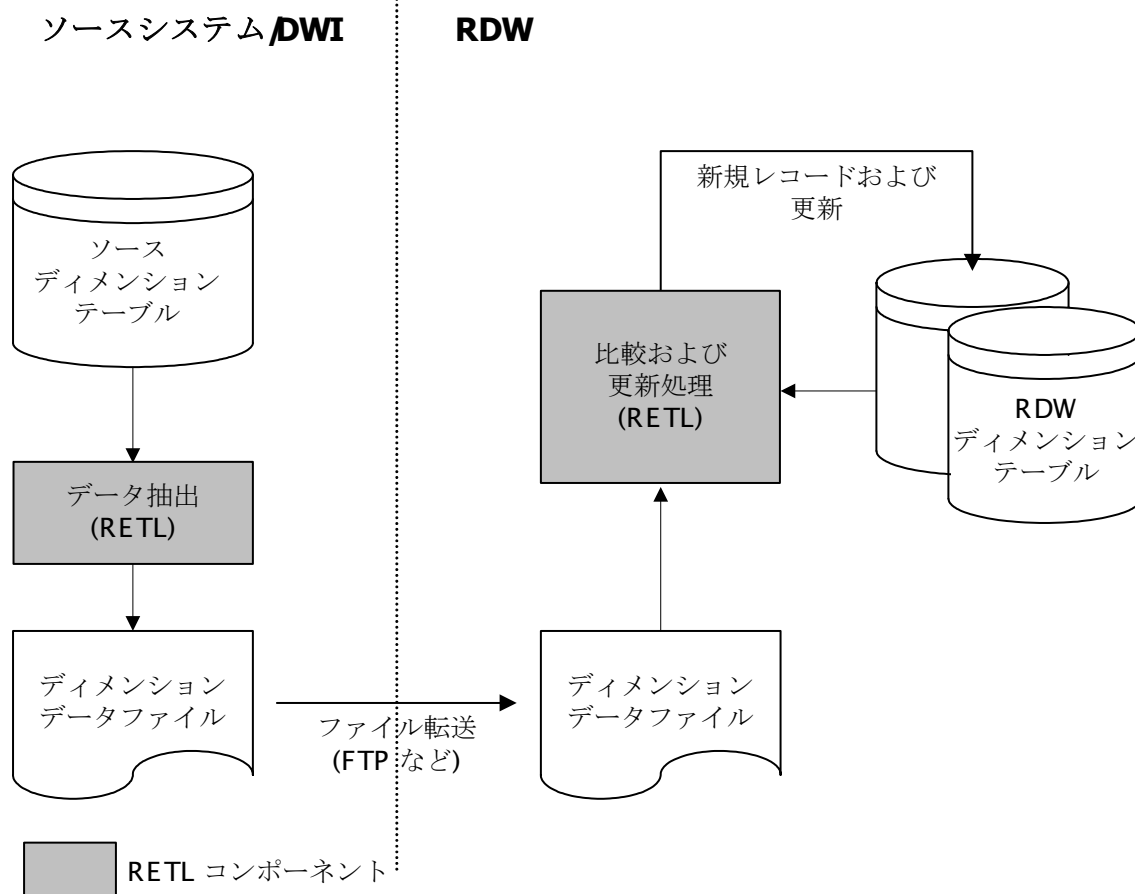
以下の説明および「RDW 10.1 におけるディメンション処理」図に、RDW のディメンション処理の概要を示します。

この処理には、該当するテーブルのスナップショットとしてのソースシステムデータの抽出が含まれます。

このデータファイルは、FTP などの一般的なデータ転送プロセスを使用して、RDW サーバーに転送されます。

データの比較処理および更新処理が行われます。この比較により、ディメンションの変更が日に何度も発生するようになるときに、逐一変更内容を取り込む必要がなくなります。比較作業は RETL フレームワーク上で実行され、RDW のデータマートテーブルに直接書き戻されます。

RETL が果たす役割は、データの抽出、比較処理、更新処理である点に注目してください。



RDW 10.1 におけるディメンション処理

RDW 10.1 のディメンション

RDW は、次の表に示したディメンションから構成されています。[商品] と [組織] は、'メジャーチェンジ' (RDW の用語) の対象となる場合があるため、太字で示しています。以降、この概念について詳細に説明します。

RDW 10.1 ディメンション	
[組織] と [商品] ディメンションはリクラスゼーション可 (メジャーチェンジ)	
カンパニー	競争業者
通貨コード	顧客アカウント
顧客および顧客人口統計	顧客クラスタおよび商品クラスタ
顧客地区	従業員
アイテム-ロケーション特性 クロスディメンション	アイテム-取引先-ロケーション クロスディメンション
市場データ	組織
計画シーズン	商品
商品シーズン	特売
理由	地域特性
レジ	ReSA 合計タイプ
売価タイプ	サブトランザクションタイプ
取引先	入札タイプ
時間 (対象期間、時間 (日)、 類似時間)	証票日付帯

メジャーチェンジと下位レベルディメンション

メジャーチェンジは、商品または組織におけるエンティティの階層に変更が生じた場合に常に発生します。商品階層の変更には、グループ、デパートメント、アイテムのリクラスゼーションが、組織階層の変更には、エリア、リージョン、ディストリクト、ロケーションのリクラスゼーションがあります。このタイプのリクラスゼーションは、階層におけるエンティティ間の関係を変更します。ディメンションのうちメジャーチェンジの対象にできるのは、下位レベルのディメンションとして位置づけられている [商品] および [組織] だけです。両者は、メジャーチェンジが可能な下位レベルのディメンションであるといえます。[商品] と [組織] は集計ディメンションであるため、メジャーチェンジを行うと、対応する階層内のデータ集計に変更が生じます。

メジャーチェンジの前後のエンティティについて、履歴を追跡したり比較したりすることができます。たとえば、デパートメントとクラスの商品階層内で、あるサブクラスから別のサブクラスにアイテムを移動するとします。小売業者にとっては、このようにアイテムを移動 (リクラスゼーション) する正当な理由がいろいろ考えられますが (システムの別のアイテムと関連付けてアイテムを追跡する必要性があるなど)、RDW にとっては、依然として、新しい商品階層のロケーションから、つまり変更前と変更後の両方について、そのアイテムの売り上げを追跡しなければなりません。詳細については、後述の「プッシュダウン」および「as-was と as-is」の項を参照してください。この章の冒頭の図「RDW 10.1 におけるディメンション処理」に "比較および更新処理" というラベルのボックスがあります。これはメジャーチェンジの処理が発生するタイミングを示しています。RDW は、リクラスゼーション済みのアイテムに、(同じ例を使用するための) 新しい代理キーを割り当てることにより、メジャーチェンジの処理を実現します。代理キーとディメンション識別子を組み合わせることにより、RDW を使用して、ディメンションと任意の時点における関連トランザクションをすべて追跡することが可能となります。

マイナーチェンジと最上位レベルのディメンション

マイナーチェンジでは、エンティティのアトリビュートは変更されますが、階層におけるレベルは維持されます。

マイナーチェンジだけが可能なディメンションは、最上位レベルのディメンションと呼ばれ、[組織] と [商品] を除くすべてのディメンションがこれに当たります。最上位レベルのディメンションは固定的であり、レベルをリクラスゼーションすることはできません。[商品] や [組織] ディメンションをマイナーチェンジすることは可能ですが、マイナーチェンジでは、これらの階層を変更するには不十分です。

マイナーチェンジの一例としては、ディメンションの名称フィールドを変更する場合があります。たとえば、"ユーモラスなカード" というサブクラスの名称を "面白いカード" のように変更することができます。このタイプの変更は、サブクラスのレベルが、階層内で上下に移動するような類の変更ではありません。名称の変更を単にレコードに反映させるものであり、新しい代理キーを挿入する必要はありません。RDW のディメンション処理では、メジャーチェンジよりも、マイナーチェンジのほうが処理が複雑にならずに済みます。

処理中のアクション

RDW のディメンションエンティティには、実際にデータを処理するときに 4 種類のアクションが発生します。

- **挿入:** 作成されたエンティティは、システムに挿入されます。
- **メジャーチェンジ:** メジャーチェンジが発生した場合、エンティティは効率的にクローズ/再挿入されます。これにより、変更前後の履歴を追跡したり、比較したりすることができます。詳細については、後述の「プッシュダウン」および「as-was と as-is」の項を参照してください。
- **マイナーチェンジ:** エンティティにマイナーチェンジが適用されると、そのエンティティのアトリビュートが変更されます。階層内でのレベルは変更されません。
- **クローズ:** 有効ではないエンティティは、クローズされたと見なされます。トランザクションシステムのエンティティをクローズすることには、システムからそのエンティティを完全に削除することも含まれますが、RDW のような分析システムでは、エンティティのレコードが保持されるため、その履歴を引き続きレポートすることが可能です。ただし、RDW のディメンションマトリックスだけは例外です。ソースシステムの 2 つの識別子 (および代理キー) 間の最新の関係だけが保持されます (たとえば、PROD_ITEMLST_MTX_DM テーブル上の item_key と itemlst_key)。PACK_ITEM_MATRIX というディメンションマトリックステーブルの場合には、クローズされたリクラスゼーションの履歴が保持されることに注意してください。

DM テーブルのメンテナンス列

- **dm_recd_last_updt_dt**: 当該レコードが最後に、挿入、更新、またはクローズされた日付。
- **dm_recd_load_dt**: 当該レコードの読み込み/作成が行われた日付。
- **dm_recd_close_dt**: 当該レコードが最後に有効であると判断された日付。クローズは、レコードがソースシステムから削除された場合、またはレコードにメジャーチェンジが適用された場合に発生します。レコードが有効なディメンションレコードである場合は、dm_recd_close_dt として既定値 '4444-04-04' を持ちます。
- **dm_recd_curr_flag**: レコードが有効であるかどうかを示すフラグ。有効な値は "Y" (Yes) と "N" (No) です。

キーと識別子

RDW の大半のディメンションは、"代理キー" または "擬似キー" などと呼ばれるキーと、"idnt" と略されることがある識別子を保持しています。RDW において "識別子" という用語は、エンティティに割り当てられる識別子を指します。識別子は、エンティティがソースシステムに作成された時点で割り当てられます。ただし、RDW の識別子は、必ずしもエンティティを一意に識別するためのものではありません。エンティティは、メジャーチェンジの影響を受ける場合があります。メジャーチェンジでは、エンティティを一度クローズしてから、再読み込みすることで、階層に対する変更を記録します。こうすることで、変更前後の履歴を追跡できるようにしています。また、エンティティは、ソースシステムから削除されたり、その識別子が後で再利用されたりします。どちらの状況においても、RDW テーブルに、同じエンティティに対する複数のレコードが生成されてしまいます。同じエンティティの異なる状態 (または、同じ識別子の異なるエンティティ) を区別するために、RDW は、それを一意に識別する、その他の値を使用する必要があります。RDW のエンティティを識別する一意の値としては、代理キーが使用されます。データマートのディメンションテーブルにエンティティが挿入されるたびに、新しいキーが割り当てられます。

Next_key_val

代理キーを必要とするデータマートのディメンションテーブルは、それぞれ MAINT_DIM_KEY_DM テーブル上に 1 つのレコードを持ちます。このレコードには、ディメンションに対する、次に有効な代理キーが保持されます。ディメンションの読み込みプログラムは、実行の初期段階でこのレコードを照会し、最終段階には、次回の実行に使用するための、次に有効なキーで、レコードを更新します。ソースシステムの識別子が一意になっていることがあることに注意してください。これらは時間が経過しても変わりません。RDW で変更の追跡が必要でない場合には、該当するディメンションテーブル (ORG_LOC_TRAIT_DM など) に代理キーが作成されないことがあります。

as-was と as-is

RDW で行われる主な分析のタイプに、ドリルがあります。ドリルとは、レポートを特定のレベルで観察すれば、その後、同じレポートを次に低いレベルで観察できるようになり、そうしていくことで、データをより詳細なレベルで吟味することを可能にする手法をいいます。このタイプの分析では、RDW で階層をしっかりと定義することが非常に重要になります。ドリルパスが明確であり、ファクトは集計のレベルでつじつまが合っている必要があります。この要件は、エンティティのレベルに生じた変更が、なぜ "メジャー" であるのかを説明しています。

メジャーチェンジの効果の 1 つに、2 つの代理キーの存在により、エンティティのパフォーマンスを、メジャーチェンジの前後で比較できるようになることが挙げられます。また、ファクトの集計テーブルについても、データのつじつまが合う状態に維持されます。将来のすべてのデータは、エンティティの新しいほうのキーに基づいて合計されるのに対し、すべての履歴は古いほうのキーに基づいて合計されるためです。これは、以前の階層を反映する履歴であるため **as-was レポート** と呼ばれます。これに対し、新しい階層を反映した、仮定に基づく履歴を **as-is レポート** と呼び、これを実現するには、ファクトの集計テーブルを排除する (レポートのパフォーマンスは低くなります) か、あるいは階層の変化に合わせて再構築する必要があります。RDW は **as-was レポート** だけをサポートしています。

プッシュダウン

パフォーマンスを最適化するために、データマートの各ディメンションテーブルには、その階層における、各世代のキーおよび識別子が保持されます。この構造のため、上位のエンティティがメジャーチェンジの影響を受けた場合は、対応するすべての子孫 (階層における下位レベル) にもメジャーチェンジが適用されなければなりません。クローズについても同じことが言えます。下位レベルのディメンションプログラムは、それぞれ、そのディメンションの直上の親テーブルと結合して、新データの親キーを取得し、当該のディメンションテーブル内のキーと比較することにより、メジャーチェンジが生じているかどうかを判断します。たとえば、あるグループが別のディヴィジョンに変わる場合、そのグループのキーが変更されます。デパートメントの新データは、当該グループのディメンションテーブルと結合して、そのデパートメントとグループの組み合わせに対応するグループキーを取得します。デパートメントのグループキーが、デパートメントのディメンションテーブルのグループキーと異なる場合は、メジャーチェンジとして認識されます。下位レベルのディメンションプログラムがそれぞれ個別に実行された後で、プッシュダウンの効果が現れます。

RDW のディメンション処理フローの概要

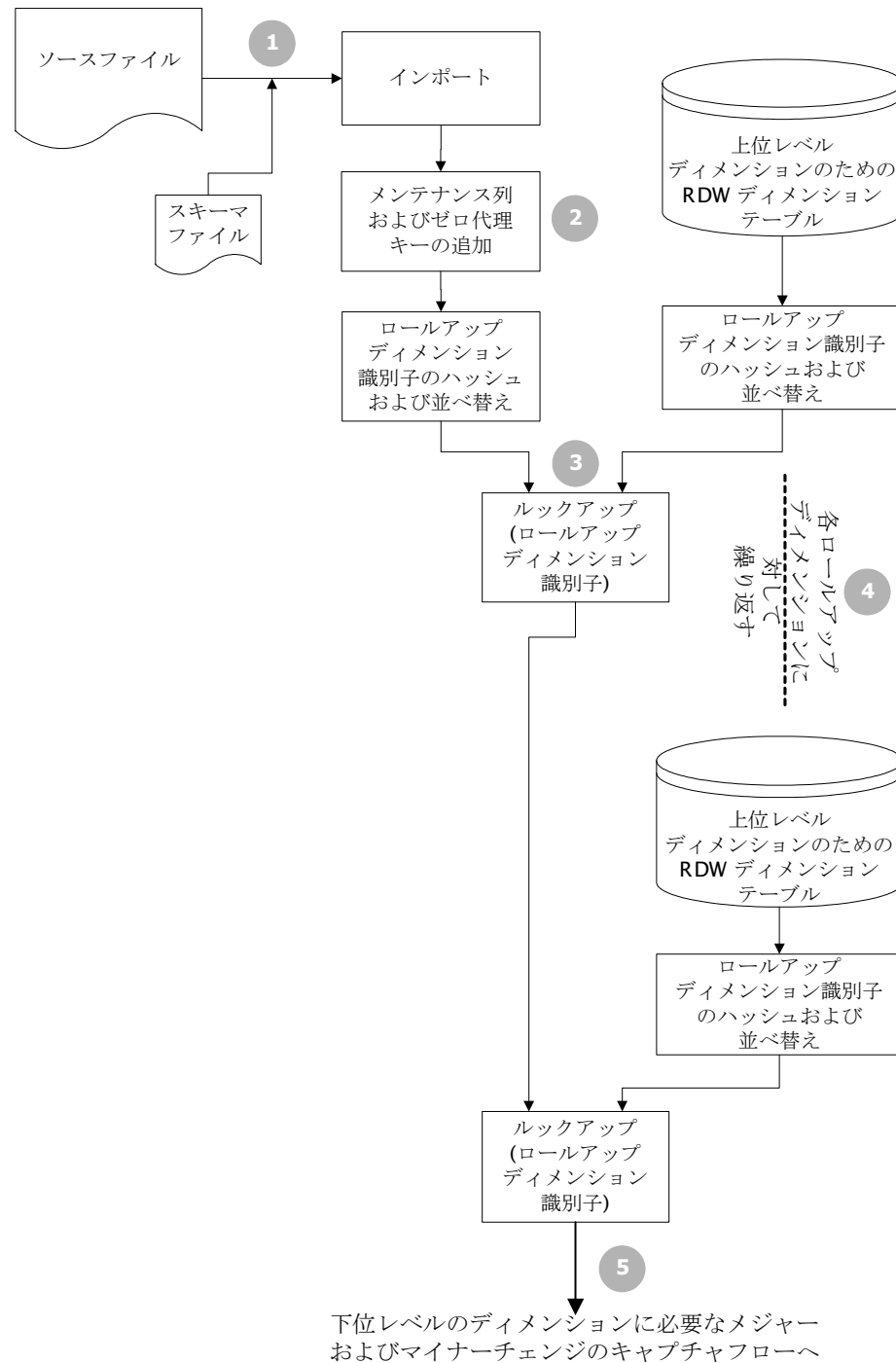
この章の残りの部分では、ソーステーブルから RDW のデータマートテーブルへのディメンションデータのフローを説明します。上述の処理は、ソースシステムから出力された、ディメンションのテキストファイルから始まります。このファイルは、RDW ライブラリ (ディメンションとメンテナンス) によって読み取られ、データがデータマートテーブルのディメンションとして読み込まれます。個々のディメンション処理モジュールは、`operation_type` および `program_type` 列の値が挿入されたメンテナンステーブル (`PROGRAM_CONTROL_DM`) のレコードを持ちます。詳細については、第 8 章「プログラムの参照リスト」を参照してください。

下位レベルディメンション用データの準備

この項のフロー図 (「下位レベルディメンション用データの準備フロー」) は、「下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー」に続くフローのステップ 1 に使用するソースデータを生成するためのものです。つまり、このフローは、独立したプロセスではなく、後続のフローの前準備になります。この 2 つのフローが合わさって、下位レベルのディメンションを更新する 1 つのプロセスとして成立します。

このフローは、親ディメンションテーブルを上位に持つディメンションにのみ適用します。つまり、最上位レベルのディメンションには適用できません。変更の比較用データセットに含まれるソースデータストリームは、RDW テーブルの構造と適合している必要があります。また、メジャーチェンジを検出したり、目的のフィールドへの挿入レコードを生成したりするための、上位レベルのすべてのキーが必要です。ソースシステム (RMS など) のディメンションデータは、通常、正規化されているため、直上のロールアップディメンションの `idnt` しか格納されていません (上位レベルの全ディメンションについて `idnt` が格納されているわけではない)。上位レベルの全ディメンションについて、すべての `idnt` とキーを取得 (RDW の処理用に非正規化) するために、新データは、RDW からの、直上のロールアップディメンションのすべてのテーブルと結合されます。確実に最新の情報が使用されるようにし、上位レベルのディメンションに生じたメジャーチェンジに対応するために、ディメンションの更新処理を適用する順番は、最上位レベルのディメンションから開始し、ベースレベルのディメンションが処理されるまで、階層を下がっていくようにします。すなわち、結合に使用される、上位レベルの RDW テーブルは、これらのディメンションの新データで、常にリフレッシュされていることになります。

下の図は、このフローを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。



下位レベルディメンション用データの準備フロー

下位レベルディメンション用データの準備フローの説明

- 1 現在のディメンションのデータファイルが、RETL コンポーネントに基づいて、ソースシステムから抽出されます。このファイルは、IMPORT 演算子および定義済みのスキーマファイルを使用して、RDW に移され、RETL のデータセットに読み込まれます。
- 2 GENERATOR 演算子が、次のメンテナンス列をデータセットに追加します(前述の「DM テーブルのメンテナンス列」を参照)。

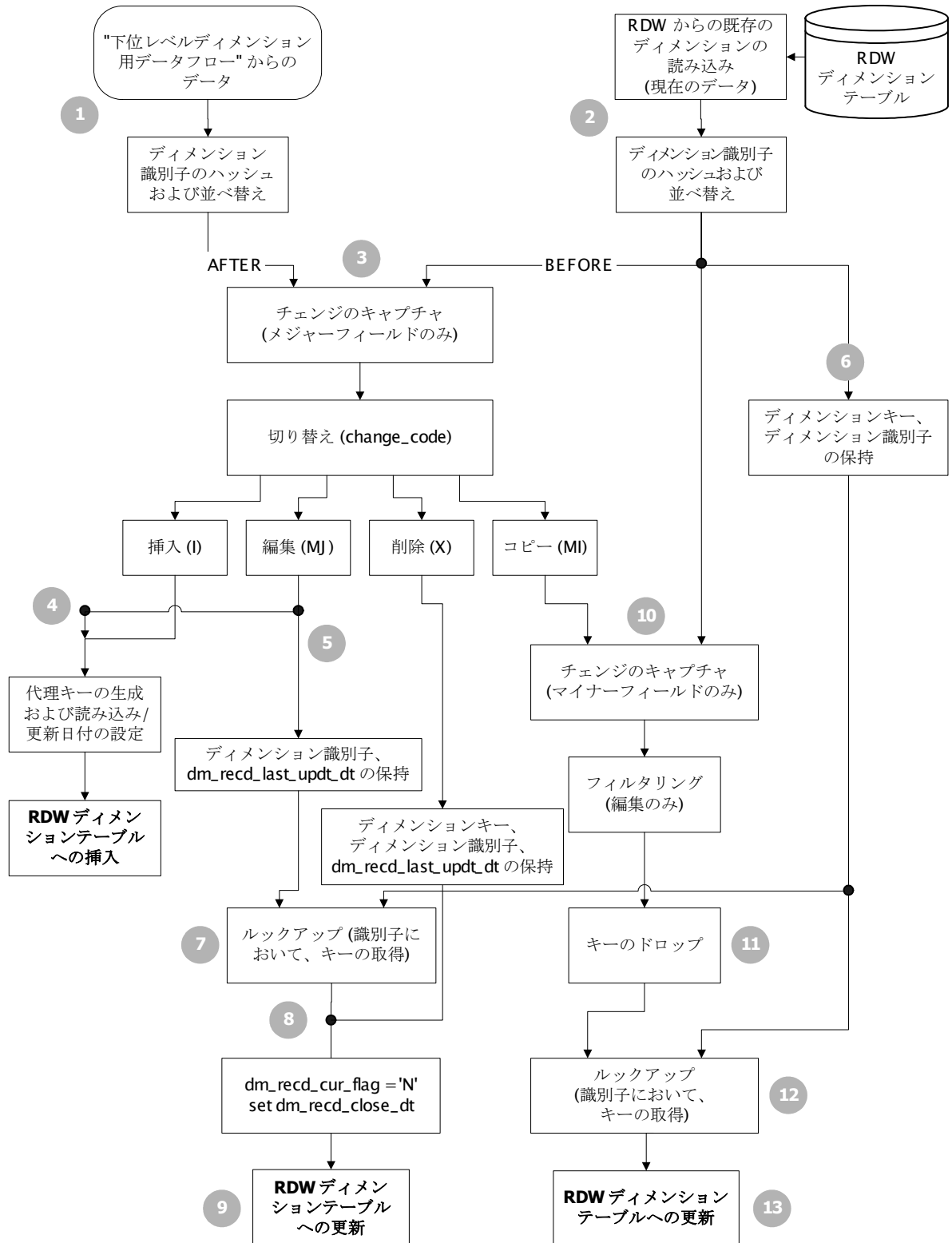
- dm_recd_load_dt
- dm_recd_last_updt_dt
- dm_recd_close_dt
- dm_recd_curr_flag

列をデータセットに追加しても、後述の「下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー」で発生する処理によって、実際に保持される列が異なることに注意してください。さらに、ブランクまたは既定の代理キーが追加され、RDW のターゲットテーブルに適合するようにスキーマが設定されます。

- 3 データセットが、RDW からの、直上のロールアップテーブルのいずれかと結合されます。たとえば、LOC ディメンションのデータセットは、ORG_DISTT_DM テーブルに結合され、ディストリクトおよびその上位ディメンションに対する代理キーが取得されます。これらのキーは RDW に冗長的に格納されます。
- 4 この結合は、ディメンションの直上に位置する、すべてのロールアップについて繰り返されます。上の例に示したように、リージョンは、ロケーションの直上のロールアップではなく、ディストリクトのロールアップであるため、これらの結合には使用されません。ただし、アイテムディメンションを処理する場合、サブクラスは、アイテムの直上のロールアップであるため、新アイテムデータに結合されます。
- 5 最終的なデータが、次のデータフロー図「下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフロー」への入力となります。

下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよび マイナーチェンジのキャプチャフロー

この項の図は、RDW の下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフローを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。



下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよび
マイナーチェンジのキャプチャフロー

下位レベルのディメンションに必要なメジャーチェンジおよびマイナーチェンジのキャプチャフローの説明

次の各番号は、上のフロー図の番号に対応しています。

- 1 ソースシステムからのデータは、RDW の既存のディメンションテーブルと完全に一致するように変換済みですが、現在のディメンションの代理キーは利用できません (ゼロに設定)。dm_recd_load_dt などのディメンションメンテナンス列はスキーマに含まれますが、どの列を保持するかについては、発生する処理のタイプ (挿入、編集、削除など) によって異なります。
- 2 データは、現在のディメンションの情報を格納する RDW テーブルから直接読み取られ、現在のレコード (dm_recd_curr_flag が Y の行) だけを格納するようにフィルタリングされます。
- 3 CHANGECAPTURE 演算子は、2 つの新データセットを比較し、次のいずれかを示す "change_code" フィールドを出力に追加します。
 - 挿入 (レコードは BEFORE ではなく AFTER データセットに存在)
 - 削除 (レコードは AFTER ではなく BEFORE データセットに存在)
 - 編集 (レコードは両方のデータセットに存在するが、値が異なる)
 - コピー (レコードは両方のデータセットに存在し、すべてのマイナーチェンジ可能フィールドが一致)

CHANGECAPTURE 演算子は "メジャー" チェンジが生じる可能性のあるフィールドだけを対象とし、比較にあたって、その他のフィールドは無視します。削除ストリームは BEFORE データセットからのレコードを渡すのに対し、それ以外のストリームは AFTER データセットを変更せずに渡します。

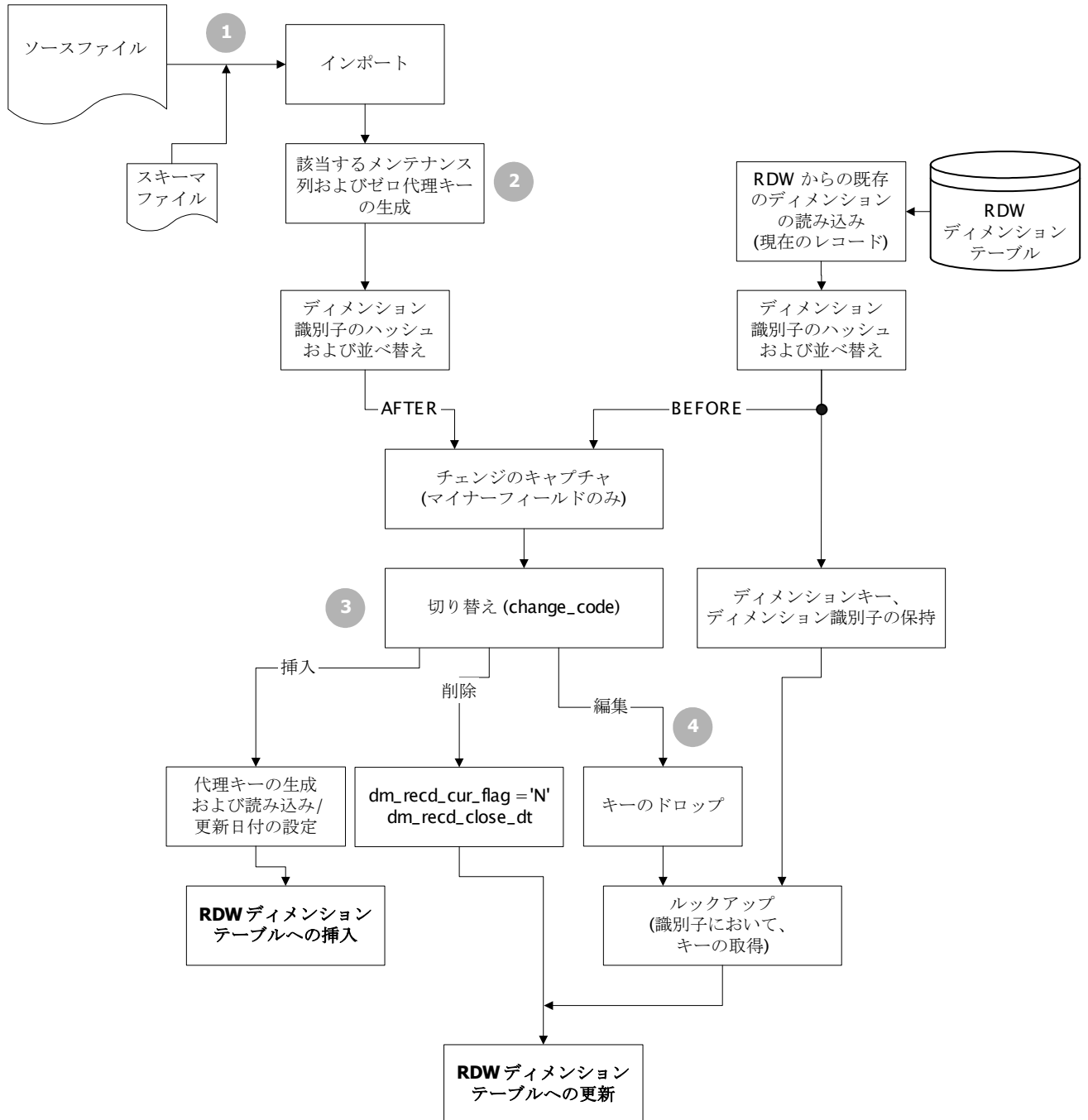
- 4 挿入および編集は、新規の代理キーを生成し、読み込み日付および更新日付を現在の日付に設定し、RDW ディメンションテーブルに挿入します。ステップ 1 からの新データセットには、RDW のディメンションテーブルにデータを入力するのに必要な情報がすべて格納されているため、これらのレコードは、それ以上結合することなく直接挿入することが可能です。CHANGECAPTURE 演算子がメジャーチェンジを検出すると、新規 RDW レコードが生成され、古いレコードはクローズアウトされます。その意味で、編集は結果的には挿入および更新になります。
- 5 メジャーチェンジでは、古いレコードはクローズアウトする必要があるため、編集ストリームには、古いレコードをクローズアウトするフローの一部が含まれます。レコードのクローズアウトでは、dm_recd_curr_flag、dm_recd_close_dt、dm_recd_last_updt_dt の各フィールドだけが変更され、その他のフィールドは変更されません。CHANGECAPTURE 演算子は、AFTER データセットからのすべてのフィールドを渡すため、idnt フィールドを除く、すべてのフィールドが削除されます。idnt フィールドは、古い代理キーを取得するために使用されます。RDW を更新するために使用される、このストリームの結果のスキーマには、更新対象のフィールドとそのキーだけが含まれます。idnt も存在しますが、同一であることが保証されています。比較は同じ idnt に対して行われるためです。

- 6 RDW のデータセットは、当該ディメンションの `idnt` とキーだけに絞り込まれ、これが、代理キーをデータセットのダウンストリームに再接続するためのルックアップテーブルとして使用されます。このステップの目的は、フィールド名が競合するのを防ぎ、ダウンストリームのデータセットが、不要な古い値を取得しないようにすることです。
- 7 このルックアップにより、すべての更新済み/挿入済みレコードについて、現在のディメンションに対する古い代理キーが取得されます。
- 8 残りのステップは、`dm_recd_curr_flag` を "N" に設定し、`dm_recd_last_updt_dt` と `dm_recd_close_dt` を更新するためのものであるため、この時点で、削除および編集は、いずれも同等の処理と考えることができます。フィールドの同じ組み合わせ (レコードの更新に必要なフィールドのみ) が、削除ストリーム用に保存されます。
- 9 RDW のデータが更新されます。RETL は直接更新できないため、このステップには、独立したプロセスが含まれます。詳細については、第 1 章「RDW におけるレコードの更新処理」を参照してください。
- 10 コピーと判断されるレコードでは、メジャーチェンジが生じないものと見なされます。ただし、マイナーチェンジが生じる可能性があります。まったく変更されていないレコードを更新してしまうことを回避するため、このステップでは、これらのレコードを現在の RDW データセットと再び比較します。ただし、今回の比較はマイナーフィールドに対してのみ行われます。編集と判断されたレコード (すなわちマイナーチェンジ) だけが、以降の処理の対象となります。
- 11 次のステップで、実際の代理キーを再フェッチできるように、代理キーフィールドがドロップされます (CHANGE CAPTURE 演算子によって代理キーは失われるため)。
- 12 `idnt` フィールドに基づく結合により、オリジナルの代理キーが再フェッチされます。
- 13 このストリームのデータは、レコード更新用の標準のプロセスを使用して、RDW テーブルへと更新されます。詳細については、第 1 章「RDW におけるレコードの更新処理」を参照してください。マイナーチェンジの反映により、このストリームには、ステップ 9 よりも多くのフィールドが含まれる点に注目してください。このロジックは、これらのストリームを組み合わせることはできないことを暗に示しています。

最上位レベルディメンションの処理

この項のフロー図「最上位レベルの処理データフロー」に、各ディメンション階層の最上位レベルの処理を説明します。この項では、単独の非階層ディメンション (通貨など) および最上位レベルのディメンション階層 (特売イベントなど) について取り上げます。下位レベルのディメンション処理で説明したルックアップはいっさい不要であり、このフローでは使用しません。

このプロセスのフローは非常にシンプルであり、抽出済みのファイルからデータをインポートし、それをマイナーチェンジ可能フィールドのターゲットデータと比較して、変更比較フローのうち、挿入とマイナーチェンジだけを使用します。次のページの図は、このフローを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。



最上位レベルの処理データフロー

最上位レベルの処理データフローの説明

- 1 現在のディメンションのデータファイルが、RETL コンポーネントに基づいて、ソースシステムから抽出されます。このファイルは、IMPORT 演算子および定義済みのスキーマファイルを使用して、RDW に移され、RETL のデータセットに読み込まれます。
- 2 GENERATOR 演算子が、次のメンテナンス列をデータセットに追加します (前述の「DM テーブルのメンテナンス列」を参照)。
 - dm_recd_load_dt
 - dm_recd_last_updt_dt
 - dm_recd_close_dt
 - dm_recd_curr_flag

さらに、ブランクまたは既定の代理キーが追加され、RDW のターゲットテーブルに適合するようにスキーマが設定されます。
- 3 この事例の CHANGECAPTURE 演算子は、マイナーフィールドに対してのみ比較を行います。メジャーフィールドは存在しません。コピーは即時に破棄されます。
- 4 マイナーチェンジだけが可能であり、レコードのクローズアウトなどは不要です。古い代理キーを再接続するためのルックアップは必要ですが、これらのレコードは直接更新されます。

データマートテーブル

データマート (DM) テーブルは、ディメンションエンティティが最終的に格納される場所です。DM テーブルは、フロントエンドから表示することができます。このテーブルは、ファクトの読み込みモジュールが、次の処理を行う場合にも使用されます。

- 識別子をキーにマッピングする。識別子は、その後、ファクトのデータマートテーブルに挿入されます。
- 集計に必要な階層の関係を決定する。

ディメンションのクローズ済みの行 (照会が不要になったアイテムなど) をクライアントが手動でロールオフまたは削除することを望まない限り、これらのテーブルはパージできません。Retek 社は、ディメンションデータのパージをクライアントが実行することを推奨しません。また、ディメンションのパージコードも提供していません。

以下のメンテナンス列のテーブルおよび付随する説明は、変更タイプを反映するレコードが、DM テーブルにどのように反映されるかを示しています。

ディメンションデータマート (DM) テーブル

	dm_recd_last_ updt_dt	dm_recd_ load_dt	dm_recd_ close_dt	dm_recd_ curr_flag
挿入済み	前回処理日	前回処理日	4444-04-04	Y
マイナー チェンジ済み	前回処理日	オリジナルの 読み込み日	4444-04-04	Y
クローズ済み	前回処理日	オリジナルの 読み込み日	前回処理日	N
メジャー チェンジ済み、 クローズ済み	前回処理日	オリジナルの 読み込み日	前回処理日	N
メジャー チェンジ済み、 挿入済み	前回処理日	前回処理日+1	4444-04-04	Y

第 3 章 ファクトデータ の概念

この章では、RDW 10.1 の次のファクトデータ の概念について説明します。

- RDW のファクト処理の概要
- ファクトのファンクションエリア
- ファクトテーブルのタイプ
- ソースシステムからファクトデータを抽出して RDW に読み込む方法
- ファクトの一般的な処理
- ファクトの読み込み処理の詳細
- ファクトの集計処理
- ファクトのマトリックステーブル処理

RDW のファクト処理の概要

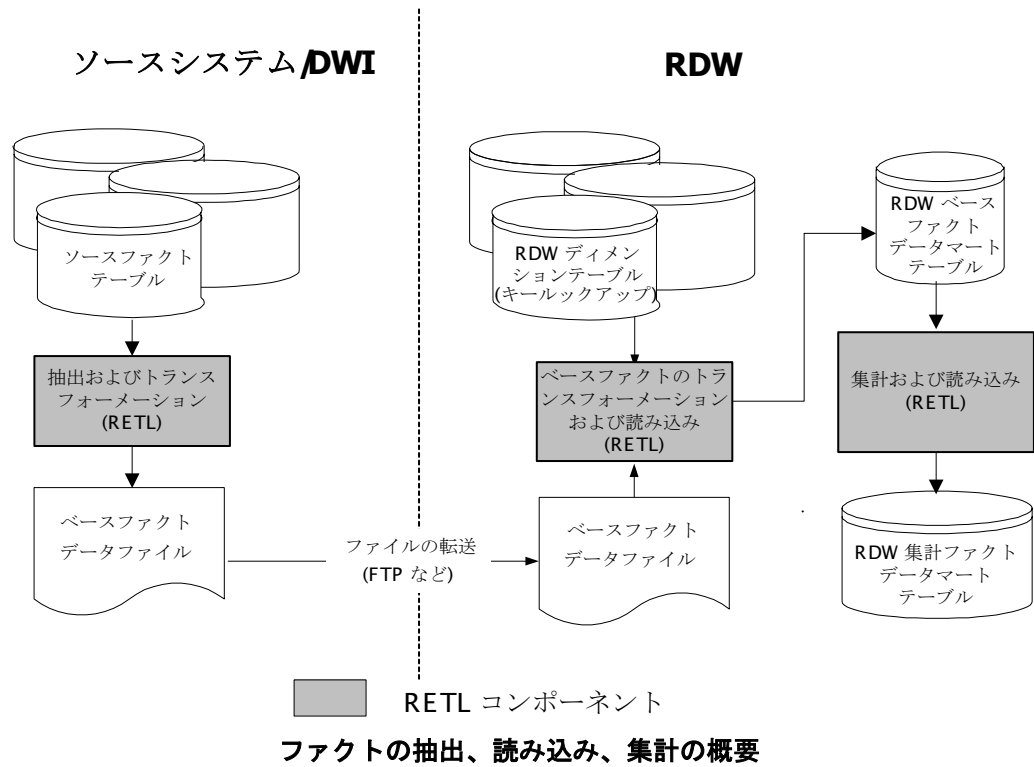
以下の説明および「ファクトの抽出、読み込み、集計の概要」図に、RDW のファクト処理の概要を示します。

ファクトデータは、RDW データウェアハウスインターフェイス (DWI) を使用して、ソースシステムから抽出されます。DWI は、データを抽出してテキストファイルに書き込む RETL コードです。本日分の変更済みファクトおよび新規ファクトまたはそのいずれかが抽出されます。抽出の代わりに、クライアントがソースフラットファイルを生成することに注意してください。

このデータファイルは、FTP などの一般的なデータ転送プロセスを使用して、RDW サーバーに転送されます。RDW では、データがデータファイルから抽出され、識別子が適切な代理キーにマッピングされます。代理キーの詳細については、第 2 章「ディメンションデータ の概念」を参照してください。

RDW のベースファクト処理モジュール (RETL 演算子および RDW ライブラリの呼び出しを含む Korn シェルスクリプト) がデータを変換し、ベースファクトのデータマートテーブルに読み込みます。次のステップは集計プロセスです。データは、1 つのベースファクトデータマートテーブルから読み取られ、その後、1 つのファクト集計データマートテーブルに読み込まれます。

ディメンション処理に関するモジュール固有の情報 (PROGRAM_CONTROL_DM 値、コマンドラインパラメータなど) については、第 8 章「プログラムの参照リスト」を参照してください。



ファクトのファンクションエリア

ファクトデータとは、Retek Merchandising System などのソースシステムから抽出される、各種トランザクションの値のことです。次の表に RDW のファクトファンクションエリアを示します。

RDW 10.1 ファクトファンクションエリア	
競争業者の価格変更	原価
為替レート	在庫調整
在庫ポジション	入荷情報
在庫移動	ロス防止
売上値下げ	市場売上データ
ネット原価および基準原価を基にした利益	パック売上
計画 (TopPlan)	価格変更
ベンダーに返品された在庫	売上予測
売上生産性	売上トランザクション数
アロケーション領域	在庫元帳
店舗の輸送	取引先の利用可能性
取引先遵守度	取引先契約
取引先インボイス原価	トランザクション入札
無効在庫	証票

ファクトテーブルのタイプ: ベースと集計

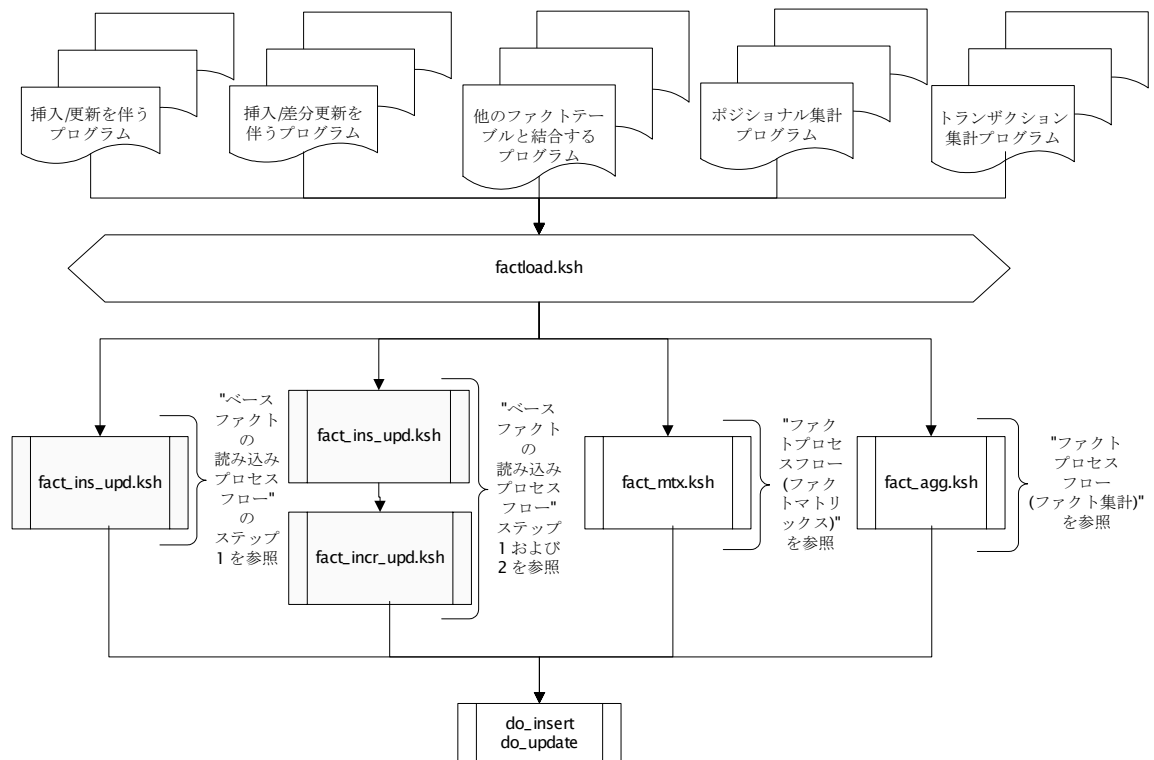
RDW には、ベースと集計という 2 種類のテーブルが含まれます。

- "ベース" ファクトテーブルには、ファンクションエリアごとのファクトデータが最も細かいレベルの粒度で格納されています。ベースファクトテーブルに初期データ入力するプロセスは、RETL プログラムによる、ソースシステムからのデータ抽出から始まります。この抽出により、RDW に送出手のためのテキストファイルが出力されます。RDW では、RETL のトランスフォーメーションと読み込みのプロセスによって、ファクトデータファイルを受け取り、ベーステーブルを更新します。RETL を使用してデータファイルを読み込むにあたり、RDW のファクト API は、スキーマファイルを定義して、ターゲットテーブルの列のほか、各ベースファクトのデータマートテーブルに対するデータ型を記述します。RETL は、このスキーマを参照して、ソースデータファイルを読み込みます。その後、ベースファクトテーブル上のデータが集計されます。
- ファクト "集計" テーブルには、ベーステーブルから、より上位のディメンション階層にロールアップされたファクトデータが格納されます。RDW は、Korn シェルスクリプトおよび RETL 演算子を使用して、データを集計します。
- 未圧縮のファクトデータは、今後クライアントが照会する予定がなければ、自由にページしたり、ロールオフしたりできます。ページはクライアント固有のビジネス要件に従って決定されるため、Retek 社では、パージルーチンを提供していません。圧縮ファクトテーブルの詳細については、第 4 章を参照してください。

ファクトの一般的な処理

次の図は、RDW 10.1 におけるファクト処理を示しています。このフローは、ファクトプログラム (サブライブラリを使用するもの) から `factload.ksh` に処理が引き継がれる様子を示しています。このライブラリは、プログラムが何を必要としているかを解釈して、適切なサブライブラリを呼び出します。複数のライブラリが呼び出されることもあります。このようなライブラリの "交通整理" は、`factload.ksh` によって行われます。ほとんどのファクトプログラムは、サブライブラリを正しいプログラムに導くために、`factload.ksh` を呼び出さなくてはならない点に注意してください。適切なサブライブラリによってプログラムの処理が行われると、システム側が、RDW のファクトテーブルに変更を加えることができます。わずかながら `factload.ksh` を使用しないスタンドアロンモジュールもありますが、この図には示されていません。

この章で後述するフロー図は、該当する Korn シェルのサブライブラリ内で、コンテキストデータがどこでどのように処理されるかを具体的に示しています。下の図の各サブライブラリからの引き出し線は、この章の後半で説明する、具体的なプロセスフロー図の参照先および該当するステップを示しています。



ファクトプロセスフロー (一般)

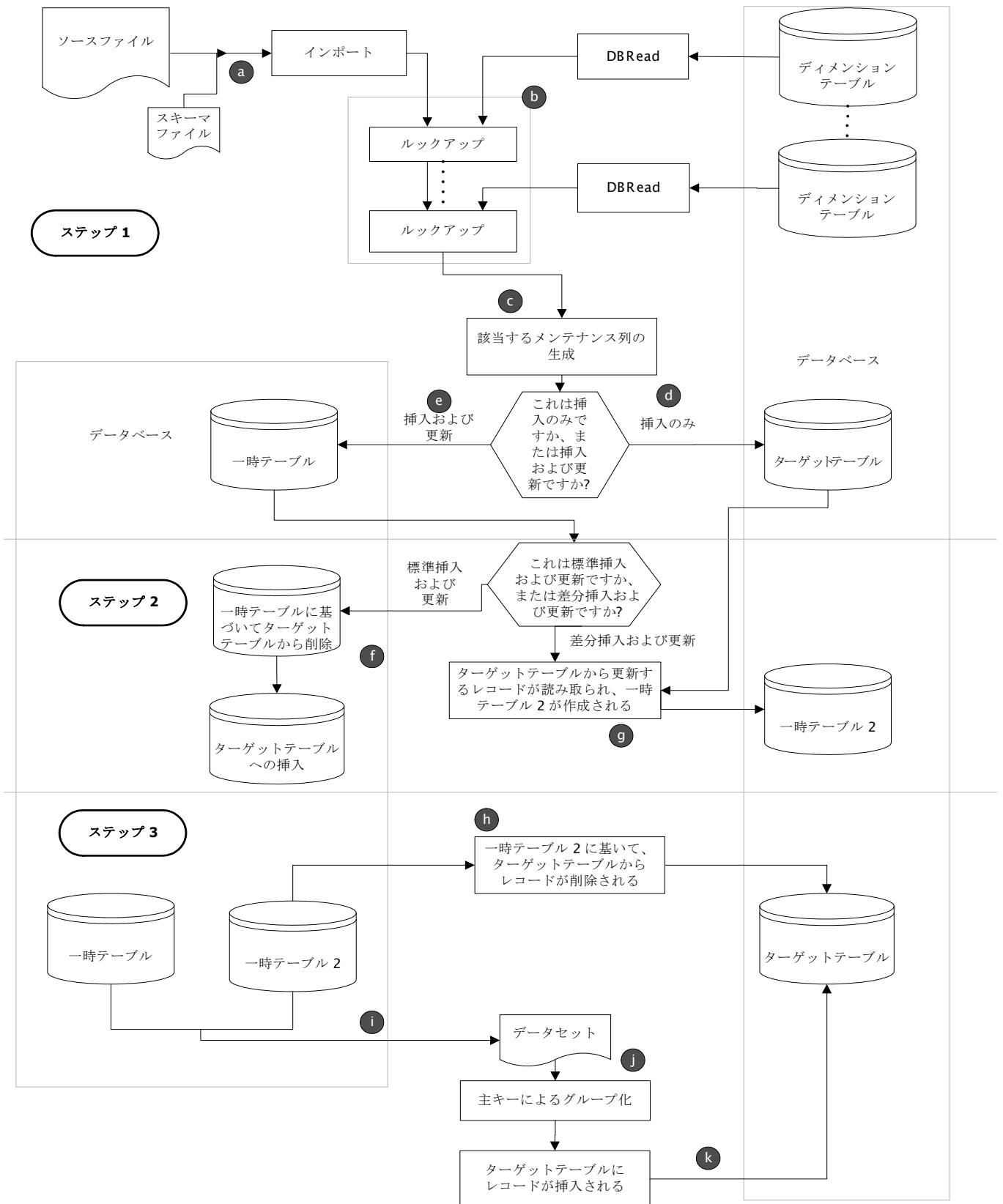
ファクトの読み込みに関する詳細な説明

この項では、ファクトデータのトランスフォーメーションと読み込みの各プロセスについて説明します。RETL を使用してデータファイルを読み込むにあたり、RDW は、スキーマファイルを使用して、ソースファイルのフィールドのほか、各ベースファクトのデータマートテーブルに対するデータ型を記述します。

次の図は、一般的な RETL ファクトプロセスを示し、ファクトの読み込みプロセスを詳細に表しています。ただし、次の各問題は、プログラムごとに扱いが異なる点に注意してください。

- 一部のベースファクトは、異なるディメンションテーブルを使用してルックアップを実行します。
- 一部のベースファクトの読み込みは、UPDATE を伴わない INSERT だけが可能です (圧縮データマートなど)。
- 一部のベースファクト (商品の売上など) では、新旧の値の総和が新しい値となる差分更新が行われます。

番号が振られた各ステップおよびアルファベットで示された各アイテムに対応する説明が図に続けて記されています。



ベースファクトの読み込みプロセスフロー

ベースファクトの読み込みプロセスフローの説明

ステップ 1

- a ソースシステムから抽出したファクトデータファイルは、スキーマファイルに基づき、IMPORT 演算子によって RETL データセットに読み込まれます。このスキーマファイルは、ターゲットテーブルに準拠する、データファイルのすべてのデータフィールドおよびデータ型を定義しています。
- b 新データのルックアップテーブルとして、結合するすべてのディメンションテーブルを RETL データセットに読み取り、その識別子に基づいてキーを取得します。読み取りには、DBREAD 演算子を使用されます。ディメンションテーブルの数は、ファクトプログラムごとに異なります。ディメンションテーブルからデータを選択し、それを新データと結合させる RDW コード (DBREAD 演算子を含む) がモジュール dimlkup.ksh によって生成されます。クライアントは、このプロセスをカスタマイズする必要性が生じた場合、dimlkup.ksh に使用されている変数を変更することもできます。
- c 日付のマーカー (タイムスタンプ) の役割を持つメンテナンス列が生成されます。このメンテナンス列には、原則的に、これらの行が当日変更されたというファクトが記録されます。
- d 挿入のみのファクトプログラム (為替レート、原価など) の場合は、結果のデータセットを、ターゲットテーブルに直接追加することができます。これらのプログラムのプロセスは、このステップで完了になります。
- e 挿入および更新記録を持つファクトプログラム (アロケーション領域、ネット原価など) の場合は、新規記録が格納されているデータセットが一時テーブル (ベース一時テーブル) に書き出されます。

ステップ 2

- f 標準挿入および更新を伴う、すべてのベースファクトプログラムは、この一時テーブルを使用して、ターゲットテーブルから削除する古い更新記録を判別します。ターゲットテーブルから古い記録が削除されます。ターゲットテーブルに新しい記録が挿入されます。これらのプログラムのプロセスは、このステップで完了になります。
- g 差分挿入および更新を伴う、すべてのベースファクトプログラムは、ターゲットテーブルから更新する記録を読み取り、2 つめの一時テーブル (一時テーブル 2) を作成します。

ステップ 3

- h 一時テーブル 2 を使用して、ターゲットテーブル内の古い更新記録から削除する記録を決めます。
- i 一時テーブルと一時テーブル 2 の記録が組み合わせられ、新しいデータセットが形成されます。
- j 目的のファクトフィールドを集計するため、新しいデータセットが、ターゲットテーブルの主キーによってグループ化されます。
- k 結果のデータセットがターゲットテーブルに書き込まれます (つまり、記録がターゲットテーブルに挿入される)。差分挿入および更新を伴うベースファクトプログラムのプロセスは、このステップで完了です。

ファクト集計

集計プロセスは、ファクトがベースデータマートテーブルに読み込まれた後で開始されます。集計とはデータを特定のレベルの粒度に加工するプロセスを指します。たとえば、アイテムレベルにしたり、それをより高いレベルである、サブクラスなどにまとめることによって、照会パフォーマンスを向上させます。フロントエンドがレベル間のドリル分析を正確に行えるように、ファクト列は、ベースレベルとすべての集計レベルとの間で同じ名前になるように保たれている必要があります。

RDW には、ポジショナルファクト集計および標準ファクト集計という 2 種類の集計があります。ポジショナル集計では、1 つの値が、現在の時刻における最新の値に更新されます。標準集計では、現在の時刻までのすべての値が合計されます。一部の複合メトリックをサポートする "導出データマート" と呼ばれる第 3 の集計タイプもあります。

ポジショナルファクト集計

RDW の一部のファクトテーブルは、特定の時点における、エンティティのポジション (状態) に関する情報を保持します。このようなデータは、トランザクションデータと同じ方法では集計できません。後述の「標準ファクト集計」を参照してください。たとえば、価格に関するデータマートに、特定のロケーションにおける、特定のアイテムの売単価の値が格納されているとします。新規レコードは価格変更が生じた場合にのみテーブルに書き込まれますが、ユーザがどの日付のデータを照会しても、システムが正しい値を返すように設定する必要があります。しかし、すべてのロケーションの、すべてのアイテムのポジションを毎日格納していくことは、データの格納領域と読み込みパフォーマンスの観点から、すぐに行き詰ることは明らかです。RDW は、格納領域とパフォーマンスのトレードオフを考慮し、圧縮技術を利用することで、ポジショナルファクトの格納とレポートを実現しています。RDW による圧縮がいつどのように行われるかについては、第 4 章「圧縮とパーティション化」を参照してください。

RDW 10.1 には、4 つのポジショナルファクト集計モジュールが含まれています。これらを次の表に示します。

ポジショナルファクト集計モジュール	
Invilwdm	圧縮ソースおよびターゲットテーブル
Invblddm	非圧縮ソース (CUR テーブル) およびターゲットテーブル
Invblwdm	非圧縮ソースおよびターゲットテーブル
Sfcbldwm	非圧縮ソースおよびターゲットテーブル

時間の経過によるポジショナルファクト集計

ポジショナルファクトテーブルのデータは、エンティティの総合的な処理を表すのではなく、時間の一点におけるエンティティの状態を表します。そのため、これらのファクトは、時間の経過に従って単に集計することはできません。たとえば、"今週の売単価合計は?" という質問には意味がありません。そのため、時間軸によるポジショナルファクトの集計は、"今週末の売単価は?" という問いに対する答えが成立するような、期間の終わりを基準にします。

時間軸による集計では、集計プログラムは毎日実行されます。ある期間のポジショナルファクトの集計結果は、期間の終わりではなく、現在までの期間というポジションになります。その期間が終了すると、当該期間の最後の実行により、期間の終わりのポジションが得られます。

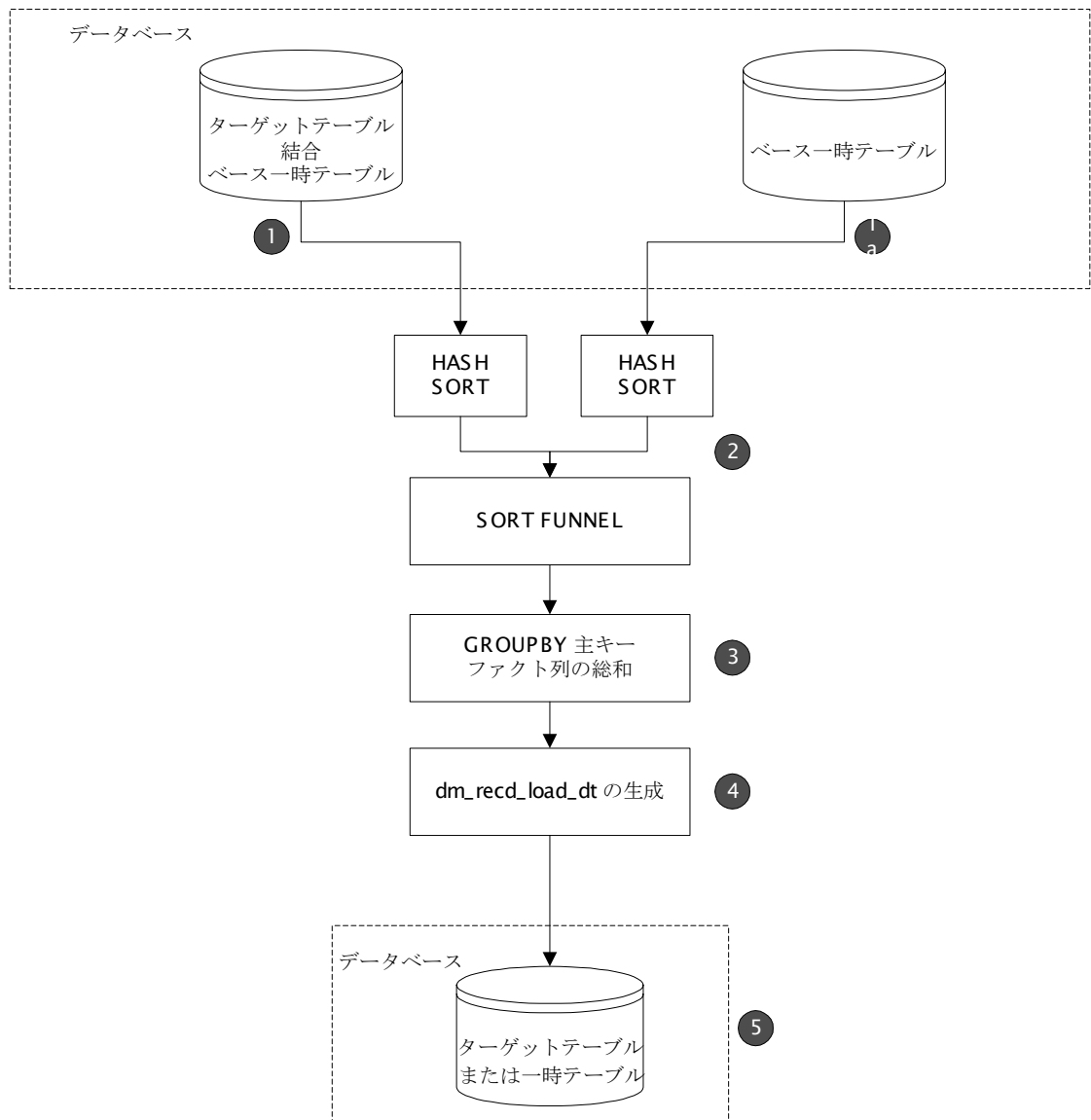
非圧縮集計

ポジショナルファクトの集計は複雑です。簡単なメンテナンスと最大のパフォーマンスを両立するためには、ベースレベルのファクトは (未処理のままの) 圧縮された状態に維持し、粒度の粗い上位レベルの集計は非圧縮状態 (すべてのエンティティのポジションが毎日書き込まれる) で格納すると効果的な場合があります。非圧縮集計を構築することは、それ自体が大規模なタスクになる場合があります。ある時点における低レベルの最新のポジションを毎日取得することが含まれるからです。ほんの少し前に記録されたエンティティが対象になることすらあります。幸いこのタスクはカレントポジションテーブル (INV_IL_CUR_DM など) を使用することによって簡単に行うことができます。カレントポジションテーブルを使用するのは、アイテム - ロケーション - 日付からサブクラス - アイテム - ロケーション - 日付にファクトを集計する場合などです。データの一括処理を効率化するために、本日分の変更のみを含んでいる一時テーブルを使用することもあります。たとえば、アイテム - ロケーション - 日付からアイテム - ロケーション - 週にファクトが集計される場合、集計に含まれるのは週全体のデータではなく本日分の変更のみです。

標準ファクト集計

RDW のファクトテーブルの多くには、発生した処理、つまりトランザクションについての情報が含まれます。たとえば、商品売上テーブルには、特定の日付における、特定のロケーションの、特定のアイテムに対する売り上げの合計が格納されます。これは、RDW で最もシンプルなタイプのファクトデータといえます。格納されたすべてのデータは、レポート用途などで、あらゆるディメンションの軸に沿って集計することができます。

次の図は、標準的なファクト集計プロセスを示しています。番号が振られた各アイテムに対応する説明は、図に続けて記されています。



ファクトプロセスフロー (ファクト集計)

ファクトプロセスフロー (ファクト集計の説明)

- 1 ベース一時テーブルには、その日に行われた変更や挿入が反映されているため、ターゲットテーブルをベース一時テーブルと結合し、再集計を要するターゲット集計テーブルの行を選択できるようにします。

例:

ターゲット集計テーブル			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	20
A	C	1	30

上のテーブルは、次のテーブルと結合されます。

ベース一時テーブル (今日)				
日	ロケーション	アイテム	週	数量
4	A	B	1	5
4	A	D	1	70
4	A	F	1	30

以上の2つのテーブルの結合により、次の結果が生成されます。

再集計の必要な行			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	20

- 1a ベース一時テーブルは、変更されたデータと新規データの集まりであり、再集計が必要です。

例:

ベース一時テーブル			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	5
A	D	1	70
A	F	1	30

- 2 RETL の各データセットは、HASH 演算子および SORT 演算子により、ハッシュされ、主キーの順番に並べ替えられます。それぞれの主キーに基づいて、SORT 演算子および FUNNEL 演算子がこれらのデータセットを 1 つのテーブルに結合します。

例:

SORT および FUNNEL 後の RETL データセット			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	20
A	B	1	5
A	D	1	70
A	F	1	30

- 3 GROUPBY 演算子により、集計は、主キーごとに行われます。これにより、ファクト列の総和を効率よく求めることができます。

例:

RETL 集計後のデータセット			
ロケーション	アイテム	週	数量
A	B	1	25
A	D	1	70
A	F	1	30

- 4 日付のマーカー (タイムスタンプ) の役割を持つメンテナンス列が生成されます。このメンテナンス列には、原則的に、これらの行が当日変更されたというファクトが記録されます。
- 5 データが次のいずれかに書き込まれます。
- ターゲットテーブル。該当するプログラムに挿入だけが含まれる場合。
 - 一時テーブル。該当するプログラムに更新が含まれる場合。その後、ターゲットテーブルは標準更新プロセスによって処理されます。詳細については、第 1 章「RDW におけるレコードの更新処理」を参照してください。

導出データマート

一部の複合メトリックをサポートするには、粒度の粗い単純な合計ではないファクトを格納する集計テーブルを構築しなければならない場合があります。これは、ファクトデータマートテーブル間でデータが移動するという点で、標準集計に似ています。しかし、2つのレベルで、ファクト列の名前が異なるため、直線的なドリルパスが存在しません。すなわち、上位レベルの DM テーブルは、厳密には集計されるわけではありません。両者は下位レベルから導出された、異なるデータマートということになります。次にその例を挙げます。

Sales (売上) データマートに、アイテムの加重平均原単価を使用して計算された利益が格納されているとします。**Net Cost (ネット原価)** データマートには、より詳細な利益分析に使用される、特定の取引先からの、アイテムの各種原価が保持されています。この2つのファンクションエリアからのデータを組み合わせることにより、**Net Profit (ネット利益)** データマートが構築されます。データマートを導出することにより、複雑なメトリックを使用しなくても、ユーザは、フロントエンドで利益分析レポートを表示させることができます。データマートを導出する別の利点として、データベースのパフォーマンスが向上するという点が挙げられます。

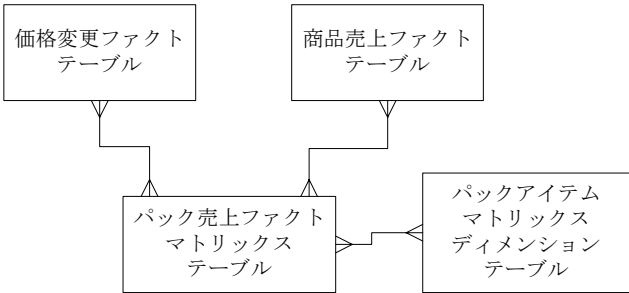
RDW 10.1 の導出データマートには、次の項目が含まれます。

- 売上トランザクションサマリー
- 入札トランザクションサマリー
- ロス防止トランザクションサマリー
- 取引先遵守度サマリー
- ネット利益
- パック売上/パック売上値下げ
- 証票の移動

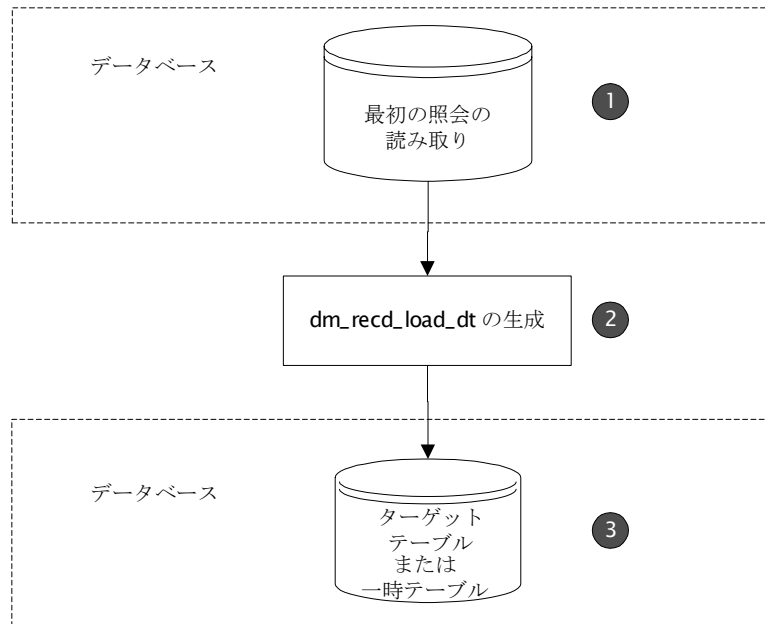
ファクトマトリックス処理

導出データマートは、"ファクトマトリックス" と考えることができます。下の図とテーブルが示すように、マトリックステーブルは、共通のディメンションキーを使用することにより、カーディナリティにおいて多対多の関係を持つ、ファクトテーブルとディメンションテーブル間の関係を解決します。

例:



ファクトマトリックステーブルの例				
アイテム	ロケーション	日	原価	売上数量
1	1	2	5	10
1	2	1	10	20
2	1	1	5	10



ファクトプロセスフロー (ファクトマトリックス)

- 1 プログラムがライブラリ (`fact_mtx.ksh`) を呼び出すとき、RETL データベースの読み取り演算子 (`ORAREAD` など) を照会に使用してデータを取得します。照会では、必要に応じて集計が実行されます。
- 2 日付のマーカー (タイムスタンプ) の役割を持つメンテナンス列が生成されます。このメンテナンス列には、原則的に、これらの行が当日変更されたというファクトが記録されます。
- 3 データが次のいずれかに書き込まれます。
 - ターゲットファクトマトリックステーブル。該当するプログラムに挿入だけが含まれる場合。
 - 一時テーブル。該当するプログラムに更新が含まれる場合。その後、ターゲットファクトマトリックステーブルは標準更新プロセスによって処理されます。詳細については、第 1 章「RDW におけるレコードの更新処理」を参照してください。

第 4 章 圧縮とパーティション化

この章では、RDW 10.1 で圧縮がどのように実装されるかを説明し、Oracle のパーティション化について説明します。

圧縮の概要

データウェアハウスのサイズは、しばしば非常に大きくなりますが、一部の RDW テーブルで生成される情報の量は、標準的な用途であっても、巨大なサイズになることがあります。たとえば、500,000 のアイテムと 500 のロケーションを有する小売業者の場合は、毎日 250,000,000 の行が新たに生成されることになります。このように大量の非圧縮データを格納していくのは、ディスクの格納領域の観点から現実的ではありません。行を格納するためのコストもさることながら、バックアップなどのデータベースメンテナンス操作にかかるコストも膨大になります。

RDW におけるデータ量軽減のための 1 つのアプローチが圧縮です。この章では、次の内容について説明します。

- 圧縮とは何か
- 圧縮のメカニズム
- 圧縮の対象となるテーブルについて
- 圧縮に関する Oracle の機能
- Oracle クライアント用圧縮テーブルの実装方法

圧縮とは何か

圧縮とは、基礎データソースへの変更のみを反映する物理データを保管することを指し、実際のデータレコードとのギャップは、データベースビューを使用して補われます。この方法は、主として、在庫などの永続的なサブジェクト領域に使用されます。たとえば、売上データの照会では、有効な売上レコードは、存在する (売上が発生した) か、存在しない (売上は発生していない) かのいずれかになります。これに対し、手持ち在庫の照会では、要求された日に在庫に対する変更が生じていなくても、有効な値は必要です。この問題を解決する 1 つ手段として、前述のように、アイテムとロケーションのすべての有効な組み合わせレコードを、毎日格納する方法があります。もう 1 つの方法が圧縮です。この方法を使用すると、在庫ポジションに対する変更だけを格納することができます。照会は、実際のレコード変更が見つかるまで、目的の日付より前に遡ることによって解決されます (当日にレコード変更が存在しない場合)。この方法は、データの処理と格納の要件を最小にしながら、最新のデータを正しく返すことができます。

圧縮のメカニズム

展開ビューの目的は、あらゆる組み合わせ (アイテム-ロケーション-日付レコードなど) に対して、レコードが存在するかのようにアプリケーション側に見せることです。このため、テーブルのデータを照会するアプリケーションに対して、テーブルが圧縮されているかどうかを通知する必要はありません。

圧縮されたテーブルは、2 つの異なるエレメントで構成されます。1 つは、ある時点 (通常は、テーブルまたはパーティションの最初の日または週) における既存のすべての組み合わせから成る "シード" であり、もう 1 つはそれ以降に変更されたデータです。

特定のレコードに対して照会を行う場合、展開ビューは、要求されたアイテムおよびロケーションの (要求日と同じかそれ以前で要求日に最も近い日付を持つ) 最新のレコードを提供します。展開ビューには、シードおよびそのシード以降に変更されたすべてのデータが網羅されていなければなりません。

展開ビューの実際の動作を理解するために、次の状況を想定してみましょう。アイテム 10、ロケーション 10、2002 年 1 月 23 日の在庫ポジションを知りたいとします。シードの日付は 2002 年 1 月 1 日とします。変更がポストされた日付は、2002 年 1 月 4 日と 2002 年 1 月 15 日です。この場合、展開ビューがアプリケーションに提示する行は、要求日と同じかそれ以前で要求日に最も近い日付という条件に基づいて、2002 年 1 月 15 日となります。第 2 の例として、アイテム 10、ロケーション 10、2002 年 1 月 3 日の在庫ポジションが必要な場合を想定してみましょう。目的の日付以前にはレコード変更は行われていないため、アプリケーションには、2002 年 1 月 1 日のシードレコードが提示されます。

この例のように、単一の日付を照会する場合は、圧縮のパフォーマンスには問題はありません。しかし、特定のロケーションにおける特定の日付のすべての在庫ポジションなど、日付のグループを照会する場合は、許容範囲を下回るほどパフォーマンスが低下する場合があります。ユーザが情報をグループで返すように要求した場合、データベースは各情報グループを効率的に処理しますが、展開ビューでは各行を個別に評価する必要があるため、グループでは処理されません。サマリー操作におけるパフォーマンスの低下に対処するために、Oracle クライアントは、圧縮テーブルのパーティションシーディングを利用することができます。詳細については、この章に後述の「パーティション化 (Oracle クライアントのみ)」を参照してください。

パーティションシーディングには、CUR テーブル ("カレント" テーブル) が使用されます。たとえば、INV_IL_CUR_DM には、INV_ITEM_LD_DM テーブル上のすべてのアイテムとロケーションごとに、展開された最新のポジションが保持されます。このポジションは、パーティションシードとして使用することができます (Oracle クライアントのみ)。また、このポジションは、メジャーチェンジのファクトシードとして、ベース RDW コードによっても使用されます。詳細については、この章に後述の「factopendm.ksh」を参照してください。

圧縮テーブルと CUR テーブル

下の表は、RDW 10.1 における圧縮テーブル、および対応する CUR テーブルを示しています。

圧縮テーブル	CUR テーブル
CMPTR_PRICING_ITEM_LD_DM	CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM
COST_ITEM_SUPP_LD_DM	COST_ISL_CUR_DM
EXCHNG_RATE_CRNCY_DAY_DM	(CUR テーブルなし)
INV_ITEM_LD_DM	INV_IL_CUR_DM
INV_ITEM_LW_DM	(CUR テーブルなし)
INV_UNAVL_ITEM_LD_DM	INV_UNAVL_IL_CUR_DM
NET_COST_SUPP_ITEM_LD_DM	NET_COST_SIL_CUR_DM
PRICING_ITEM_LD_DM	PRICING_IL_CUR_DM
SPACE_ALLOC_DEPT_LD_DM	SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM
SPACE_ALLOC_ITEM_LD_DM	SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM
SUPP_AVAIL_ITEM_DAY_DM	SUPP_AVAIL_ITEM_CUR_DM
SUPP_CNTRCT_ITEM_DAY_DM	SUPP_CNTRCT_I_CUR_DM

メジャーチェンジへの対応

Factclosedm.ksh

圧縮ファクトテーブルでは、ファクトアトリビュートのいずれかに変更が生じた場合にのみ、レコードがテーブルにポストされます。何の処理もなかった場合、レコードはポストされません。その後、物理的にポストされたレコード間のギャップが展開ビューによって補完され、フロントエンドでは、アイテム-ロケーション-日付の各組み合わせに対応するファクトレコードを参照できるようになります。ただし、アイテム、ロケーション、デパートメントのいずれかがクローズまたはメジャーチェンジされた場合、これらのディメンションのファクトレコードはすべて無効になります。レコードが最後にポストされた後のギャップを補完しないように、展開ビューに指示する必要があります。この指示を実行するために、factclosedm は、最初に PROD_ITEM_RECLASS_DM、ORG_LOC_RECLASS_DM、PROD_DEPT_RECLASS_DM の各テーブルを照会して (この章に後述の「factopendm.ksh」を参照)、その日にクローズしなければならない、圧縮されたアイテム-ロケーションのファクトを決定します。次に Factclosedm は DM_REC_STATUS_CDE='X' という "ストップレコード" を挿入します。展開ビューは、ステータスコード 'X' がポストされた日付までのレコードを補完します。新たに (factopendm.ksh から) 追加されたシードレコードが有効になった場合は、その翌日の DAY_IDNT に対応するクローズレコードが挿入されます。これにより、翌日以降のファクトレコードは無効になることが示されます。圧縮された週テーブル (INV_ITEM_LW_DM) の場合は、factclosedm が翌週の WK_IDNT に対するクローズレコードを挿入します。

Factopendm.ksh

商品または組織ディメンションへのメジャーチェンジにより、アイテムまたはロケーションの新しい代理キーが作成された場合、RDW Data Compression テーブルのシーディングが必要になります。圧縮テーブルのシーディングが必要になるのは、新しい階層の関係が、新しいキーによって表現されるためです。圧縮テーブルに対して新しいキーが指定されていないと、圧縮ビューは、古いディメンションがクローズされた日から、圧縮ファクトテーブルに新しいディメンションのレコードがポストされる日まで、データをいっさいピックアップしません。このデータの欠落によって、照会の結果に不整合が生じ、データの集計を正しく行うことができなくなります。

このシーディングのプロセスは、2つのステップから成ります。最初に、prditmdm.ksh、prddepdm.ksh、orglocdm.ksh の各モジュールがディメンションの読み込みプロセスの一部として実行され、一時テーブル PROD_ITEM_RECLASS_DM、PROD_DEPT_RECLASS_DM、ORG_LOC_RECLASS_DM に初期データが入力されます。次に、factopendm.ksh モジュールは、このテーブルの、リクラスゼーションされたアイテム、デパートメント、ロケーションを調べます。ITEM_KEY、DEPT_KEY、LOC_KEYS にリクラスゼーションが生じたレコードを保持する、すべての圧縮テーブルがシーディングされます。

パーティション化 (Oracle クライアントのみ)

パーティション化計画の概要

現在 RDW 10.1 のベースコードは、テーブルがパーティション化されずに出荷されます。RDW 10.1 は、特定のデータベースに依存しませんが、パーティション化は Oracle クライアントにのみ適用できます。そのため、この項では、Oracle を使用するクライアントがオプションとして実行する可能性のある、圧縮データマート用のパーティション化計画について説明します。

前述のとおり "展開ビュー" は、基礎となるテーブルに実際にはまばらにしかデータが入力されていなくても、すべてのデータが存在するかのように見せる、仮想的なビューを提供します。大きな圧縮テーブル (特に INV など) の場合、テーブルのパーティション化には、次のような利点があります。

- 各パーティションはサイズが小さいため、管理が容易である。
- 複数のパーティションに対する管理操作を並列的に実行できる。
- パーティションメンテナンス操作 (索引の再構築など) が完全なテーブルに対する操作と比べて高速である。
- パーティションのほうがテーブルよりも可用性が高い。たとえば、特定のパーティションを復旧しているときに、別のユーザが、当該のテーブルの別のパーティションに同時にアクセスできます。
- 最適化プログラムにより、テーブル全体ではなく、対象のパーティションにだけ存在するデータにアクセスするよう照会の絞り込みが可能である。たとえば、2 月のデータだけを対象とする場合、そのテーブルの、2 月のパーティション以外に存在するデータは無視できます。
- パーティションは独立したデータベースオブジェクトであり、個別に管理することが可能である。たとえば、年間を通して 12 月分の売上データに対するアクセス頻度が他の月と比べて高い場合は、12 月の売上パーティションだけを、より速くアクセスするための特別なテーブル領域に格納できます。
- Oracle は、状況によっては、パーティションに対し、テーブルでは不可能な並列操作を作成することができます。たとえば、2 つの異なるテーブルが同じキーに基づいてパーティション化されている場合、それらを結合できます。この機能は、"並列パーティション性結合" と呼ばれます。

一般的なガイドランとしては、テーブルのパーティションは、非常に大きなテーブルに対して使用することをお勧めします。20 GB を超えるテーブルなどは、パーティション化に適しているといえます。在庫テーブルのパフォーマンスを最適化する場合などにパーティション化が大変有効です。

索引は、テーブルと同様に、パーティション化することができます。"索引パーティション" は、グローバル (テーブルがパーティション化されているかどうかにかかわらず、テーブルに対し 1 つの索引が存在) またはローカル (テーブルパーティション 1 つに対し、索引パーティション 1 つ) にすることができます。テーブルがパーティション化されている場合は、一般に、次のような理由により、グローバル索引よりローカル索引が適しています。

- 索引全体ではなく、1 つの索引パーティションだけをメンテナンス操作の対象にできる。たとえば、最も古いテーブルパーティションが使用されなくなった場合、ローカル索引パーティションは、対応するテーブルパーティションと一緒にドロップできます。これに対し、グローバル索引は、テーブルパーティションがドロップされて使用不能になった場合、全体を再構築する必要があります。
- 最適化プログラムにより、個別のパーティションのみを使用する照会アクセスプランが生成される。
- 複数の索引パーティションにアクセスするとき、最適化プログラムによって、複数の並列プロセスが自動的に使用される。

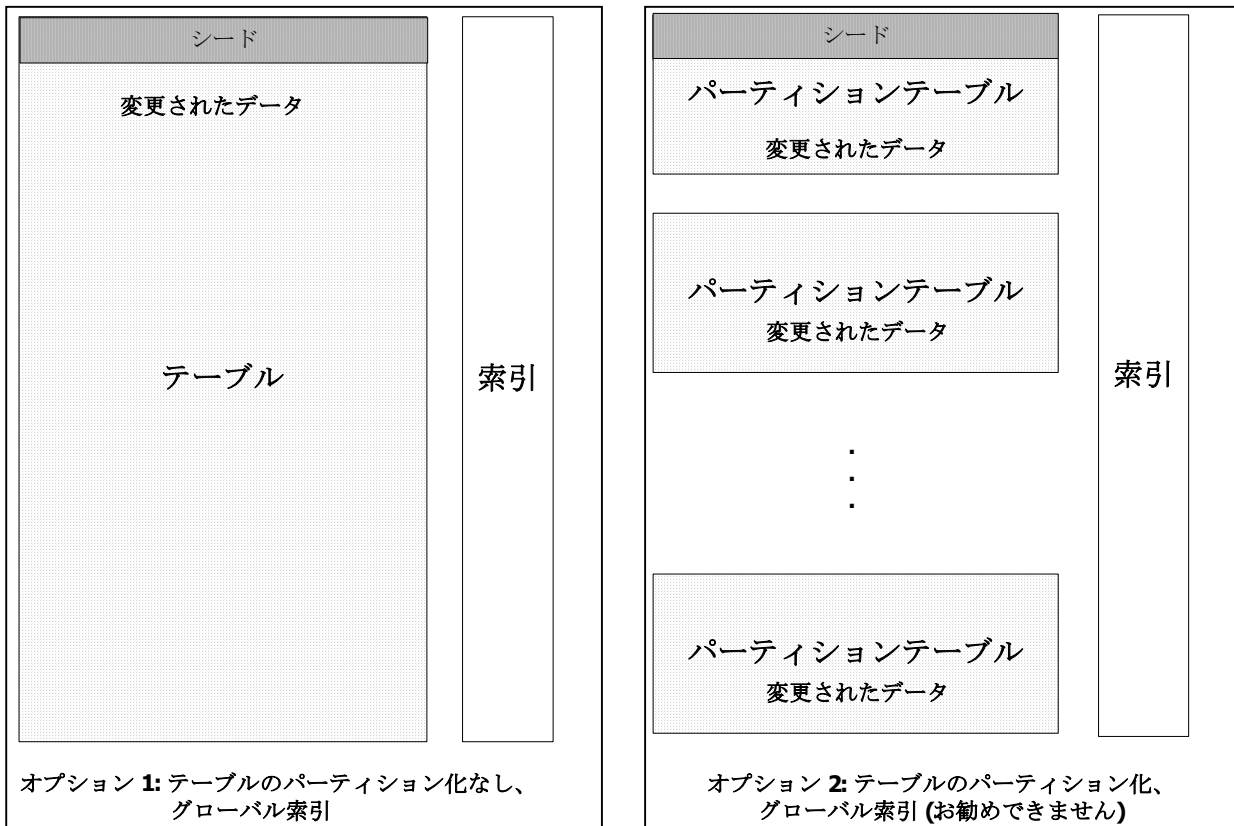
RDW パーティション化の実装

次のページの図は、圧縮テーブルをパーティション化するクライアント向けに、テーブルと索引のレイアウト例をいくつか示しています。

一般に、大きな圧縮テーブル (特に INV_ITEM_LD_DM および INV_ITEM_LW_DM テーブル) に対してはオプション 3 が適しています。オプション 3 では、テーブルパーティションとローカル索引を使用することにより、索引のメンテナンスおよび古いテーブルパーティションの削除による影響を最小限にしています。

オプション 1 は、小規模の圧縮テーブルに適しています。一般に、INV 以外のすべての圧縮テーブルに適しています。この方法の欠点は、履歴データを削除する方法がない (すなわち、テーブルが肥大化しつづける) という点です。

オプション 2 は、お勧めできません。パーティション化された 1 テーブルに対してグローバル索引を使用することの不都合に加え、履歴データをパージできないという欠点があります。



MicroStrategy 7 のパーティション化計画および要件

パーティション化では、大きなファクトテーブルを複数のより小さなテーブルに分割できます。適切なパーティション化計画は、照会の応答時間を向上させ、テーブルの読み込みに必要な時間を大幅に短縮します。これらは、パーティション化された環境に求められるデータベースメンテナンスの手間を考えると検討する価値があります。

パーティション化は、時間ディメンションに沿って分割することが可能な、大規模なテーブルに対して効果を発揮します。たとえば、売上ファクトテーブルは、大半の照会が現在の年のデータ取得を目的としたものであるような環境においては、年単位でパーティション化できます。このような場合には、照会の大部分が、より小さいテーブルに対して実行されることになるため、パフォーマンスは向上します。テーブルのパーティション化には、しばしば時間が使用されますが、MicroStrategy 7 では、任意のディメンションに基づいたパーティション化が可能です。

MicroStrategy 7 環境のパーティション化のために利用可能な 2 つの方法を次に示します。

- ウェアハウスパーティションマッピングでは、マッピングテーブルを使用してパーティション化を管理します。マッピングテーブルは、DBA が作成、管理する必要があります。
- メタデータパーティションマッピングでは、MicroStrategy 7 のメタデータからパーティション化を管理します。この方法は、データベースレベルのメンテナンスを大幅に軽減します。

注: 圧縮テーブル (INV_ITEM_LD_DM など) のパーティション化を実装する Oracle クライアントの場合、MicroStrategy 7 では、ウェアハウスパーティション化 (PMT テーブル) の使用は必須です。

ウェアハウスパーティション化

ウェアハウスパーティション化には、パーティションのマッピングテーブルおよびパーティションのベーステーブルが必要です。これらのテーブルを MicroStrategy プロジェクトに追加する必要があります。

パーティションマッピングテーブル (PMT)

DBA は、新しいテーブルを、パーティション作成用のアトリビュートに従ってマッピングするテーブルを作成する必要があります。PMT テーブルの構造は次のようになります。

ATTRIBUTE_ID	PBTNAME

ATTRIBUTE_ID 列には、テーブルをパーティション化するときのアトリビュート値が格納されます。PBTNAME (Partition Base Table Name) 列には、パーティションの名前が格納されます。

年単位のパーティションに対する PMT テーブルは、次のようになります。

YR_ID	PBTNAME
1997	Y1997_Sales
1998	Y1998_Sales
1999	Y1999_Sales
2000	Y2000_Sales
2001	Y2001_Sales

パーティションの作成には、複数のアトリビュートが使用される場合があります。たとえば、年およびリージョンに基づくパーティションを作成するケースもあります。この場合、PMT には、年とリージョンの識別子のほか、対応する PBT の名前が格納されます。

メタデータパーティション化

この方法では、パーティションがプロジェクトのメタデータ内でマッピングされるため、PMT は不要になります。これらのオブジェクトは、"データスライス" と呼ばれ、パーティションベーステーブルの内容を定義するフィルタです。これらのオブジェクトは、Metadata Partition Mapping Editor を使用して作成されます。

パーティション化の設定とメンテナンスおよび圧縮在庫テーブルのウェアハウスパーティションマッピングの例

- 1 最初に次の事項を決めておきます。
 - 使用するパーティション化計画
 - パーティションに使用される期間
 - 該当するカレンダーに基づく境界値 ("～未満の値" など)
 - 使用するパーティション数
 - パーティションの命名規則
- 2 MicroStrategy 7 によるウェアハウスパーティション化を実装するため、パーティション化されたテーブルとパーティションマッピングテーブルを作成します。
- 3 対象期間ディメンションにデータが入力されていることを確認します。詳細については、『RDW 10.1 データベースインストールガイド』を参照してください。
- 4 在庫ポジションテーブル (INV_ITEM_LD_DM および INV_ITEM_LW_DM)、およびパーティション化を予定している、その他の圧縮テーブルについて、パーティション化された圧縮ビューを作成します。
- 5 標準の権限付与スクリプトおよびシノニムスクリプトを再実行します。詳細については、『RDW 10.1 データベースインストールガイド』を参照してください。
- 6 作成済みの圧縮 PMT テーブルのほか、パーティションマッピングテーブル (PMT_INV_ITEM_LD_DM および PMT_INV_ITEM_LW_DM) にもデータを入力します。

次のいずれかのイベントが発生した場合は、常にステップ 4、5、6 を実行します。

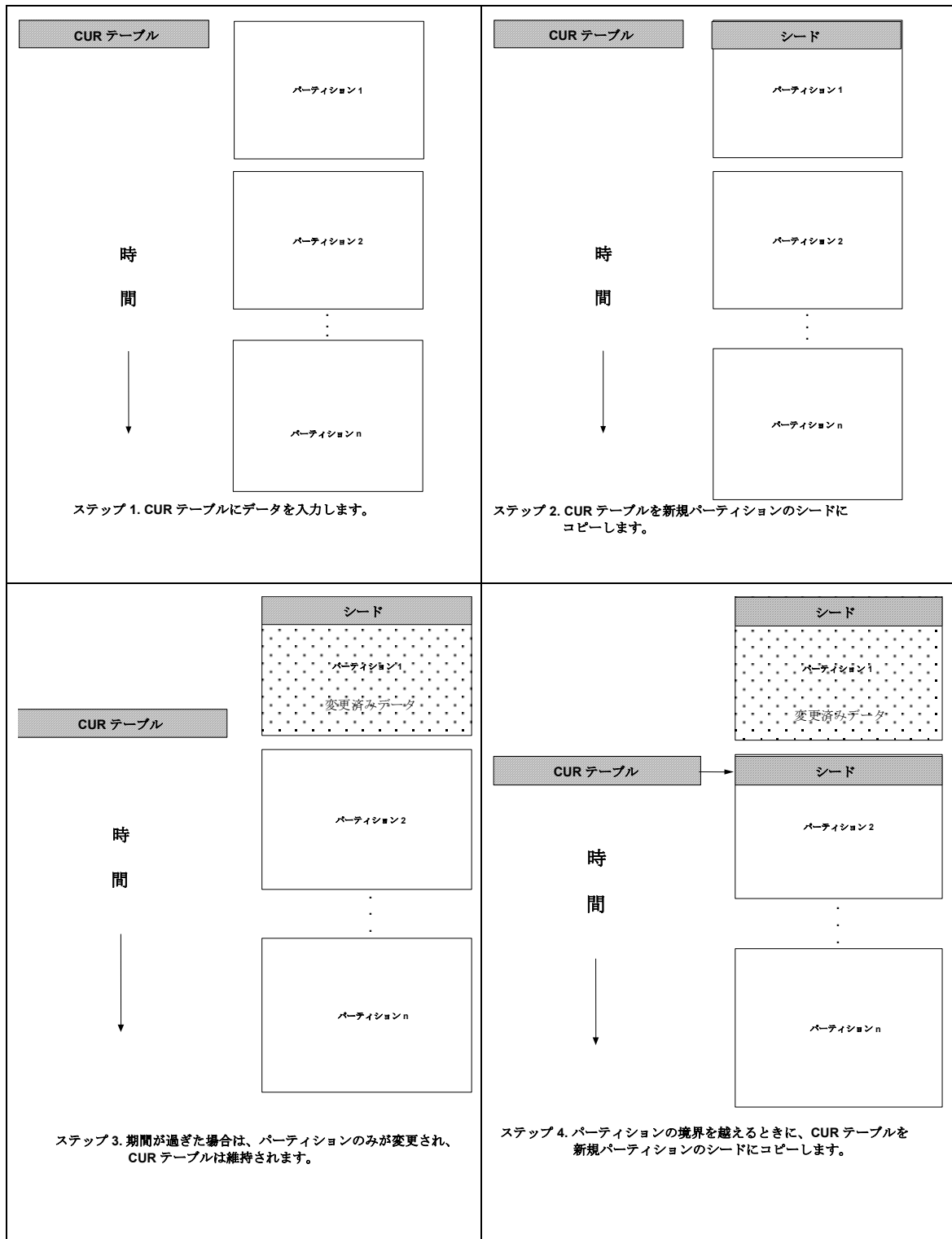
- 対象期間テーブル (TIME_DAY_DM または TIME_WK_DM) に対し、レコードの追加または削除が行われた。
- 在庫ポジションテーブル (INV_ITEM_LD_DM または INV_ITEM_LW_DM) にパーティションが追加された。
- 在庫ポジションテーブル (INV_ITEM_LD_DM または INV_ITEM_LW_DM) からパーティションが削除された。

圧縮在庫テーブルのパーティション化の実装

テーブル (パーティションも含む) と索引を作成したら、データを読み込む必要があります。INV_ITEM_LD_DM および INV_IL_CUR_DM などの、対応する CUR テーブルを持つテーブルの場合に推奨するステップを後続の説明と図に示します。

- 1 INV_IL_CUR_DM テーブルにデータを入力します。このデータ入力、invilddm.ksh の初回実行時に、在庫ポジションレコードが処理されたときに行われます。
- 2 先頭のパーティションに INV_IL_CUR_DM テーブルをシードとしてコピーします。このステップは orapartseed.ksh プログラムによって自動的に実行されます。シーディングの詳細については、「圧縮とパーティション化」を参照してください。
- 3 INV_IL_CUR_DM が、(1 つ前の期間における) 最新の在庫ポジションを保持する、完全な非圧縮テーブルであるのに対し、INV_ITEM_LD_DM テーブルには、この時点で変更済みのレコードだけが追加されます。
- 4 パーティションの境界を越えるときに、orapartseed.ksh プログラムを介して、INV_IL_CUR_DM テーブルが、新しいパーティションにシードとして追加されます。

圧縮を伴うパーティション化の実装方法や、パーティション化の実装に関する質問は、Retek カスタマサポートまたは Retek サービスまでお問い合わせください。



圧縮在庫テーブルのパーティション化の実装

Oracle によるパーティションの実装

Oracle 8.0 には、レンジパーティションが採用されています。このパーティションは、パーティションキーに基づく値の範囲によって分割されます。たとえば、月単位、デパートメント番号単位、アイテムレンジ単位のパーティションなどがあります。Oracle 8.1 のパーティション化オプションには、ハッシュパーティション (パーティションキーにハッシュ関数を適用することにより、一定数のパーティションに行を振り分ける) のほか、複合パーティション化 (レンジパーティション化とハッシュパーティション化を組み合わせたもの) が追加されています。Retek では、レンジパーティション化を使用してテーブルをパーティション化することを推奨します。また、不要になったパーティションをエージングできるように、パーティションキーは、主キーの日付フィールドにしてください。

一般的なガイドラインとしては、20 GB かそれ以上のテーブルに対してパーティション化を行うとよいでしょう。管理しなければならないパーティション数と、パーティション化によって得られる利益との間には、管理上のトレードオフが存在するため、20 GB 未満のテーブルに対してパーティション化を行うのは、特殊な状況を除いてはお勧めしません。また、個々のパーティションは 10 GB 以下に維持してください。

パーティションの物理レイアウトは、サイトごとに異なります。一般的なアプローチとしては、各パーティションは、別々のテーブル領域に配置します。これには次の利点があります。

- テーブル領域の復旧などのメンテナンス操作を別のパーティションに影響を与えることなく実行できる。
- データファイルのパフォーマンス調整を手動で行う場合、テーブル領域と、そこに含まれるファイルを自由に移動して、最適なパフォーマンスを得ることができる。
- 以後パーティションを更新しない場合、テーブル領域を READ ONLY に変更することで、バックアップの要件を大幅に低減できる。

Oracle パーティションは、下限値から上限値の順に並んでいます。パーティションキー値の上限には、そのパーティションの上限境界値は含まれません。たとえば、SLS_ITEM_LD_DM テーブルを 2000 年 1 月を最大値とする月単位でパーティション化する場合、パーティションキーは 2000 年 2 月 1 日 (01-Feb-2000) となります。下限値は、最下位のパーティションに挿入することが常に可能です。ただし、上限値は、最上位のパーティションの上限値によっては、挿入できない場合があります。たとえば、最上位のパーティションの上限値が 01-Feb-2000 であり、01-Feb-2000 の日付でレコードを挿入しようとした場合、行をテーブルに挿入できない場合があります (上限の境界値 01-Feb-2000 は含まれない点に注意してください)。以上の理由により、Oracle では、パーティションの特別な上限値として MAXVALUE というキーを使用できます。Retek では、パーティション化されたすべてのテーブルに、MAXVALUE を上限値とするダミーパーティションを含めることを推奨します。

RDW の圧縮テーブルをパーティション化するときには、特別な考慮事項があります。各種パーティションのメンテナンスコマンドの簡単な説明を次に示します。詳細については、Oracle の最新のマニュアルを参照してください。

- **ADD PARTITION:** パーティション化されたテーブルの上限に新しいパーティションを追加します。Retek は、MAXVALUE パーティションを使用することを推奨しており、このパーティションが最上位のパーティションになります。そのため、ADD PARTITION と同等の機能は、MAXVALUE パーティションの SPLIT で実現できます。
- **DROP PARTITION:** パーティションをドロップします。データが増えるにつれ古くなっていくパーティションのうち、最古のパーティション (つまり最小値が割り当てられたパーティション) を削除するときに使用する一般的な方法です。
- **EXCHANGE PARTITION:** 非パーティション化テーブルをパーティション化されたテーブルに変換します。または、逆に、パーティション化されたテーブルを非パーティション化テーブルに変換します。
- **MERGE PARTITION:** 隣接する 2 つのパーティションを 1 つにマージします。
- **MOVE PARTITION:** パーティションを別のセグメントに移動します。これは、パーティションをデフラグしたり、格納領域の特性を変更したりするときに使用します。
- **SPLIT PARTITION:** パーティションの下限部分に新しいパーティションを追加することにより、既存のパーティションを分割します。
- **TRUNCATE PARTITION:** パーティションからすべての行を削除します。

Oracle では、ローカル索引パーティションと、基礎となるテーブルパーティションとを、自動的に、1 対 1 に対応づけて維持します。また、任意のテーブルパーティション操作 (ADD PARTITION など) が、対応する索引パーティションに影響を与える場合があります。

サマリー

パーティションは、大きなテーブルを、管理しやすいより小さな単位に分割する場合に有用です。パーティションに関する Retek の推奨事項を次に示します。

- パーティション化は、テーブルサイズが 20 GB を超える場合、またはパーティション化により実益を得ることのできる特殊な事情がある場合に検討すること。
- 個々のパーティションサイズは 10 GB 未満に維持すること。
- レンジパーティション化には、日付を主キーとして使用すること。
- テーブルをパーティション化する場合は、ローカル索引にすること。
- 各パーティションは別々のテーブル領域に配置すること。
- パーティションの更新終了後は、テーブル領域を READ ONLY に変更して、バックアップの要件を低減すること。

圧縮テーブルをパーティション化する場合は、特別な要件を考慮すること。

第 5 章 RDW プログラムの概要

この章では、RDW の RETL プログラムについて概要を説明します。RETL ツールの詳細については、『RETL 1.7.X プログラマーズガイド』を参照してください。

この章では、RDW 製品インストール時のディレクトリ構造の設定について説明します。ディレクトリの詳細については、『RDW 10.1 データベースインストールガイド』を参照してください。

プログラムの機能

RDW 10.1 の RETL プログラムには、以下の機能が含まれています。

- プログラムリターンコード
- プログラムステータス制御ファイル
- 再起動/復旧
- メッセージログ機能
- プログラムエラーファイル
- 拒否データファイル
- スキーマファイル
- コマンドラインパラメータ
- パーティション化

プログラムリターンコード

RDW の RETL プログラムは、リターンコードを使用して、正常終了を通知します。プログラムが正常に実行された場合はゼロ (0) が返されます。プログラムでエラーが発生した場合には、ゼロ以外が返されます。

プログラムステータス制御ファイル

同じデータのセットに対して実行中のプログラムと同じプログラムが実行されないようにするには、DWI コードでプログラムステータス制御ファイルを使用します。各モジュールの開始時に、`dwi_config.env` を実行します。これにより、プログラムステータス制御ファイルが存在するかどうかをチェックします。

ファイルが存在する場合は、'`${PROGRAM_NAME}` has already started (`${PROGRAM_NAME}` がすでに開始されています)' で始まるメッセージがログに出力され、モジュールが終了します。ファイルが存在しない場合、プログラムステータス制御ファイルが作成され、モジュールが終了します。

いずれかの時点でモジュールにエラーが発生した場合、プログラムステータス制御ファイルは削除されません。モジュールを再実行する前に、クライアントで制御ファイルを削除する必要があります。

命名規則

プログラムステータス制御ファイルの命名規則により、入力テキストファイルであるプログラムを複数のファイルに対して同時に繰り返し実行できます。

プログラムステータス制御ファイルの名前およびディレクトリは、構成ファイル (dwi_config.env) に設定されます。ディレクトリは既定で \$MMHOME/error です。プログラムステータス制御ファイルの命名規則は、既定で次のようになっています。

- プログラム名
- 出力ファイル名 (コマンドラインで指定されている場合)
- 'status'
- モジュールが実行された仮想営業日

たとえば、バッチ実行が 2001 年 1 月 5 日の場合、invildex プログラムのプログラムステータス制御ファイルは次のようになります。

```
$MMHOME/error/invildex.invilddm.txt.status.20010105
```

再起動/復旧

RETL はすべてのレコードをセットとして処理するため、一度に 1 つのレコードを処理する場合と異なり、再起動および復旧の手法が Pro*C で使用されたものとは異なります。RDW 10.1 内の再起動および復旧の処理には次の 2 つの目的があります。

- 1 プログラムまたはデータベースの障害によるデータの損失を防ぐ。
- 2 プログラムまたはデータベースの障害発生後の再起動時に、実行が必要な再処理の量を制限することによりパフォーマンスを向上させる。

DWI 再起動および復旧

データウェアハウスインターフェイス (DWI) モジュールでは、ソースランザクシオンデータベースまたはテキストファイルから抽出し、テキストファイルに書き込みます。単一の RETL フローを使用するモジュールの場合は、再起動および復旧を使用する必要はありません。何らかの理由で抽出プロセスが失敗した場合、問題を解決し、データを損失せずにプロセス全体を最初から実行することができます。入力としてテキストファイルが使用されるモジュールの場合は、モジュールを最初から実行するために次のいずれかの方法を選択できます。

- 1 入力ファイル全体を使用してモジュールを再実行する。
- 2 最初の実行で正常に処理されなかったレコードのみを使用してモジュールを再実行し、その結果ファイルを最初の出力ファイルと連結する。

注: slsildmex.ksh モジュールで 2 番目の方法を用いる場合は、金額および数量が二重に計算されるのを防ぐために、該当するランザクシオンヘッダのすべてのレコードを入力ファイルに含む必要があります。

再処理が必要なデータの量を制限するには、複数の RETL フローを使用する複雑なモジュールにおいて、再起動および復旧のためにブックマークを利用します。ブックマークを利用することにより、前回成功した位置からモジュールを再起動して完了させることができます。ブックマークによる再起動/復旧においては、ブックマークフラグを利用して次に実行すべきプロセスのステップを示します。プロセスの各ステップのブックマークフラグは、ブックマークファイルに書き込まれ、ブックマークファイルから読み取られます。

注: 問題の解決後に障害が発生した場合、ソーステーブルまたはファイルのデータを変更する必要があります。変更したデータを抽出するには、ブックマークファイルを削除し、プロセスを最初から再実行します。

RDW 再起動および復旧

単一の RETL フローを使用する読み込みモジュールの場合は、再起動および復旧を使用する必要はありません。何らかの理由で読み込みプロセスが失敗した場合は、モジュールを最初から再実行できます。

複数の RETL フローを使用する複雑なモジュールの場合は、読み込みプロセスの失敗によるデータ損失の可能性があります。個々のステップはそれぞれ正常に処理されるとコミットされます。したがって、次のステップが失敗した場合にロールバックは不可能です。これらのモジュールは、再起動および復旧のブックマークを使用します。ブックマークを利用することにより、前回成功した位置からモジュールを再起動して完了させることができます。ブックマークによる再起動/復旧においては、ブックマークフラグを利用して、次に実行すべきプロセスのステップを示します。プロセスの各ステップのブックマークフラグは、ブックマークファイルに書き込まれ、ブックマークファイルから読み取られます。

注: 問題の解決後に障害が発生した場合、ソーステーブルまたはファイルのデータを変更する必要があります。変更したデータを抽出するには、ブックマークファイルを削除し、プロセスを最初から再実行します。

プログラム制御テーブル

RDW 10.1 では、PROGRAM_CONTROL_DM テーブルを使用して、モジュールのレコード処理方法を決定します。PROGRAM_CONTROL_DM テーブルの内容に関するモジュールごとの詳細については、第 8 章「プログラムの参照リスト」を参照してください。

PROGRAM_CONTROL_DM テーブルには、現在のプログラムプロセスについてレコードが保持する情報が含まれます。テーブルおよび列の詳細については、「RDW 10.1 データモデル」を参照してください。

ブックマークファイル

再起動および復旧ブックマークファイルの名前およびディレクトリは、構成ファイル (`dwi_config.env` および `rdw_config.env`) に設定されます。ディレクトリは既定で `$MMHOME/rfx/bookmark` です。ブックマークファイルの命名規則は、既定で次のようになっています。

- プログラム名
- 最初のファイル名 (コマンドラインで指定されている場合)
- 'bkm'
- モジュールが実行された仮想営業日

たとえば、バッチ実行が 2001 年 1 月 5 日の場合、`invildex` プログラムのブックマークフラグは次のファイルに書き込まれます。

```
$MMHOME/rfx/bookmark/invildex.invilddm.txt.bkm.20010105
```

メッセージログ機能

メッセージログは、この項に示したフォーマットで毎日出力されます。

デイリーログファイル

すべての RETL プログラムは、起動時と終了時に、デイリーログファイルにメッセージを出力します。デイリーログファイルの名前およびディレクトリは、構成ファイル (`dwi_config.env` および `rdw_config.env`) に設定されます。ディレクトリは既定で `$MMHOME/log` です。すべてのログファイルは、UTF-8 にエンコードされます。

デイリーログファイルの命名規則は、既定で次のようになっています。

- モジュールが実行される仮想営業日
- '.log'

たとえば、仮想営業日が 2001 年 1 月 5 日の場合、ログファイルの場所および名前は次のようになります。

```
$MMHOME/log/20010105.log
```

フォーマット

次の例に示すように、ログファイルに書き込まれる各メッセージにはプログラム
の名前、タイムスタンプ、および情報メッセージまたはエラーメッセージが含ま
れています。

```
cusdemogdm 13:20:01: Program Starting...
cusdemogdm 13:20:05: Build update and insert data.
cusdemogdm 13:20:13: Analyze table rdwl0dev.cust_demog_dm_upd
cusdemogdm 13:20:14: Insert/Update target table.
cusdemogdm 13:20:23: Analyze table rdwl0dm.cust_demog_dm
cusdemogdm 13:20:27: Program Completed...
```

プログラムが異常終了した場合は、通常はプロセス内の問題発生場所を示すエ
ラーログが出力されます。ログファイルに書き込まれるエラーメッセージには、
エラーファイルへの詳細な書き込みが不要な 'No output file specified (出力ファ
イルが指定されていません)' のようなメッセージがあります。

プログラムエラーファイル

デイリーログファイルに加えて、各プログラムが独自の詳細フローとエラーメッ
セージを出力します。これらのメッセージは、デイリーログファイルに混在する
のではなく、個々のプログラムによって、各実行ごとに固有の独立したエラー
ファイルにエラーとして出力されます。

プログラムエラーファイルの名前およびディレクトリは、構成ファイル
(dwi_config.env および rdw_config.env) に設定されます。ディレクトリは既定で
\$MMHOME/error です。このエラーファイルには、特定の日の特定のプログラム
に関するエラーおよびルーチン処理メッセージがすべて書き込まれます。たと
えば、RETL の呼び出しから stderr と stdout の両方が格納されます。すべてのエ
ラーファイルは、UTF-8 にエンコードされます。

プログラムのエラーファイルの命名規則は、既定で次のようになっています。

- プログラム名
- 最初のファイル名 (コマンドラインで指定されている場合)
- モジュールが実行された仮想営業日

たとえば、バッチ実行が 2001 年 1 月 5 日の場合、slsilddm プログラムのエラー
および詳細ログ情報はすべて次のファイルに格納されます。

```
$MMHOME/error/slsildmdm.slsildmdm.txt.20010105
```

DWI 拒否ファイル

フェーズおよびシーズン DWI ディメンション抽出モジュールは、ほとんどの DWI ファクト抽出モジュール同様、データ関連の問題 (必須ルックアップテーブルにデータが見つからないなど) が発生した場合に拒否ファイルを生成します。モジュールはすべてのデータの処理を試みてから、レコードが拒否されたことを示します。すべてのデータ問題を 1 つのパスで識別し、解決した後で、モジュールを再実行して正常に完了させることができるという考えです。モジュールがレコードを拒否した場合、拒否ファイルは削除されません。モジュールを再実行する前に、クライアントで拒否ファイルを削除する必要があります。

注: レコードが拒否されると DWI ファクト抽出モジュールは失敗しますが、フェーズおよびシーズン DWI ディメンション抽出モジュールは失敗しません。

拒否ファイルのレコードには、エラーメッセージ、および拒否されたレコードの主要な情報が含まれます。次の例に、通貨換算ライブラリ内の問題のために拒否されたレコードを示します。

```
Currency Conversion Failed|101721472|20010309
```

次の例に、ソーステーブルでの情報の検索に関する問題のために拒否されたレコードを示します。

```
Unable to find item_master record for Item|101721472
```

拒否ファイルの名前およびディレクトリは、構成ファイル (`dwi_config.env`) に設定されます。ディレクトリは既定で `$MMHOME/data` です。

注: 拒否ファイル固有のディレクトリを作成できます。`dwi_config.env` ファイルは、そのディレクトリを指すように変更する必要があります。

拒否ファイルの命名規則は、既定で次のようになっています。

- プログラム名
- 最初のファイル名 (コマンドラインで指定されている場合)
- 'rej'
- モジュールが実行された仮想営業日

たとえば、バッチ実行が 2001 年 1 月 5 日の場合、`slsildmex` プログラムの拒否されたレコードはすべて次のファイルに格納されます。

```
$MMHOME/data/slsildmex.slsildmdm.txt.rej.20010105
```

スキーマファイル

RETL は、スキーマファイルを使用して、データセットを定義します。スキーマファイルには、各列のデータ構造が定義されます。RETL は、このファイルに基づいて、データのフォーマットと取り扱い方法を決めます。スキーマファイルの詳細については、『RETL 1.7.X プログラマーズガイド』を参照してください。スキーマファイル名が各モジュール内にハードコードされている理由は、次のとおりです。

- スキーマファイルは、日ごとに変更してはならない。
- DWI 抽出モジュールが使用するスキーマファイルは、RDW データマート読み込みモジュールが使用するものと同じでなければならない。

コマンドラインパラメータ

RDW 10.1 の各 RETL モジュールを実行するために、Unix コマンドラインで入力/出力データファイルパスおよび名前を渡さなければならない場合があります。

DWI

DWI ファクト抽出モジュールは、`output_file_path` および `output_file_name` で渡す必要があります (下記の例 1 参照)。ファイルベースモジュールの場合も、`input_file_path` および `input_file_name` が必要です (下記の例 2 参照)。

例 1 および例 2 を次に示します。

```
1 ncstuildex output_file_path/output_file_name
2 lptotldex output_file_path/output_file_name
   input_file_path/input_file_name
```

DWI ディメンション抽出モジュールはマルチスレッドオプションを含まないため、パラメータで渡す必要はありません。出力パス/ファイル名は、既定で `$DATA_DIR/(DM program name).txt` です。

RDW

データマートベースファクト読み込みモジュールは、`input_file_path` および `input_file_name` で渡す必要があります。データマートディメンション読み込みモジュールは、入力パス/ファイル名が既定で次のようになっているため、パラメータで渡す必要はありません。
`$DATA_DIR/(program name).txt`。

すべてのプログラムおよび対応するコマンドラインパラメータの詳細な一覧については、第 8 章「プログラムの参照リスト」を参照してください。

マルチスレッド

Unix でマルチスレッドが定義される方法とは異なり、RDW 10.1 では 'マルチスレッド' を使用して、複数のデータグループに対して同時に繰り返し実行される単一の RETL プログラムを参照します。マルチスレッドは、入力にテキストファイルを使用する DWI ファクト抽出モジュールにのみ使用できます。マルチスレッドは、その実装方法によっては、トータルな処理時間を短縮できる場合があります。

ファイルベースのファクト抽出モジュールは、各入力ファイルに対して一度ずつ実行する必要があります。各入力ファイルには、個別の出力ファイルを指定する必要があります。生成されたすべてのテキストファイルは、Unix の連結 (`cat`) コマンドを使用して 1 つのファイルに統合できます。これを毎日のバッチ操作に追加する作業は、クライアントが行います。

たとえば、`lptotldex.ksh` モジュールが 3 つの入力ファイルに対して 3 回実行される場合、次のように呼び出されます

```
lptotldex $MMHOME/data/lptotlddm.1000000009
$MMHOME/data/RDWS_1000000009_20020310_20020311

lptotldex $MMHOME/data/lptotlddm.1000000010
$MMHOME/data/RDWS_1000000010_20020310_20020311

lptotldex $MMHOME/data/lptotlddm.1000000011
$MMHOME/data/RDWS_1000000011_20020310_20020311
```

3 つの出力ファイルを連結するには、`$MMHOME/data` ディレクトリで次のコマンドを実行します。

```
cat lptotlddm.1000000009 lptotlddm.1000000010
lptotlddm.1000000011 > lptotlddm.txt
```

この例では、テキストファイルが連結されて `lptotlddm.txt` になります。このテキストファイルは、次に `RDW RETL` のバッチプログラムによって読み込まれます。本日分のロス防止店舗合計のすべてのファクトが 1 つのテキストファイルに含まれている必要があります。詳細については、第 8 章の図で、コマンドラインパラメータの列を参照してください。

パーティション化

`RETL` パーティション化により、データは `RETL` で定義された論理パーティション数に基づいて複数のセグメントすなわちパーティションに分割されます。推奨される既定の方法では、論理パーティションの数を、利用可能な `CPU` ノードと同じ数に設定します。各プロセッサは、データセット全体ではなく、データセットの一部だけを担当します。このパーティション読み込み方法により、データセット全体の処理が、単一プロセッサ環境と比較して格段に高速化されます。

パーティション化の操作は、並列操作に近い動作をします。したがって、アプリケーションのユーザは、パーティション化の詳細および並列化されていることをいっさい意識する必要はありません。パーティション数の設定、およびどの演算子が既定で直列または並列になるかを決定する方法の詳細については、『`RETL 1.7.X` プログラマーズガイド』を参照してください。

一般的な実行およびデバッグの状況

次の例では、`RDW 10.1` 内の各タイプのプログラムについて一般的な実行およびデバッグの状況を示します。例に示すログファイル、エラーファイルなどの名前は、モジュールが仮想営業日の 2001 年 3 月 9 日に実行されることを前提としています。各ファイルの格納場所については、前述の命名規則を参照してください。

DWI ディメンション抽出

orglocex.ksh を実行するには、以下の手順に従います。

- 1 ディレクトリを \$MMHOME/rfx/src に変更します。
- 2 Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%orglocex.ksh
```

モジュールが正常に実行されると、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、orglocex に関する "Program started ... (プログラムが開始されました)" および "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました)" というメッセージが含まれます。
- 2 **データ:** orglocdm.txt ファイルがデータディレクトリに格納されます。このファイルには抽出されたレコードが含まれています。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル orglocex.20010309 には標準 RETL フロー ("All threads complete (すべてのスレッドが完了しました)" および "Flow ran successfully (フローは正常に実行されました)" で終了) が含まれ、追加のエラーメッセージはありません。
- 4 **プログラムステータス制御:** プログラムステータス制御ファイル orglocex.status.20010309 は存在しません。
- 5 **拒否ファイル:** 拒否ファイル orglocex.rej.20010309 は存在しません。

モジュールが正常に実行されなかった場合、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、orglocex に関する "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました)" というメッセージは含まれません。
- 2 **データ:** orglocdm.txt ファイルがデータディレクトリに格納されていても、すべての抽出されたレコードがファイルに含まれていない場合があります。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル orglocex.20010309 に、エラーメッセージが含まれている場合があります。
- 4 **プログラムステータス制御:** プログラムステータス制御ファイル orglocex.status.20010309 が存在します。
- 5 **拒否ファイル:** このモジュールはレコードを拒否しないため、拒否ファイル orglocex.status.20010309 は存在しません。
- 6 **ブックマークファイル:** このモジュールは再起動および復旧を利用しないため、ブックマークファイル orglocex.bkm.20010309 は存在しません。

モジュールを実行するには、次の手順に従います。

- 1 エラーの原因となる問題を特定して解決します。
- 2 プログラムのステータス制御ファイルを削除します。
- 3 ディレクトリを \$MMHOME/rfx/src に変更します。Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%orglocex.ksh
```


DWI ファクト抽出

テーブルベース

テーブルベース DWI ファクト抽出モジュールは、ソースデータをデータベーステーブルから読み取り、出力をフラットファイルに書き込みます。

invildex.ksh を実行するには、ディレクトリを \$MMHOME/rfx/src に変更します。Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%invildex.ksh $MMHOME/data/invilddm.txt
```

モジュールが正常に実行されると、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、invildex に関する "Program started ..." (プログラムが開始されました)、"Number of records in <output path and filename> = <number of records processed> (<出力パスおよびファイル名> 内のレコード数 = <処理されたレコード数>)"、さまざまな情報メッセージ、および "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました)" が含まれます。
- 2 **データ:** invilddm.txt ファイルがデータディレクトリに格納されます。このファイルには抽出されたレコードが含まれています。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル invildex.invilddm.txt.20010309 には、プログラムの標準 RETL フロー ("All threads complete (すべてのスレッドが完了しました)" および "Flow ran successfully (フローは正常に実行されました)" を伴う)、およびテーブルをドロップしたときの標準データベース出力が格納され、追加のエラーメッセージは含まれません。
- 4 **プログラムステータス制御:** プログラムステータス制御ファイル invildex.invilddm.txt.status.20010309 は存在しません。
- 5 **拒否ファイル:** 拒否ファイル invildex.invilddm.txt.rej.20010309 は存在しません。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル invildex.invilddm.txt.bkm.20010309 は存在しません。

レコードが拒否されたために、モジュールが正常に実行されなかった場合、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、invildex に関する "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました)" というメッセージは含まれません。ログファイルには、"Number of records in <reject path and filename> = <number of rejected records> (<拒否パスおよびファイル名> 内のレコード数 = <拒否されたレコード数>)" および "ERROR: **Records rejected by invildex (エラー: **レコードは invildex によって拒否されました)" というメッセージが含まれます。
- 2 **データ:** invilddm.txt ファイルがデータディレクトリに格納されていても、すべての抽出されたレコードがファイルに含まれていない場合があります。

- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル `invildex.invilddm.txt.20010309` には、プログラムの標準 RETL フローが含まれます。エラーメッセージが含まれる場合もあります。
- 4 **プログラムステータス制御:** プログラムステータス制御ファイル `invildex.invilddm.txt.status.20010309` は存在しません。
- 5 **拒否ファイル:** 拒否ファイル `invildex.invilddm.txt.rej.20010309` が存在します。各拒否ファイルには、詳細なエラーメッセージが含まれます。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル `invildex.invilddm.txt.bkm.20010309` は存在しません。

拒否レコード以外の理由でモジュールが正常に実行されなかった場合、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル `20010309.log` には、`invildex` に関する "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました)" というメッセージは含まれませんが、その他の情報メッセージが含まれる場合があります。
- 2 **データ:** `invilddm.txt` ファイルがデータディレクトリに格納されていても、抽出されたレコードがファイルに含まれていない場合があります。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル `invildex.invilddm.txt.20010309` には、プログラムの RETL フローおよびエラーメッセージが含まれます。
- 4 **プログラムステータス制御:** プログラムステータス制御ファイル `invildex.invilddm.txt.status.20010309` は存在しません。
- 5 **拒否ファイル:** `invildex` に対する拒否ファイル `invildex.invilddm.txt.rej.20010309` は、存在する場合としない場合があります。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル `invildex.invilddm.txt.bkm.20010309` が存在します。モジュール内の最初の作業単位が完了していない場合、またはモジュールが再起動および復旧を使用しない場合は、ブックマークファイルは作成されません。

モジュールを実行するには、次の手順に従います。

- 1 エラーの原因となる問題を特定して解決します。
- 2 モジュールを最初から再実行する場合は、プログラムのブックマークファイルを削除します。
- 3 プログラムの制御ステータスファイルを削除します。
- 4 ディレクトリを `$MMHOME/rfx/src` に変更します。Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%invildex.ksh $MMHOME/data/invilddm.txt
```

ファイルベース

ファイルベース DWI ファクト抽出モジュールは、フラットファイルからソースデータを読み取り、フラットファイルに出力を書き込みます。

lptotldex.ksh を実行するには、ディレクトリを \$MMHOME/rfx/src に変更します。Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%lptotldex.ksh $MMHOME/data/lptotlddm.txt
$MMHOME/data/RDWS_1000000009_20020310_20020311
```

モジュールが正常に実行されると、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、lptotldex に関する "Program started ... (プログラムが開始されました)"、"Number of records in <output path and filename> = <number of records processed> (<出力パスおよびファイル名> 内のレコード数 = <処理されたレコード数>)"、さまざまな情報メッセージ、および "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました)" というメッセージが含まれます。
- 2 **データ:** lptotlddm.txt ファイルがデータディレクトリに格納されます。このファイルには抽出されたレコードが含まれています。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル lptotldex.lptotlddm.txt.20010309 には、プログラムの標準 RETL フロー ("All threads complete (すべてのスレッドが完了しました)" および "Flow ran successfully (フローは正常に実行されました)" を伴う)、およびテーブルをドロップしたときの標準データベース出力が格納され、追加のエラーメッセージは含まれません。
- 4 **プログラムステータス制御:** プログラムステータス制御ファイル lptotldex.lptotlddm.txt.status.20010309 は存在しません。
- 5 **拒否ファイル:** 拒否ファイル lptotldex.lptotlddm.txt.rej.20010309 は存在しません。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル lptotldex.lptotlddm.txt.bkm.20010309 は存在しません。

レコードが拒否されたために、モジュールが正常に実行されなかった場合、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、lptotldex に関する "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました)" というメッセージは含まれません。ログファイルにはメッセージ "Number of records in <reject path and filename> = <number of rejected records> (<拒否パスおよびファイル名> 内のレコード数 = <拒否されたレコード数>)" および "ERROR: **Records rejected by invldex (エラー: **レコードは lptotldex によって拒否されました)" が含まれます。
- 2 **データ:** lptotlddm.txt ファイルがデータディレクトリに格納されていても、すべての抽出されたレコードがファイルに含まれていない場合があります。

- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル `lptotldex.lptotlddm.txt.20010309` には、プログラムの標準 RETL フロー ("All threads complete (すべてのスレッドが完了しました)" および "Flow ran successfully (フローは正常に実行されました)" を伴う)、およびテーブルをドロップしたときの標準データベース出力が格納され、追加のエラーメッセージは含まれません。
- 4 **プログラムステータス制御:** プログラムステータス制御ファイル `lptotldex.lptotlddm.txt.status.20010309` は存在しません。
- 5 **拒否ファイル:** 拒否ファイル `lptotldex.lptotlddm.txt.rej.20010309` が存在します。各拒否ファイルには、詳細なエラーメッセージが含まれます。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル `lptotldex.lptotlddm.txt.bkm.20010309` は存在しません。

各拒否ファイル以外の理由でモジュールが正常に実行されなかった場合、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル `20010309.log` には、`lptotldex` に関する "...Program failed... (...プログラムが失敗しました...)" というメッセージが含まれます。
- 2 **データ:** `lptotlddm.txt` ファイルがデータディレクトリに格納されていても、抽出されたレコードがファイルに含まれていない場合があります。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル `lptotldex.lptotlddm.txt.20010309` には、プログラムの RETL フローおよびエラーメッセージが含まれます。
- 4 **プログラムステータス制御:** プログラムステータス制御ファイル `lptotldex.lptotlddm.txt.status.20010309` は存在しません。
- 5 **拒否ファイル:** 拒否ファイル `lptotldex.lptotlddm.txt.rej.20010309` が存在する場合があります。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル `lptotldex.lptotlddm.txt.bkm.20010309` は存在しません。(モジュールが再起動および復旧を使用する場合は、ブックマークファイルが存在する可能性があります。)

モジュールを実行するには、次の手順に従います。

- 1 エラーの原因となる問題を特定して解決します。
- 2 モジュールを最初から再実行する場合は、プログラムのブックマークファイルを削除します。
- 3 プログラムの制御ステータスファイルを削除します。
- 4 ディレクトリを `$MMHOME/rfx/src` に変更します。Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%lptotldex.ksh $MMHOME/data/lptotlddm.txt
$MMHOME/data/RDWS_1000000009_20020310_20020311
```

RDW ディメンション読み込み

prdpimdm.ksh を実行するには、次の手順に従います。

- 1 ディレクトリを \$MMHOME/rfx/src に変更します。
- 2 Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%prdpimdm.ksh
```

モジュールが正常に実行されると、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、prdpimdm に関する "Program started ... (プログラムが開始されました)"、さまざまな情報メッセージ、および "Program completed ... (プログラムが完了しました ...)" というメッセージが含まれます。
- 2 **データ:** ソースファイル \$MMHOME/data/prdpimdm.txt からのレコードは、ターゲットテーブルに読み込まれます。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル prdpimdm.20010309 には、プログラムの標準 RETL フロー ("All threads complete (すべてのスレッドが完了しました)" および "Flow ran successfully (フローは正常に実行されました)" を伴う)、およびテーブルをドロップしたときの標準データベース出力が格納され、追加のエラーメッセージは含まれません。
- 4 **プログラムステータス制御:** PROGRAM_STATUS_DM テーブルは 'completed' に更新されます。program_name = prdpimdm、file_name = \$MMHOME/data/prdpimdm.txt です。
- 5 **拒否ファイル:** RDW モジュールに対して拒否ファイルは作成されません。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル prdpimdm.bkm.20010309 は存在しません。

モジュールが正常に実行されなかった場合、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、prdpimdm に関する "Program Completed ... (プログラムが完了しました ...)" というメッセージは含まれません。
- 2 **データ:** ソースファイル \$MMHOME/data/prdpimdm.txt からのレコードの一部が、ターゲットテーブルに読み込まれる場合があります。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル prdpimdm.20010309 には、プログラムの RETL フローおよび追加のエラーメッセージが含まれます。
- 4 **プログラムステータス制御:** PROGRAM_STATUS_DM テーブルは 'error' に更新されます。program_name = prdpimdm、file_name = \$MMHOME/data/prdpimdm.txt です。
- 5 **拒否ファイル:** RDW モジュールに対して拒否ファイルは作成されません。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル prdpimdm.bkm.20010309 が存在する場合があります。モジュール内の最初の作業単位が完了していない場合、またはモジュールが再起動および復旧を使用しない場合は、ブックマークファイルは作成されません。

モジュールを実行するには、次の手順に従います。

- 1 エラーの原因となる問題を特定して解決します。
- 2 モジュールを最初から再実行する場合は、プログラムのブックマークファイルを削除します。
- 3 PROGRAM_STATUS_DM テーブルを 'ready' に更新します。program_name = prdpimdm、file_name = \$MMHOME/data/prdpimdm.txt です。
- 4 ディレクトリを \$MMHOME/rfx/src に変更します。Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%prdpimdm.ksh
```

RDW ファクト読み込み

vchreschddm.ksh を実行するには、次の手順に従います。

- 1 ディレクトリを \$MMHOME/rfx/src に変更します。
- 2 Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%vchreschddm.ksh $MMHOME/data/vchreschddm.txt
```

モジュールが正常に実行されると、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイル 20010309.log には、vchreschddm に関する "Program started ... (プログラムが開始されました)"、さまざまな情報メッセージ、および "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました ...)" というメッセージが含まれます。
- 2 **データ:** ソースファイル \$MMHOME/data/vchreschddm.txt からのレコードは、ターゲットテーブルに読み込まれます。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル vchreschddm.vchreschddm.txt.20010309 には、プログラムの標準 RETL フロー ("All threads complete (すべてのスレッドが完了しました)" および "Flow ran successfully (フローは正常に実行されました)" を伴う)、およびテーブルをドロップしたときの標準データベース出力が格納され、追加のエラーメッセージは含まれません。
- 4 **プログラムステータス制御:** PROGRAM_STATUS_DM テーブルは 'completed' に更新されます。program_name = vchreschddm、file_name = \$MMHOME/data/vchreschddm.txt です。
- 5 **拒否ファイル:** RDW モジュールに対して拒否ファイルは作成されません。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル vchreschddm.vchreschddm.txt.bkm.20010309 が存在する場合があります。モジュール内の最初の作業単位が完了していない場合、またはモジュールが再起動および復旧を使用しない場合は、ブックマークファイルは作成されません。

モジュールが正常に実行されなかった場合、結果は次のようになります。

- 1 **ログファイル:** 本日分のログファイルには、vchreschddm に関する "Program completed successfully (プログラムが正常に完了しました)" というメッセージは含まれません。
- 2 **データ:** ソースファイル \$MMHOM/home/data/vchreschddm.txt からのレコードの一部がターゲットテーブルに読み込まれます。
- 3 **エラーファイル:** プログラムのエラーファイル vchreschddm.vchreschddm.txt.20010309 には、プログラムの RETL フローおよびエラーメッセージが含まれます。
- 4 **プログラムステータス制御:** PROGRAM_STATUS_DM テーブルは 'error' に更新されます。program_name = vchreschddm、file_name = \$MMHOM/home/data/vchreschddm.txt です。
- 5 **拒否ファイル:** RDW モジュールに対して拒否ファイルは作成されません。
- 6 **ブックマークファイル:** ブックマークファイル vchreschddm.vchreschddm.txt.bkm.20010309 が存在する場合があります。モジュール内の最初の作業単位が完了していない場合、またはモジュールが再起動および復旧を使用しない場合は、ブックマークファイルは作成されません。

モジュールを再実行するには、次の手順に従います。

- 1 エラーの原因となる問題を特定して解決します。
- 2 モジュールを最初から再実行する場合は、プログラムのブックマークファイルを削除します。
- 3 PROGRAM_STATUS_DM テーブルを 'ready' に更新します。program_name = vchreschddm、file_name = \$MMHOM/home/data/vchreschddm.txt です。
- 4 ディレクトリを \$MMHOM/home/rfx/src に変更します。Unix プロンプトで次のように入力します。

```
%vchreschddm.ksh $MMHOM/home/data/vchreschddm.txt
```

第 6 章 RDW のインターフェイス

この章では、RDW によるデータインターフェイスの機能サマリーを提供します。これらのインターフェイスを使用し、次のいずれかの方法でデータを受け取ることができます。

まず、RDW はデータウェアハウスインターフェイス (DWI) コードを使用して、ソースシステムからデータを抽出できます (ソースは RMS および ReSA)。付録 A「アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) フラットファイルの仕様」の「抽出および読み込み」で、ディメンションとファクトの両方について、メソッドに関連付けられた API/スキーマファイルを示します。DWI 抽出からのデータは、同じスキーマを使用して RDW 側に読み込まれます。スキーマファイルの詳細については、『RETL 1.7.X プログラマーズガイド』を参照してください。

RDW にデータを読み込むもう一つの方法として、クライアントまたは他の Retek アプリケーション (TopPlan など) によって提供された外部のインターフェイスの利用があります。RDW コードではこのデータは抽出されませんが、この外部データが RDW に読み込まれます。付録 A「アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) フラットファイルの仕様」の「読み込み専用」で、ディメンションとファクトの両方について、メソッドに関連付けられた API/スキーマファイルを示します。

この項では、以下のインターフェイスについて説明します。

- 抽出および読み込み
 - Retek Merchandising System (RMS)
 - ディメンションデータ
 - ファクトデータ
 - Retek Sales Audit (ReSA)
- 読み込み専用
 - Retek TopPlan
 - Retek Customer Order Management (RCOM)
 - クライアント提供のデータ:
 - 顧客アカウントディメンション
 - 顧客地区ディメンション
 - 顧客および商品クラスタディメンション
 - 計画シーズンディメンション
 - 市場データファクトおよびディメンション
 - アロケーション領域ファクト
 - 店舗の輸送ファクト
 - 6つの取引先遵守度ファクトテキストファイルのうち2つ
 - 品質管理
 - 不明な計画配送
 - インストールで読み込まれるデータ: 証票日付ディメンションおよび類似トランスフォーメーション用の類似時間

すべてのデータは、テキストファイルとして RDW に取り込まれます。RDW API の仕様およびビジネス上の要件の詳細については、付録 A「アプリケーションプログラミングインターフェース (API) のテキストファイルの仕様」を参照してください。

Retek Merchandising System

Retek Merchandising System (RMS) は、RDW のディメンションデータおよびファクトデータの主要なソースとなるものです。RMS は、小売業者が所有する本部トランザクション処理システムです。RMS から RDW へのデータのエクスポートは、ディメンションとファクトに分類されます。この項には、それぞれの一般的な概要が含まれています。

ディメンションデータ

RMS は、組織および商品のディメンションデータに対する単独のソースとして使用できるほか、その他、大多数のディメンションデータを供給します。クライアントが RMS を使用しない場合、ディメンションデータは、別のソースから直接読み込まれます。

RDW のディメンションデータプロセスでは、データウェアハウスインターフェイス (DWI) の一部として RETL スクリプトを使用し、RMS から現在のディメンションデータを抽出します。抽出されたデータは、テキストファイルに出力されます。これらのテキストファイルが RDW サーバーに移動された後、RETL は、このテキストファイルのデータと、RDW 内の履歴ディメンションデータとを比較し、その後、ディメンションの変更内容を RDW に挿入/更新します。この比較により、ディメンションの変更が日に何度も発生するようになるときに、逐一変更内容を取り込む必要がなくなります。

RMS から抽出されるディメンションには、[カンパニー]、[競争業者]、[通貨コード]、[従業員]、[アイテム-ロケーション特性クロス]、[アイテム-取引先-ロケーションクロス]、[組織]、[商品] (子要素などのアトリビュートを含む)、[商品シーズン]、[特売]、[理由]、[地域特性]、[サブトランザクションタイプ]、[取引先]、[入札タイプ]、[合計タイプ] などがあります。

ソースとしての RMS は、RDW がサポートする 2 種類の期間のうち、会計 454 暦をサポートします。クライアントは、RDW が別にサポートする 13 暦を供給することもできます。期間がどのように RDW に読み込まれるかの詳細については、『RDW 10.1 データベースインストールガイド』を参照してください。

ファクトデータ

クライアントが RMS を使用しない場合、データは、別のソースから直接読み込まれます。

RDW のファクトデータプロセスでは、DWI の一部として RMS のバッチ処理スケジュール内で実行される、RETL スクリプトを使用して、RMS からファクトデータを抽出します。抽出されたデータは、テキストファイルに出力されます。RETL は、これらのテキストファイルが RDW サーバーに移された後、テキストファイルのデータを取り出し、ファクトデータマートテーブルに対して、トランスフォーメーション、挿入、更新の各操作を適宜実行します。

RMS から抽出されるファクトには、[競争業者の価格変更]、[原価]、[為替レート]、[在庫調整]、[在庫ポジション]、[入荷情報]、[在庫移動]、[値下げ]、[ネット原価]、[価格変更]、[基準原価を基にした利益]、[ベンダー返品]、[売上予測]、[在庫元帳]、[取引先の利用可能性]、[取引先遵守度]、[取引先契約]、[取引先インボイス原価]、[無効在庫] および [通貨為替レート] などがあります。

ローカル通貨とファクトに関する注意事項

RDW クライアントは、大半が、多通貨環境下で業務を行っています。たとえば、クライアントは、売上ファクトを照会するときに、1 つの国における店舗グループ共通のローカル通貨で値を表示したい場合もあれば、複数の国からの全売上を集計して値を表示したい場合もあります。クライアントが通貨値を正確かつ柔軟に格納できるようにするため、ほとんどの RDW 10.1 のファクトテーブルには、ローカル通貨と既定通貨の両方の値が格納されます。多通貨を使用するクライアントは、`loc_key` に基づいて日々保管されるファクトについて、ロケーションのローカル通貨とは別の列に、それを既定通貨に変換したファクトを保持します。単一の通貨だけを使用するクライアントの場合は、ローカル通貨の列は NULL にしたまま、既定通貨列にだけ値が入力されます。この通貨保管計画は、RETL のファクト抽出コードまたは従来のファクトインターフェイスによって実現され、これにより、ローカル通貨と既定通貨の両方を含むテキストファイルが生成され、データマートテーブルに読み込まれます。

Retek Sales Audit

Retek Sales Audit (ReSA) は、売上情報の "未処理" 位置を受け取って、"クリーン" なデータを RDW などのダウンストリームのアプリケーションに提供するための仲介アプリケーションです。クライアントが ReSA を使用しない場合、データは、別のソースから直接読み込まれます。

Retek Sales Audit は、RDW に対して 4 つのフラットファイル (テキストファイル) を書き出します。具体的には、トランザクションアイテムデータ (ファイルタイプ: RDWT)、トランザクション入札データ (RDWF)、店舗合計データ (RDWS)、キャッシュまたはレジの超過/不足データ (RDWC) が出力されます。これらのファイルは、引き続き、RETL スクリプトによるデータ抽出処理に利用されます。これらの RETL スクリプトは、ファクト処理の一環として、RMS のバッチ処理スケジュールで実行されます。抽出されたデータは、テキストファイルに出力されます。RETL は、RDW サーバー上で、テキストファイルを受け取り、ファクトのデータマートテーブルに対して、適宜、挿入および更新を実行します。

ReSA から抽出されるファクトには、[売上トランザクション] と [返品トランザクション] ([パック売上] を含む) のほか、[売上生産性]、[ロス防止トランザクションの数]、[合計ロス防止] ([入札トランザクション]、[キャッシュの金額超過/不足]、[ユーザ定義の合計]) などが含まれます。

レジのディメンションデータは、ファクト DM スクリプト (`ttldmdm.ksh`) によって、ReSA RDWF (入札トランザクション) ファイルから生成されます。

先述の 4 つのフラットファイルに加え、ReSA は、RDW 用の証票ファクトデータのソースとして機能します。ファクトデータは、証票の移動、復帰証票、未処理証票用に、3 つの DWI プログラムによって抽出されます。これらのプログラムの詳細については、第 8 章を参照してください。

Retek TopPlan

Retek TopPlan は、小売業者に対し、計画売上などの計画データを提供します。クライアントが Retek TopPlan を使用しない場合、計画データは、別のソースから RDW に直接読み込まれます。

TopPlan は、計画ファクトデータのソースとして位置付けられます。TopPlan は、RDW に対し、ploblwdm.txt (オリジナルの計画用) と plcblwdm.txt (現行の計画用) という、2 つのテキストファイルを出力します。RETL は、これらのテキストファイルが RDW サーバーに移された後、テキストファイルのデータを取り出し、計画ファクトデータマートテーブルに対して、挿入および更新の操作を適宜実行します。TopPlan からのデータは、定期的に読み込まれるため、毎日読み込む必要はありません。

Retek Customer Order Management

Retek Customer Order Management (RCOM) は、顧客のインタラクション、購入、Web 上の履歴、コールセンター/カタログ、キオスク、店舗など、すべてのチャネルに共通の、在庫に対する単一のビューを備えた主要なソリューションです。クライアントが RCOM を使用しない場合、データは、別のソースから直接読み込まれます。

RCOM は、顧客および顧客の人口統計上のディメンションデータのソースとして位置付けられます。RCOM は、RDW 向けに 1 つのテキストファイル (custdm.txt) を出力します。このテキストファイルが RDW サーバーに移動された後、RETL は、テキストファイルのデータと、RDW 内の履歴データとを比較し、その後、ディメンションデータマートテーブル全体を RDW に挿入します。

クライアント提供のデータ

RDW には、この項で取り上げるファンクションエリアを対象としたプログラムとテーブルが用意されています。ただし、これらのファンクションエリア向けのデータを提供する Retek ソースシステムは、現在利用できません。クライアントが、テキストファイルでデータを供給する必要があります。このテキストファイルを入力ファイルとして、データを処理し、RDW のデータマートテーブルに読み込むことができます。RDW プログラムスケジュール内のクライアント提供のデータの場所については、第 7 章を参照してください。クライアント提供のデータの以下のファンクションエリアに関するビジネス内容情報については、付録 A を参照してください。

- 顧客アカウントディメンション
- 顧客地区ディメンション
- 顧客クラスタおよび商品クラスタディメンション
- 計画シーズンディメンション
- 市場データファクトおよびディメンション
- アロケーション領域ファクト
- 店舗の輸送ファクト
- 6 つの取引先遵守度ファクトテキストファイルのうち 2 つ
 - 品質管理
 - 不明な計画配送

証票日付ディメンションおよび類似トランスフォーメーション用の類似時間のファンクションエリアを表すテーブルは、インストール時に一度だけ読み込まれます。詳細については、『RDW 10.1 データベースインストールガイド』を参照してください。

第 7 章 プログラムフロー図

この章は、ソースシステムから抽出されるディメンションデータおよびファクトデータについて、RDW 10.1 の全処理を示すフロー図を提供します。ここには、ソースとのインターフェイスとして機能する RDW プログラムまたは RDW プロセスに加えて、状況に応じて必要になるソースシステムのプログラムまたは出力ファイルの説明が盛り込まれています。この図は、ソースに対する最初のインターフェイス処理が終わった後、データが個々のデータマートに取り込まれるフローを示しています。

RDW プログラムのスケジュールを設定するにあたっては、各プログラムに関する機能上および技術上の制約について習熟してください。詳細については、『RDW 10.1 データベースインストールガイド』および本オペレーションガイドの第 8 章「プログラムの参照リスト」をお読みください。

バッチスケジュール

次に、RDW のバッチスケジュールの順序に関する制約について説明します。この項には次の内容が含まれています。

- 全体的なバッチスケジュール。スケジュールのタイミングのほか、プログラムをいつ実行するかについての情報 (毎日、毎週、適宜など) が含まれます。
- 機能の相互依存性。ファクトモジュールはディメンションモジュールの後に実行しなければならない、といった機能上の制約が含まれます。

バッチスケジュールの設定

注: 並列実行できるモジュールの数は、クライアントのハードウェアの容量によって異なります。

以下の説明は、Oracle および Teradata RDW クライアントについて述べたものです。DB2 クライアントについては、この章の「DB2 クライアントの RDW バッチスケジュール」を参照してください。一般的なバッチ生成の実行においては、必ずバッチ前メンテナンスモジュールを最初に実行します。フロー図でクライアントがバッチの依存性に従う場合、次に行う作業はクライアントによって異なります。

例:

- DWI 側では、すべてのディメンションおよびファクト抽出モジュールを並列実行できます。(ただし、一部の DWI モジュールには RMS への事前依存性があり、一部の RMS モジュールには DWI モジュールへの依存性があることに注意してください。)商品ディメンションからの抽出モジュール (prdcmpex.ksh、prditmex.ksh など) は、ファクト抽出モジュール (slsildmex.ksh、prcildex.ksh など) との並列実行が可能です。抽出モジュールは並列実行できるので、どのモジュールを最初に実行しても問題はありません (バッチフローに相互依存性が示されていないことが前提)。

- RDW 側では、prditmdm.ksh や prditmldm.ksh などの商品ディメンションモジュールを、個々の事前依存性が完了した後で並列実行できます。ファクトモジュール (prcildm.ksh など) は、関連性のない他のファクトモジュールと並列実行できます。ただし、個々の事前依存性 (ディメンションの前準備など) が正常に完了していなければなりません。

以降のページに示されるバッチフローを参照するときは、上から下に読み進んでください。このように RDW バッチスケジュールを参照することで、クライアントはモジュールの依存性を設定できるだけでなく、関連性のないモジュールの同時実行によってバッチウィンドウを最適化することができます。

dwi_config.env の設定値

DWI 側においては、バッチモジュールを実行する前に dwi_config.env ファイルの環境パラメータを必ず確認します。詳細については、『RDW 10.1 データベースインストールガイド』を参照してください。

rdw_config.env の設定値

『RDW 10.1 データベースインストールガイド』では、クライアントが rdw_config.env file ファイルで設定する必要のある 2 つの重要な RETL 環境変数 (LOAD_TYPE および SCHEDULE_TYPE) について取り上げています。

注: クライアントは、バッチスケジュールを実行する前に、これらの設定値に対するパフォーマンス上の利点をよく検討する必要があります。

- LOAD_TYPE は、RETL がデータをデータベースに読み込むときに使用する読み込みメソッドを指し、Oracle または DB2 DBMS でのみ使用します。
 - **LOAD_TYPE=conventional:** 従来の SQL-Loader メソッド (Oracle) または DB2LOADER ユーティリティ (DB2) を使用して、データを読み込みます。
 - **LOAD_TYPE=direct:** ダイレクト SQL Loader メソッド (Oracle) または Autoloader ユーティリティ (DB2) を使用して、データを読み込みます。この規則には、1 つだけ例外があります。DB2 クライアントの場合、ディメンションモジュールだけ (ディメンションマトリックスモジュールを除く) は、LOAD_TYPE が direct に設定されていても、Autoloader ではなく、DB2LOADER ユーティリティを使用します。
- SCHEDULE_TYPE は、DB2 クライアントに使用し、LOAD_TYPE=direct に設定された DBMS の読み込みのみ影響します。LOAD_TYPE=conventional の場合、SCHEDULE_TYPE は無視されます。SCHEDULE_TYPE の有効な値は、sequential または parallel です。
 - SCHEDULE_TYPE が sequential に設定されている場合は、次の状況が想定されます。
 - すべてのディメンションテーブルに対して 1 つのテーブル領域が存在する。
 - すべてのディメンションマトリックステーブルに対して 1 つのテーブル領域が存在する。

- 各ファクトテーブルに対して 1 つのテーブル領域が存在する。
- 一時テーブルに対して 3 つのユーザデータテーブル領域が存在する。

RDW 10.1 ベースのインストールでは、このように、DB2 テーブル領域が設定されます。ディメンションマトリックスを除くすべてのディメンションモジュールは、並列実行としてスケジューリングできます。ただし、ディメンションマトリックスモジュールとファクトモジュールは、一度に 1 つのモジュールしか実行できません。

- SCHEDULE_TYPE が parallel に設定されている場合、ディメンションマトリックスモジュールおよびファクトモジュールは並列実行できます。ただし、ディメンションマトリックステーブルおよびファクト一時テーブルごとに 1 つのテーブル領域を作成する必要があります。このステップでは、RDW 10.1 のインストールスクリプト (プロシージャ) を少しカスタマイズする必要があります。さらに、RDW 10.0 RETL コードにも一部カスタマイズが必要になる場合もあります。カスタマイズ作業については、Retek Customer Care にお問い合わせください。

RMS、ReSA、および RDW バッチスケジュール

RDW のデータウェアハウスインターフェイス (DWI) の抽出モジュールは、RMS のバッチサイクルで実行されます。また、処理対象のデータを扱うときに、一部の RMS および ReSA モジュールに依存します。詳細については、個々のモジュールの説明を参照してください。RMS モジュールの一部は、DWI モジュールに依存しています。ほとんどの DWI 抽出プログラムは、RMS バッチサイクルのフェーズ 2 が完了した後で実行されます。すべての DWI モジュールは、RMS vdate がインクリメントされて翌日になる前に実行されなければなりません。そうしないと、本日分のファクトは RMS から抽出されません。

RDW 10.1 では、プログラムは、RMS のようなフェーズベースではなく、依存関係に基づいてスケジューリングされます。この依存関係については、プログラムフロー図に記載されています。

TopPlan から RDW へのスケジューリング

Retek TopPlan からの計画データ (オリジナルおよび現行) は、定期的に RDW に読み込まれます。TopPlan から RDW へのデータフローの詳細については、第 6 章「RDW のインターフェイス」を参照してください。

未定義ソースからのデータ

顧客地区ディメンション、アロケーション領域、店舗の輸送のファクトデータなど、一部のファンクションエリアには、あらかじめ定義されたソースは存在しません。これらのファンクションエリアについては、それぞれの読み込みプログラムを実行する前に、ユーザ定義のプロセスによってテキストファイルにデータを入力する必要があります。

DB2 クライアント専用の RDW バッチスケジュール

DB2 にはデータの読み込みに関して固有の要件が存在するため、RDW は db2write および autoload の両方のユーティリティを使用します。小規模のデータを書き込む場合は、db2write ユーティリティが使用されます。大規模なデータについては、高速な読み込みパフォーマンスを実現するために、autoload ユーティリティが使用されます。

オートローダの使用は、クライアントによる読み取り/書き込みの並列処理に重要な影響を与えることに注意してください。オートローダを使用した場合、テーブル領域全体がユーティリティによってロックされます。ロックされたテーブル領域に常駐するすべてのテーブルはアクセス不能になるため、順次的な処理が強制されます。

RDW 10.1 の基本設定では、各モジュールが次の方法で実行されるように設定、スケジューリングされています。

- デイメンションモジュールでは db2write ユーティリティを使用します。並列実行が可能です。
- デイメンションマトリックスモジュールでは autoload ユーティリティを使用します。このモジュールは順次的に実行されます。
- ベーステーブルへの取り込み時に、すべてのファクトモジュールは、autoload ユーティリティを使用し、順次的に実行されます。前述の「config.env の設定値」を参照してください。一部のモジュールは、ファクトモジュールが順次的に実行されていても、読み取り/書き込みに、複数の一時テーブルを使用します。これらの一時テーブルは、個別のテーブル領域に配置されている必要があります。

注: クライアントは、複数の異なるファクトデータマートを並列実行したい場合、該当するユーザテーブル領域に書き込みを行うようにベースコードを修正することに加え、固有の処理ニーズに従ってユーザテーブル領域を設定する必要があります。

db2write ユーティリティおよび autoload ユーティリティの詳細については、DB2 のマニュアルを参照してください。

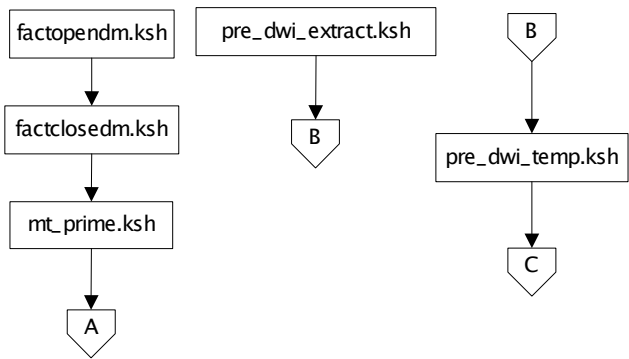
プログラムフロー図

次ページ以降に RDW 10.1 のプログラムフロー図が記載されています。

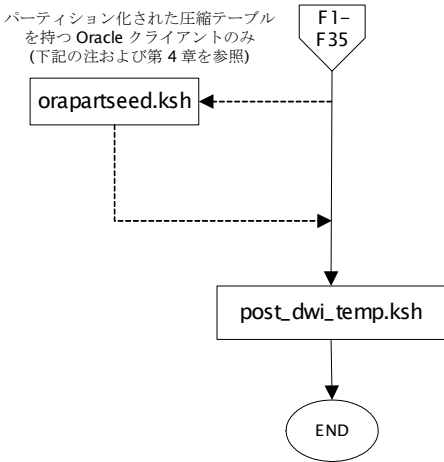
凡例: RDW 10.1 ディメンションプログラム



バッチ前メンテナンス



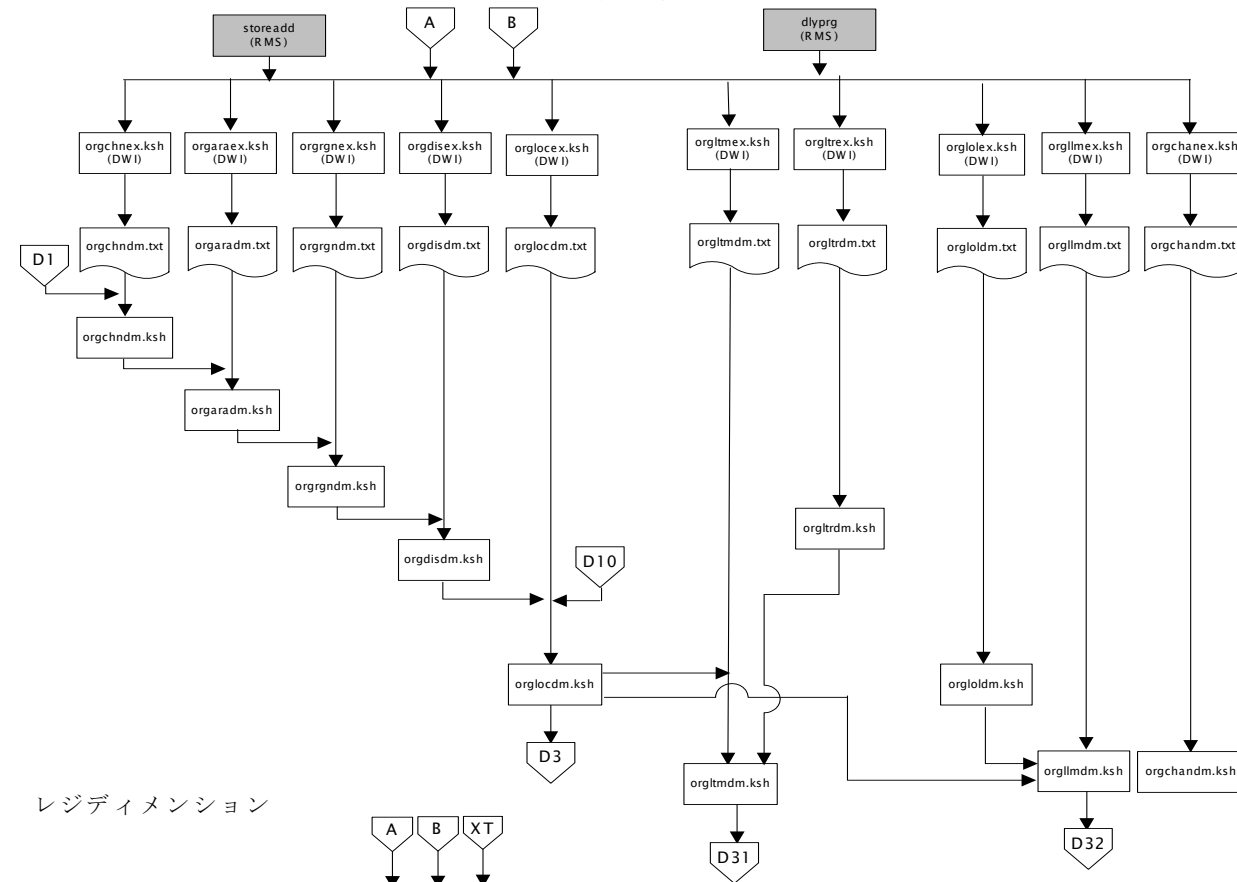
バッチ後メンテナンス



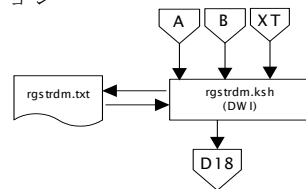
注:
Orapartseed.ksh は、Oracle クライアントだけが使用するオプションプログラムです。このプログラムは、パーティション化された圧縮データマートテーブルに影響を与えます。シーディングの詳細については、「圧縮とパーティション化」を参照してください。

ディメンションデータフロー

組織ディメンション



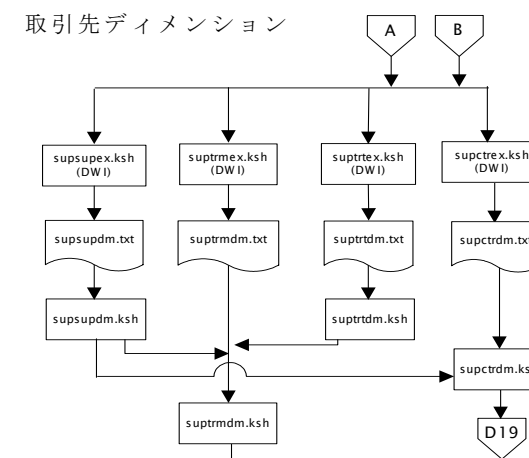
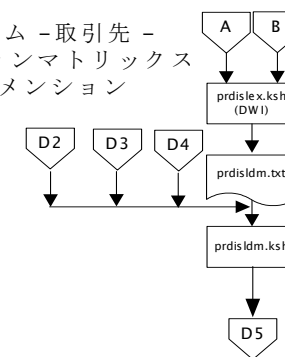
レジディメンション



注:

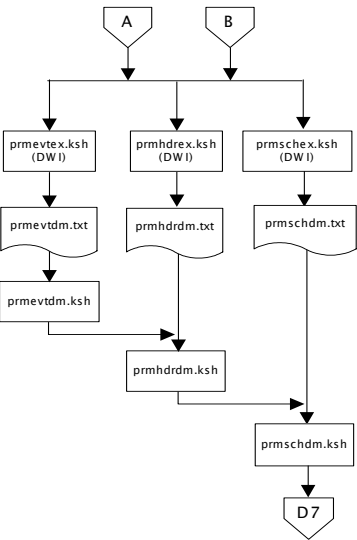
rgstrdm.txt は、rgstrdm.ksh によって内部で生成されます。

取引先ディメンション

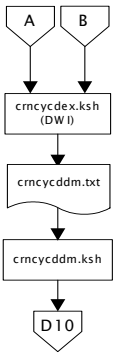
アイテム - 取引先 -
ロケーションマトリックス
ディメンション

ディメンションデータフロー

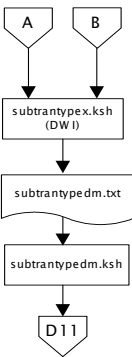
特売ディメンション



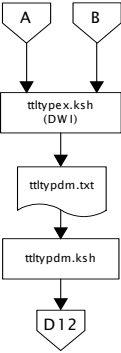
通貨コード
ディメンション



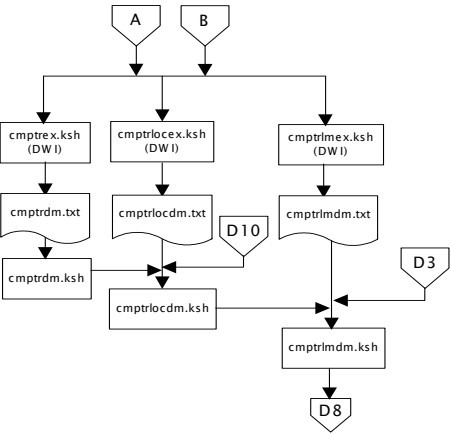
サブランザクション
タイプディメンション



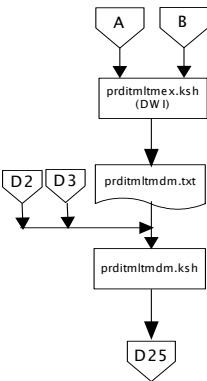
ReSA 合計タイプ
ディメンション



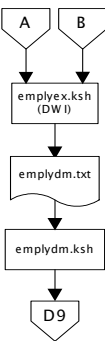
競争業者ディメンション



アイテム - ロケーション特性
マトリックスディメンション



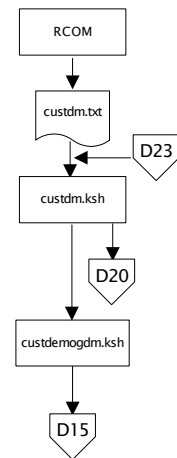
従業員ディメンション



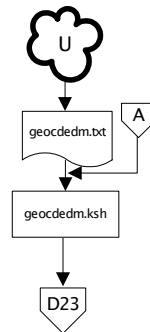
ディメンションデータフロー

顧客および顧客人口統計
ディメンション

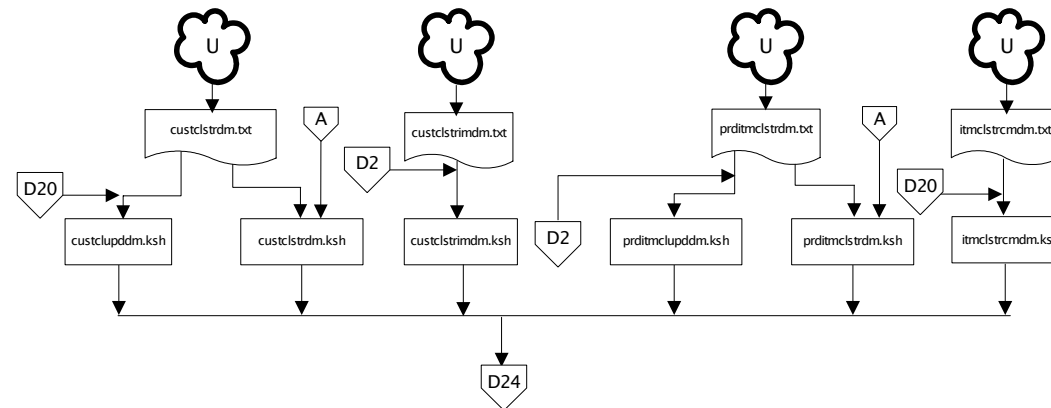
注:
テキストファイルは、Retek
Customer Order Management
(RCOM) で生成されます。



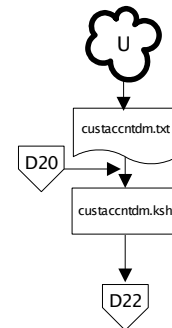
顧客地区
ディメンション



顧客クラスおよび商品
クラスディメンション

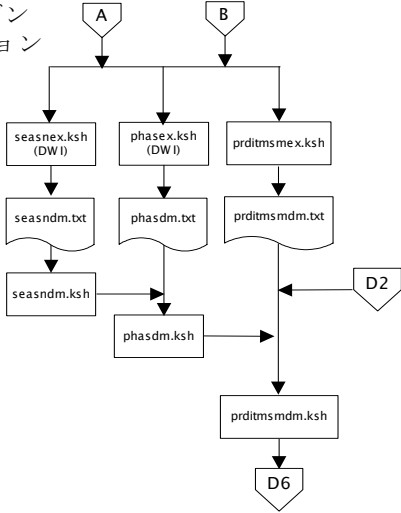


顧客アカウント
ディメンション

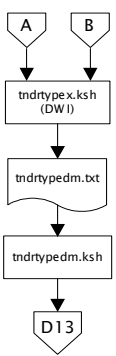


ディメンションデータフロー

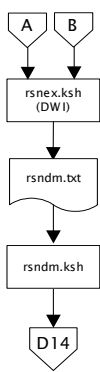
商品シーズン
ディメンション



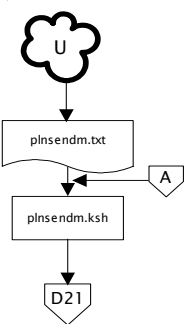
入札タイプ
ディメンション



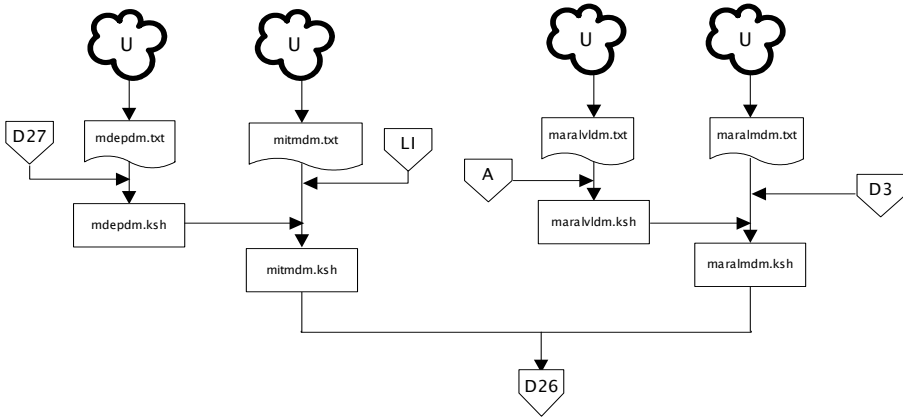
理由ディメンション



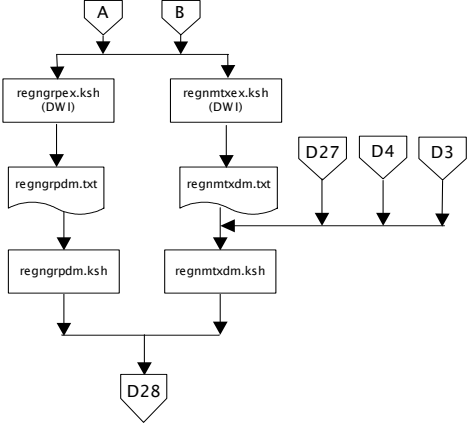
計画シーズン
ディメンション



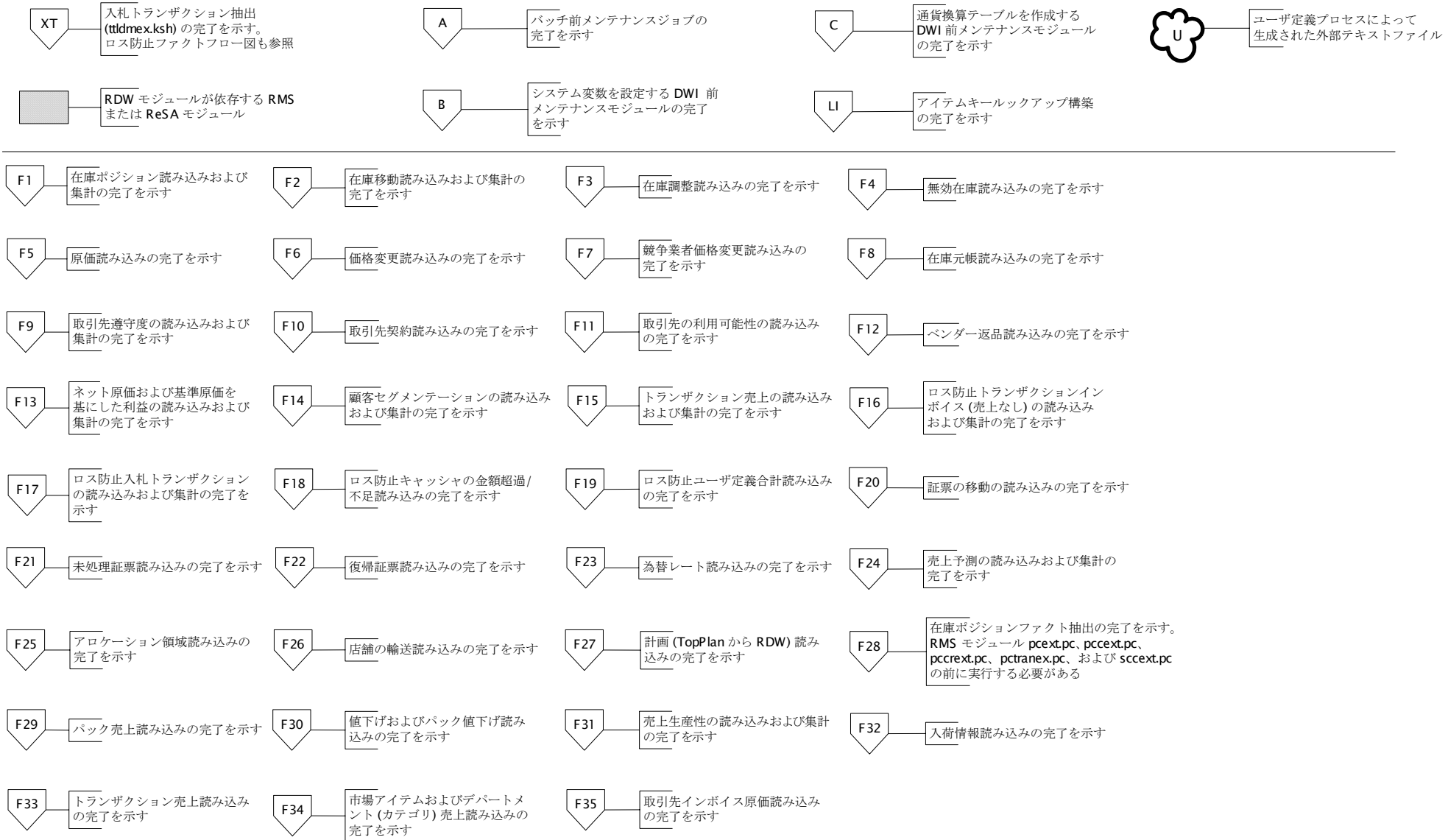
市場データディメンション



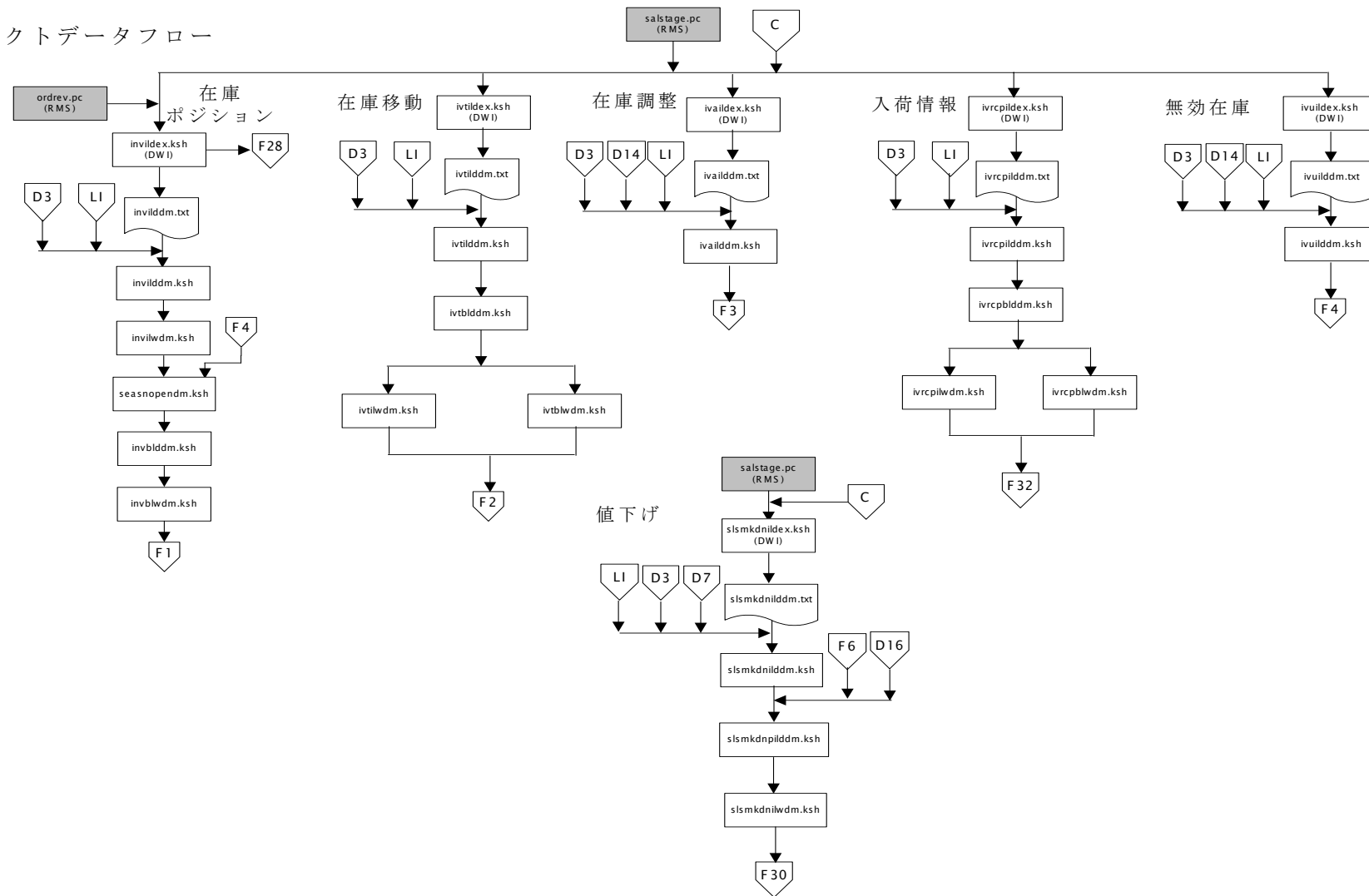
地域特性ディメンション



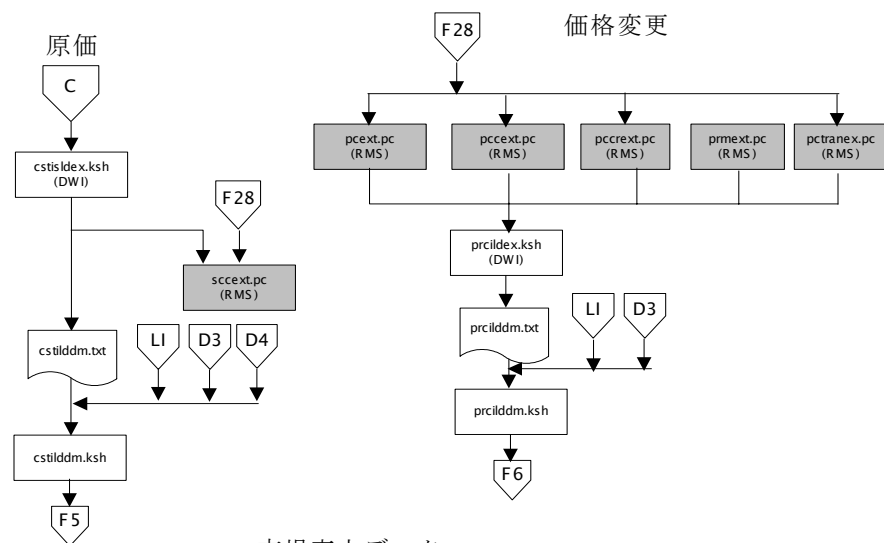
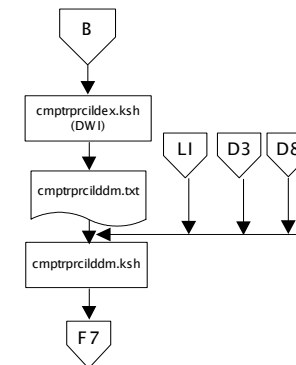
凡例: RDW 10.1 ファクトプログラム



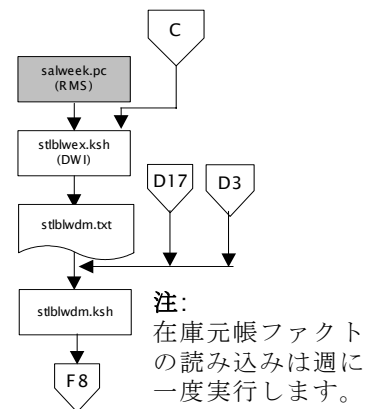
ファクトデータフロー



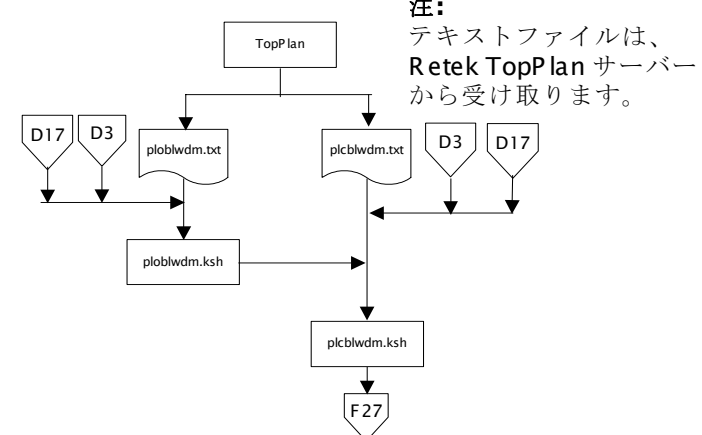
ファクトデータフロー

競争業者の
価格変更

在庫元帳

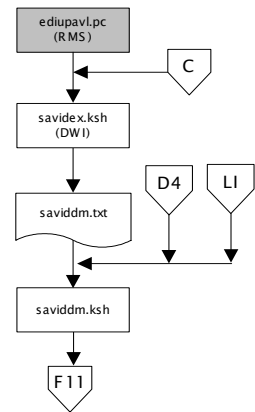


計画

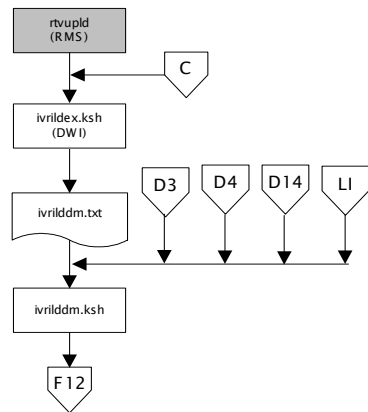


ファクトデータフロー

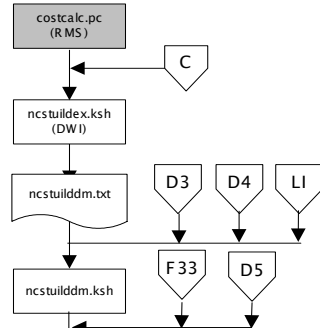
取引先の利用可能性



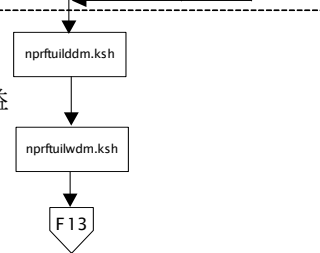
ベンダー返品



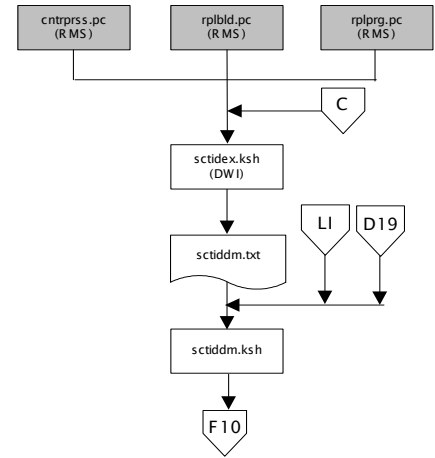
ネット原価



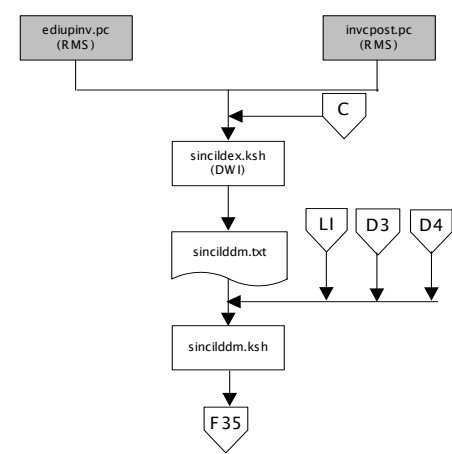
基準原価を基にした利益



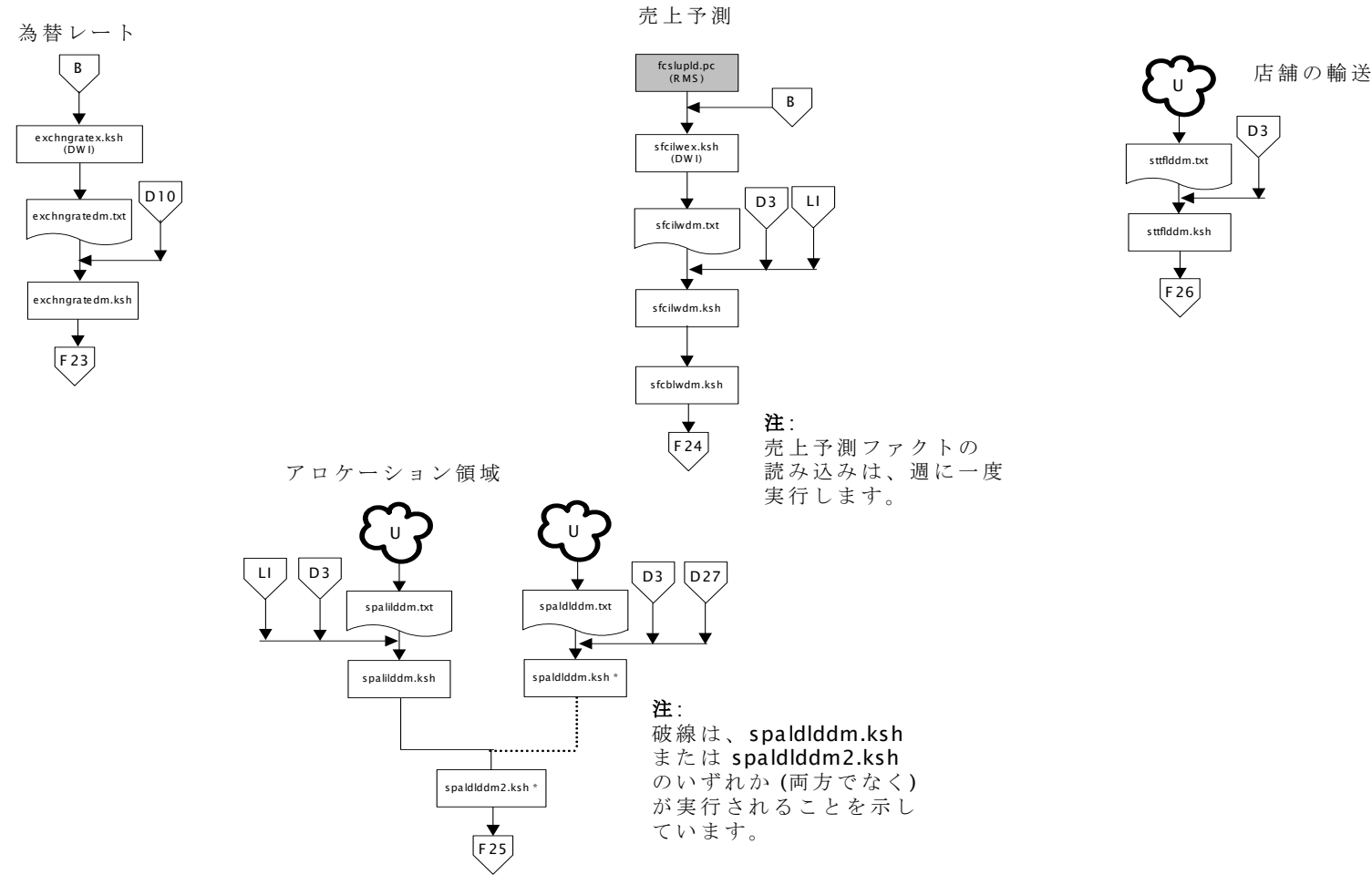
取引先契約



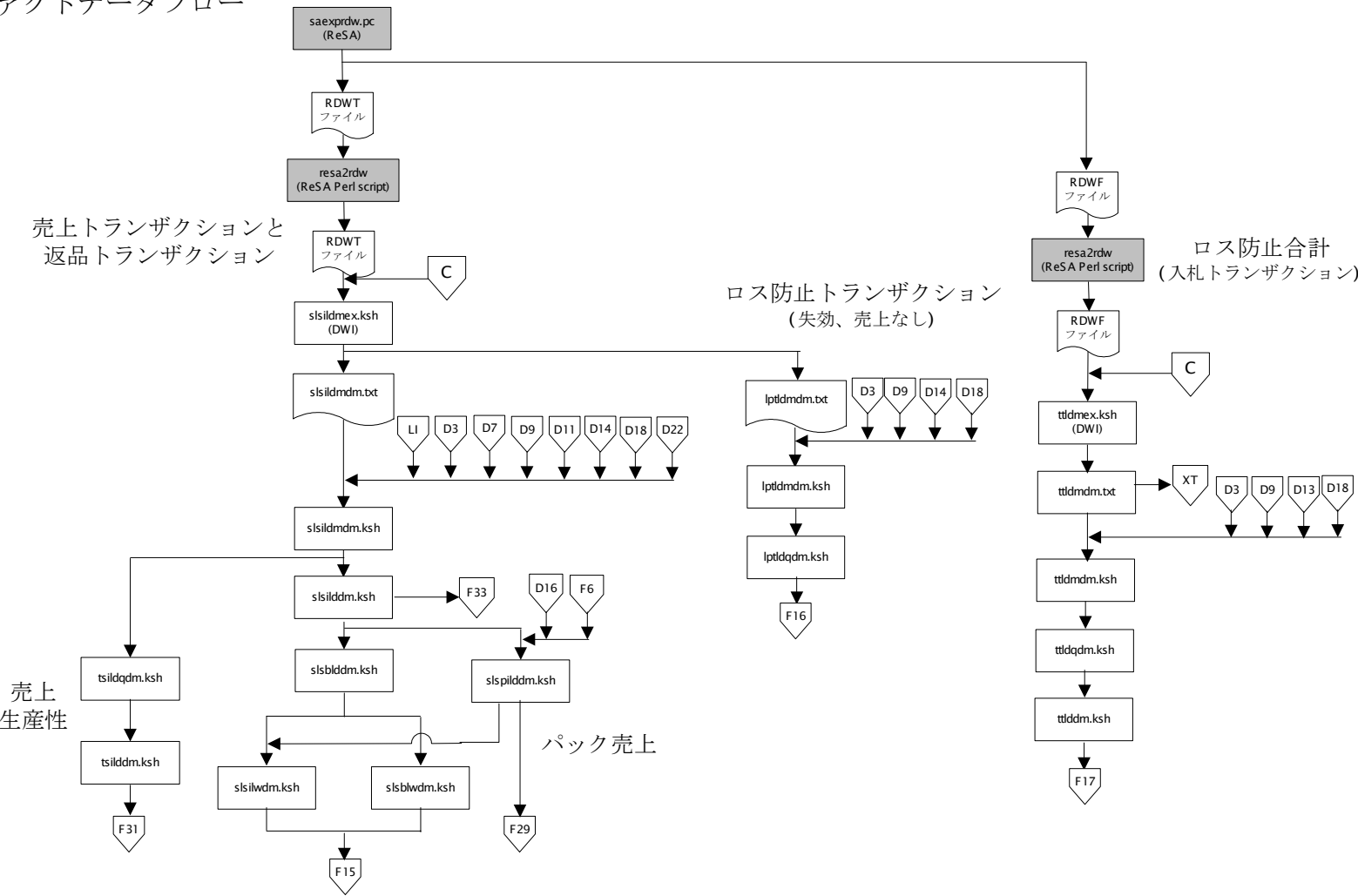
取引先インボイス原価



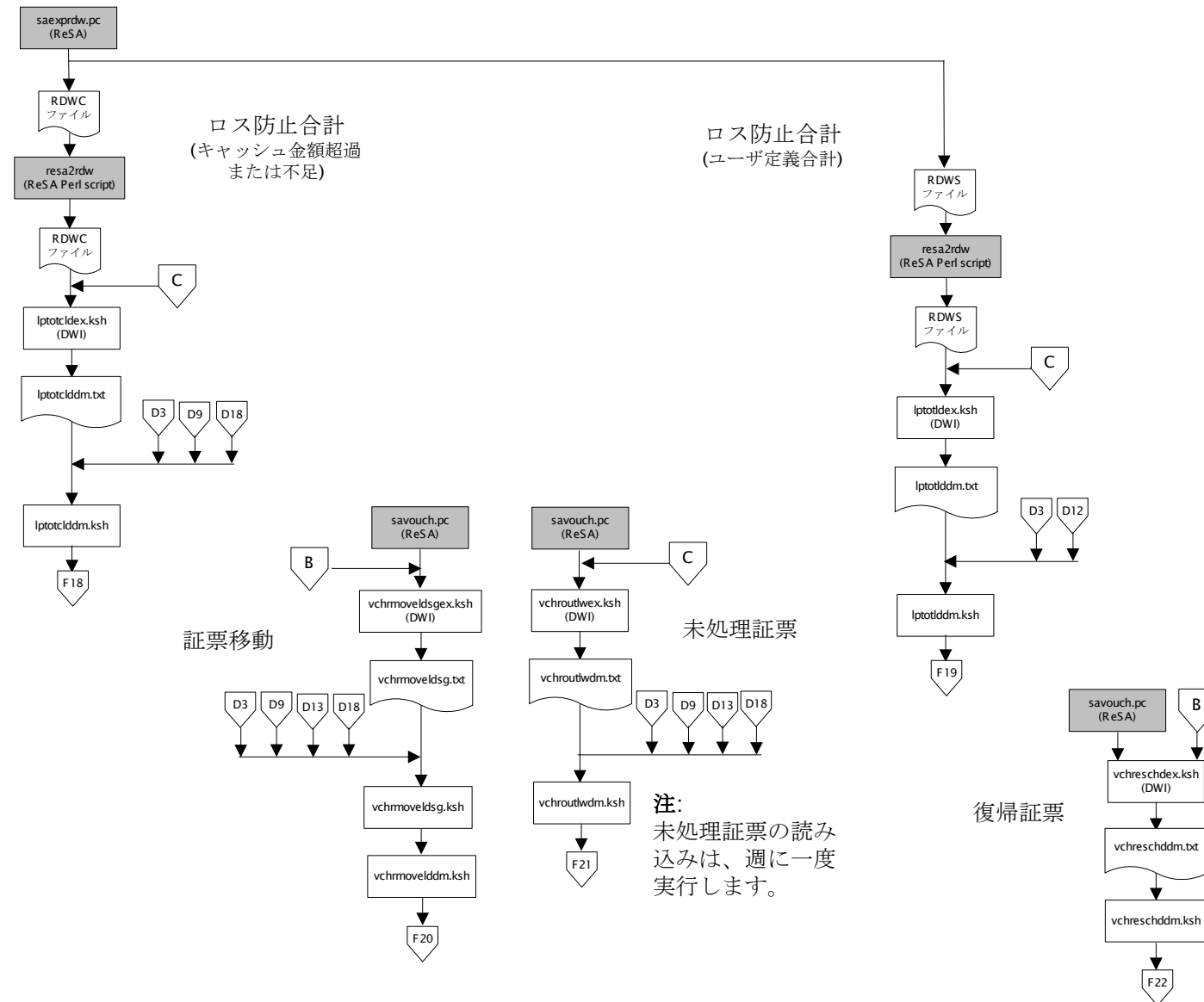
ファクトデータフロー



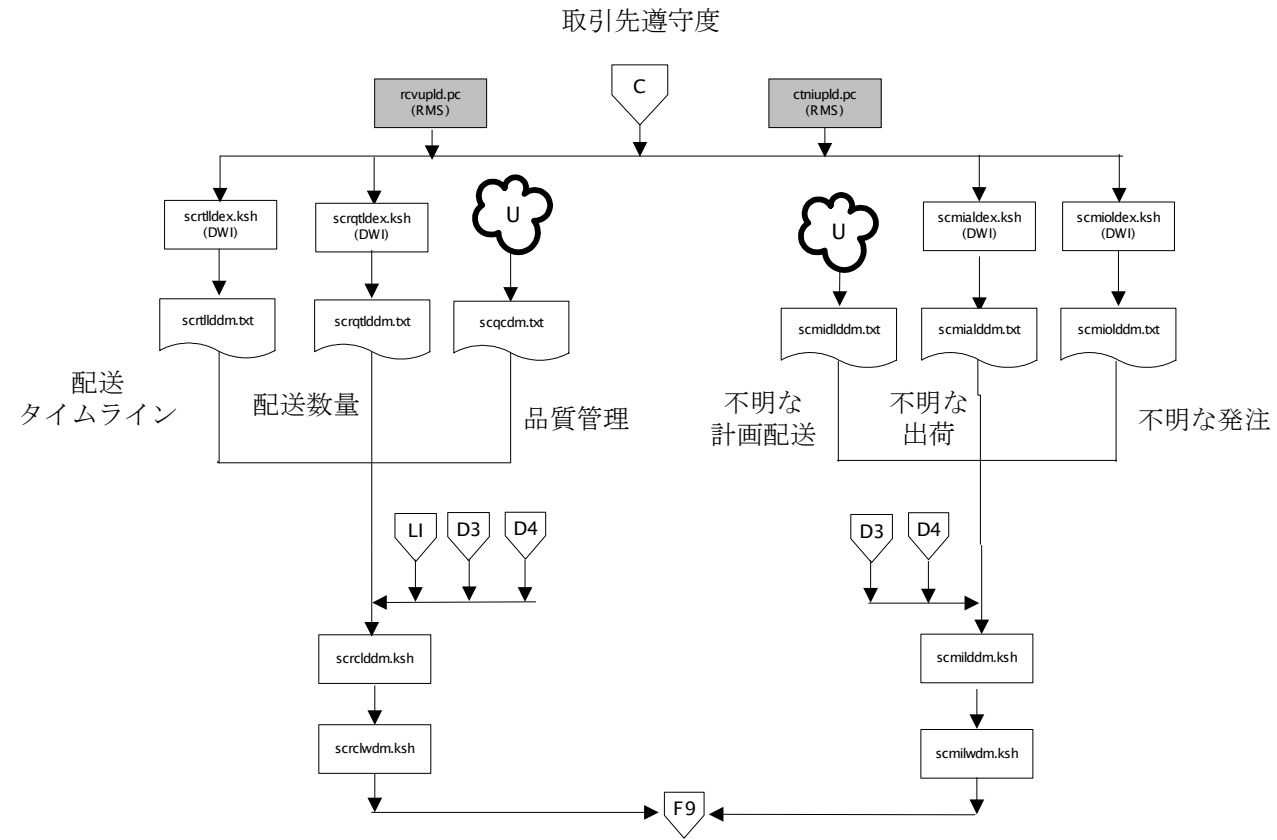
ファクトデータフロー



ファクトデータフロー



ファクトデータフロー



第 8 章 プログラムの参照リスト

この章では、以下の RDW プログラムへの参照および参照情報を提供します。

- ディメンション抽出および読み込み (RETL Korn シェルスクリプト)
- ファクト抽出および読み込み (RETL Korn シェルスクリプト)
- メンテナンス (RETL Korn シェルスクリプト)
- 以下の表に記載されている PROGRAM_CONTROL_DM の値の説明については、この章の最後にある表を参照してください。

第 7 章「プログラムフロー図」とあわせて、本章および付録 A「アプリケーションプログラミングインターフェース (API) のフラットファイルの仕様」を参照することにより、クライアントは、RDW に取り込まれるすべてのファクトおよびディメンションを、テーブルレベルおよび列レベルで追跡することが可能になります。

ディメンションプログラム

以下の表を参照するにあたっては、次のことに注意してください。

以下の表に示すように、ディメンション DM KSH モジュールの場合、"引数" 列はありません。これらのモジュールにパスとファイル名のパラメータは不要です。ディメンションモジュールは、ソーステキストファイルが \$MMHOME/data に格納され、名前が <DM KSH モジュール名>.txt であると見なします。既定のパスを変更したい場合、クライアントは、それに代わる独自のパスとファイル名をコマンドラインに指定する必要があります。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
cmptrdm.ksh	競争業者 ディメンション	ディメンション 読み込み		cmptrdm.txt	cmptrdm.schema	CMPTR_DM	DIM_TOP	UPDATE	
cmptrex.ksh	競争業者 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	COMPETITOR	cmptrdm.schema	cmptrdm.txt			
cmptrlmdm.ksh	競争業者 ディメンション	ディメンション 読み込み		cmptrlmdm.txt	cmptrlmdm.schema	CMPTR_LOC_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
cmptrlmex.ksh	競争業者 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	COMP_STORE_LINK、 CODE_DETAIL	cmptrlmdm.schema	cmptrlmdm.txt			
cmptrlocdm.ksh	競争業者 ディメンション	ディメンション 読み込み		cmptrlocdm.txt	cmptrlocdm.schema	CMPTR_LOC_DM	DIM_LOW	UPDATE	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
cmptrlocex.ksh	競争業者 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	COMP_STORE	cmptrlocdm.schema	cmptrlocdm.txt			
crnycddm.ksh	通貨コード ディメンション	ディメンション 読み込み		crnycddm.txt	crnycddm.schema	CRNCY_CDE_DM	DIM_TOP	UPDATE	
crnycdex.ksh	通貨コード ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CURRENCIES	crnycddm.schema	crnycddm.txt			
custacctdm.ksh	顧客アカウント ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	custacctdm.txt	custacctdm.schema	CUST_ACCNT_ TYPE_DM、 CUST_ACCNT_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。
custclstrdm.ksh	顧客クラスタ および商品 クラスタ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	custclstrdm.txt	custclstrdm.schema	CUST_CLSTR_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。
custclstrimdm.ksh	顧客クラスタ および商品 クラスタ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	custclstrimdm.txt	custclstrimdm.schema	CUST_CLSTR_ ITEM_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。
custclupddm.ksh	顧客クラスタ および商品 クラスタ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	custclstrdm.txt	custclstrdm.schema	CUST_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントにより 提供されます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
custdemogdm.ksh	顧客および 顧客人口統計 ディメンション	ディメンション 読み込み		CUST_DM		CUST_MARITAL_ DM、 CUST_GENDER_ DM、 CUST_ETHNIC_ DM、 CUST_DT_OF_ BIRTH_DM、 CUST_INCOME_ DM、 CUST_CHILD_ DM、 CUST_HH_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	
custdm.ksh	顧客および 顧客人口統計 ディメンション	ディメンション 読み込み	RCOM	custdm.txt	custdm.schema	CUST_DM	DIM_TOP	UPDATE_L	
emplydm.ksh	従業員 ディメンション	ディメンション 読み込み		emplydm.txt	emplydm.schema	EMPTY_DM	DIM_TOP	UPDATE	
emplyex.ksh	従業員 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SA_EMPLOYEE	emplydm.schema	emplydm.txt			
geocdedm.ksh	顧客地区 ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	geocdedm.txt	geocdedm.schema	GEO_CDE_DM	DIM_TOP	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
itmclstrcmdm.ksh	顧客クラスタ および商品 クラスタ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	itmclstrcmdm.txt	itmclstrcmdm.schema	ITEM_CLSTR_ CUST_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
maralmdm.ksh	市場データ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	maralmdm.txt	maralmdm.schema	MKT_AREA_LOC_ MTX_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
maralvldm.ksh	市場データ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	maralvldm.txt	maralvldm.schema	MKT_AREA_ LEVEL1_DM、 MKT_AREA_ LEVEL2_DM、 MKT_AREA_ LEVEL3_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
mdepdm.ksh	市場データ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	mdepdm.txt	mdepdm.schema	MKT_PROD_ DEPT_DM、 MKT_PROD_ DEPT_MTX_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
mitmdm.ksh	市場データ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	mitmdm.txt	mitmdm.schema	MKT_PROD_ ITEM_DM、 MKT_PROD_ ITEM_MTX_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
orgaradm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgaradm.txt	orgaradm.schema	ORG_AREA_DM	DIM_LOW	UPDATE	
orgaraex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	AREA	orgaradm.schema	orgaradm.txt			
orgchandm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgchandm.txt	orgchandm.schema	ORG_CHANNEL_ DM	DIM_MTX	INSERT	
orgchanex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CHANNELS	orgchandm.schema	orgchandm.txt			
orgchndm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgchndm.txt	orgchndm.schema	ORG_CHAIN_DM	DIM_LOW	UPDATE	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
orgchnex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CHAIN、COMPHEAD	orgchndm.schema	orgchndm.txt			
orgdisdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgdisdm.txt	orgdisdm.schema	ORG_DISTT_DM	DIM_LOW	UPDATE	
orgdisex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DISTRICT	orgdisdm.schema	orgdisdm.txt			
orgllmdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgllmdm.txt	orgllmdm.schema	ORG_LOCLST_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
orgllmex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	LOC_LIST_DETAIL	orgllmdm.schema	orgllmdm.txt			
orglocdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orglocdm.txt	orglocdm.schema	ORG_LOC_DM	DIM_LOW	UPDATE	
orglocex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	STORE、DISTRICT、 CURRENCIES、 COUNTRY、STORE_ ATTRIBUTES、 STORE_FORMAT、 STATE、TSFZONE、 PROMOZONE、WH、 SYSTEM_OPTIONS、 WH_ATTRIBUTES、 PROMO_ZONE	orglocdm.schema	orglocdm.txt			
orgloldm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgloldm.txt	orgloldm.schema	ORG_LOCLST_DM	DIM_TOP_F	UPDATE_D	
orglolex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	LOC_LIST_HEAD	orgloldm.schema	orgloldm.txt			

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
orgltmdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgltmdm.txt	orgltmdm.schema	ORG_LOC_TRAIT_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
orgltmex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	LOC_TRAITS_ MATRIX	orgltmdm.schema	orgltmdm.txt			
orgltrdm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgltrdm.txt	orgltrdm.schema	ORG_LOC_TRAIT_ DM	DIM_TOP_IDNT'	UPDATE	
orgltrex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	LOC_TRAITS	orgltrdm.schema	orgltrdm.txt			
orgrgndm.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 読み込み		orgrgndm.txt	orgrgndm.schema	ORG_REGN_DM	DIM_LOW	UPDATE	
orgrgnex.ksh	組織 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	REGION	orgrgndm.schema	orgrgndm.txt			
phasdm.ksh	商品シーズン ディメンション	ディメンション 読み込み		phasdm.txt	phasdm.schema	PHASE_DM	DIM_LOW	UPDATE	
phasex.ksh	商品シーズン ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PHASES	phasdm.schema	phasdm.txt			
plnsendm.ksh	計画シーズン ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	plnsendm.txt	plnsendm.schema	PLN_SEASN_DM、 TIME_PLN_STD_ BY_WK_DM、 PLN_SEASN_WK_ MTX_DM	DIM_TOP_F	UPDATE_DL	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
prclsdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prclsdm.txt	prclsdm.schema	PROD_CLASS_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prclsex.ksh	商品ディメン ション	ディメンション 抽出	RMS	CLASS、MERCHANT 、BUYER、DEPS	prclsdm.schema	prclsdm.txt			

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prdcmpdm.ksh	カンパニー ディメンション	ディメンション 読み込み		prdcmpdm.txt	prdcmpdm.schema	CMPY_DM	DIM_TOP	UPDATE_L	
prdcmpex.ksh	カンパニー ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	COMPHEAD	prdcmpdm.schema	prdcmpdm.txt			
prddepdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prddepdm.txt	prddepdm.schema	PROD_DEPT_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prddepex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DEPS、 CODE_DETAIL、 MERCHANT、BUYER	prddepdm.schema	prddepdm.txt			
prddiffdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prddiffdm.txt	prddiffdm.schema	PROD_DIFF_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	
prddiffex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIFF_IDS	prddiffdm.schema	prddiffdm.txt			
prddivdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prddivdm.txt	prddivdm.schema	PROD_DIV_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prddivex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIVISION、 COMPHEAD、 MERCHANT、BUYER	prddivdm.schema	prddivdm.txt			

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prddtypdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prddtypdm.txt	prddtypdm.schema	PROD_DIFF_ TYPE_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	1. テキストファイルと RDW の間には、最大 30 までの子要素タイプが存在できます。詳細については、付録 A「アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) フラットファイルの仕様」を参照してください。 2. 子要素タイプの処理および RDW のフロントエンドの詳細については、『RDW 10.1 中間層インストールガイド』を参照してください。
prddtypex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	DIFF_TYPES	prddtypdm.schema	prddtypdm.txt			
prdgrpdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prdgrpdm.txt	prdgrpdm.schema	PROD_GRP_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prdgrpex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	GROUPS、 MERCHANT、BUYER	prdgrpdm.schema	prdgrpdm.txt			
prdhdrdm.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 読み込み		prdhdrdm.txt	prmhdrdm.schema	PRMTN_HEAD_DM	DIM_LOW	UPDATE	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prdhdrdx.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PROMEVENT、 PROMHEAD、 PERIOD	prmhdrdm.schema	prdhdrdm.txt			
prdisldm.ksh	アイテム- 取引先- ロケーション クロス ディメンション	ディメンション 読み込み		prdisldm.txt	prdisldm.schema	PROD_ITEM_ SUPP_LOC_DM	DIM_MTX	INSERT	
prdislex.ksh	アイテム- 取引先- ロケーション クロス ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_SUPP_ COUNTRY_LOC、 ITEM_MASTER、 ITEM_SUPP_ COUNTRY_DIM、 ITEM_SUPP_ COUNTRY、 ITEM_LOC、 ITEM_SUPPLIER	prdisldm.schema	prdisldm.txt			
prditmclstrdm.ksh	顧客クラスタ および商品 クラスタ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	prditmclstrdm.txt	prditmclstrdm.schema	PROD_ITEM_ CLSTR_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
prditmclupddm.ksh	顧客クラスタ および商品 クラスタ ディメンション	ディメンション 読み込み	注を参照	prditmclstrdm.txt	prditmclstrdm.schema	PROD_ITEM_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	ソースファイルは クライアントによ り提供されます。
prditmdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prditmdm.txt	prditmdm.schema	PROD_ITEM_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prditmex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_MASTER、 UOM_CLASS、 CODE_DETAIL	prditmdm.schema	prditmdm.txt			
prditlmdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prditlmdm.txt	prditlmdm.schema	PROD_ITEMLST_ DM	DIM_TOP_F	UPDATE_D	
prditmlex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SKULIST_HEAD	prditlmdm.schema	prditlmdm.txt			
prditmlmdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prditmlmdm.txt	prditmlmdm.schema	PROD_ITEMLST_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
prditmlmex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SKULIST_DETAIL、 ITEM_MASTER	prditmlmdm.schema	prditmlmdm.txt			
prditmltmdm.ksh	アイテム- ロケーション 特性クロス ディメンション	ディメンション 読み込み		prditmltmdm.txt	prditmltmdm.schema	PROD_ITEM_LOC_ TRAITS_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
prditmltmex.ksh	アイテム- ロケーション 特性クロス ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_LOC_TRAITS、 ITEM_MASTER、 CODE_DETAIL	prditmltmdm.schema	prditmltmdm.txt			
prditmsmdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prditmsmdm.txt	prditmsmdm.schema	PROD_SEASN_ ITEM_MTX_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prditmsmex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_SEASONS、 PHASES、 ITEM_MASTER	prditmsmdm.schema	prditmsmdm.txt			prditmsmex.ksh は、すべての追跡 レベル以上のアイ テムに関して、 シーズン/フェーズ の最新の組み合わ せを抽出し ます。たとえば、 RMS において、ア イテム A がシーズ ン A/フェーズ A およびシーズン A/ フェーズ B に関連 し、フェーズ B が フェーズ A の後か ら始まる場合、ア イテム A へのマト リックス関連付け に含まれるのは シーズン A/フェー ズ B のみです。
prditmuddm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prditmuddm.txt	prditmuddm.schema	PROD_ITEM_ UDA_DTL_DM	DIM_TOP_F	UPDATE_DL	
prditmuhdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prditmuhdm.txt	prditmuhdm.schema	PROD_ITEM_ UDA_HEAD_DM	DIM_TOP_F	UPDATE_D	
prditmumdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prditmumdm.txt	prditmumdm.schema	PROD_ITEM_ UDA_MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prdlvldm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		PROD_ITEM_DM		PROD_LEVEL1_ DM、PROD_ LEVEL2_DM、 PROD_LEVEL3_ DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	
prdpimdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prdpimdm.txt	prdpimdm.schema	PROD_PACK_ ITEM_MTX_DM	DIM_ STANDALONE	UPDATE	
prdpimex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PACKITEM_ BREAKOUT、 ITEM_MASTER	prdpimdm.schema	prdpimdm.txt			
prdsbcdm.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 読み込み		prdsbcdm.txt	prdsbcdm.schema	PROD_SBC_DM	DIM_LOW	UPDATE	
prdsbcex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SUBCLASS、DEPS、 CLASS、BUYER、 MERCHANT	prdsbcdm.schema	prdsbcdm.txt			
prdudaex.ksh	商品 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	ITEM_MASTER、 UDA UDA_ITEM_DATE、 UDA_ITEM_FF、 UDA_VALUES UDA_ITEM_LOV	prditmuhdm.schema、 prditmuddm.schema prditmumdm.schema	prditmuhdm.txt prditmuddm.txt prditmumdm.txt			
prmevtdm.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 読み込み		prmevtdm.txt	prmevtdm.schema	PRMTN_EVENT_ DM	DIM_TOP	UPDATE	
prmevtex.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PROMEVENT、 PROMHEAD、 PERIOD	prmevtdm.schema	prmevtdm.txt			
prmschdm.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 読み込み		prmschdm.txt	prmschdm.schema	PRMTN_SCHM_ DM	DIM_LOW	UPDATE	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
prmschex.ksh	特売 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	PROMEVENT、 PROMHEAD、 PERIOD、 PROM_MIX_MATCH_ HEAD、 PROM_THRESHOLD_ HEAD	prmschdm.schema	prmschdm.txt			
regngrpdm.ksh	地域特性 ディメンション	ディメンション 読み込み		regngrpdm.txt	regngrpdm.schema	REGIONALITY_ GRP_DM	DIM_TOP_IDNT	UPDATE_D	
regngrpex.ksh	地域特性 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SEC_GROUP、 CODE_DETAIL	regngrpdm.schema	regngrpdm.txt			
regnmtxdm.ksh	地域特性 ディメンション	ディメンション 読み込み		regngrpdm.txt	regnmtxdm.schema	REGIONALITY_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
regnmtxex.ksh	地域特性 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	REGIONALITY_ MATRIX、 ITEM_MASTER、 ITEM_SUPP_ COUNTRY_LOC	regnmtxdm.schema	regnmtxdm.txt			
rgstrdm.ksh	レジ ディメンション	ディメンション 読み込み		ttldmdm.txt、 rgstrdm.txt	ttldmdm.schema、 rgstrdm.schema	RGSTR_DM	DIM_TOP	INSERT	
rsndm.ksh	理由 ディメンション	ディメンション 読み込み		rsndm.txt	rsndm.schema	REASN_DM	DIM_TOP	UPDATE	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
rsnex.ksh	理由 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CODE_DETAIL、 INV_ADJ_REASON、 INV_STATUS_ TYPES、 QC_FAILURE_ CODES、 CODE_HEAD、 NON_MERCH_CODE_ HEAD	rsndm.schema	rsndm.txt			
seasndm.ksh	商品シーズン ディメンション	ディメンション 読み込み		seasndm.txt	seasndm.schema	SEASN_DM、 TIME_STD_BY_ DAY_DM、 TIME_STD_BY_ WK_DM	DIM_TOP	UPDATE_L	
seasnex.ksh	商品シーズン ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SEASONS	seasndm.schema	seasndm.txt			
subtrantypdm.ksh	サブトランザク ションタイプ ディメンション	ディメンション 読み込み		subtrantypdm.txt	subtrantypdm.schema	SUB_TRAN_ TYPE_DM	DIM_TOP	UPDATE	
subtrantypex.ksh	サブトランザク ションタイプ ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CODE_DETAIL	subtrantypdm.schema	subtrantypdm.txt			
supctrdm.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 読み込み		supctrdm.txt	supctrdm.schema	SUPP_CNTRCT_ DM	DIM_LOW	UPDATE	
supctrex.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	CONTRACT_ HEADER、 CODE_DETAIL	supctrdm.schema	supctrdm.txt			
supsupdm.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 読み込み		supsupdm.txt	supsupdm.schema	SUPP_DM	DIM_TOP	UPDATE_L	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データの ソース	ソーステーブルまたは ファイル	スキーマファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	注
supsupex.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SUPS、 SUP_ATTRIBUTES、 CURRENCIES、 SYSTEM_OPTIONS	supsupdm.schema	supsupdm.txt			
suptrmdm.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 読み込み		suptrmdm.txt	suptrmdm.schema	SUPP_TRAIT_ MTX_DM	DIM_MTX	INSERT	
suptrmex.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SUP_TRAITS_ MATRIX	suptrmdm.schema	suptrmdm.txt			
suptrtdm.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 読み込み		suptrtdm.txt	suptrtdm.schema	SUPP_TRAIT_DM	DIM_TOP_IDNT	UPDATE	
suptrtex.ksh	取引先 ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	SUP_TRAITS	suptrtdm.schema	suptrtdm.txt			
tndrtypedm.ksh	入札タイプ ディメンション	ディメンション 読み込み		tndrtypedm.txt	tndrtypedm.schema	TNDR_TYPE_DM	DIM_TOP	UPDATE	
tndrtypex.ksh	入札タイプ ディメンション	ディメンション 抽出	RMS	POS_TENDER_TYPE_ HEAD、 CODE_DETAIL	tndrtypedm.schema	tndrtypedm.txt			
ttltypdm.ksh	ReSA 合計 タイプ ディメンション	ディメンション 読み込み		ttltypdm.txt	ttltypdm.schema	TOTAL_TYPE_DM	DIM_TOP	UPDATE	
ttltypex.ksh	ReSA 合計 タイプ ディメンション	ディメンション 抽出	ReSA/RMS	SA_TOTAL_HEAD	ttltypdm.schema	ttltypdm.txt			

ファクトプログラム

以下の表を参照するにあたっては、次のことに注意してください。

- すべての集計モジュールは一時テーブル *_TEMP からデータを導出します。この一時テーブルは、ファクトデータマートに対し、ソースシステムから最下位のレベルのファクトを読み込むモジュールによって生成されます。たとえば、slsmkdnilddm.ksh は、アイテム-ロケーション-日付レベルです。値下げの場合、日は時間における最下位のレベルに、週は次に高いレベルに位置付けられています。最下位レベル (つまりベース) のファクト読み込みモジュール slsmkdnilddm.ksh が、次のレベルの集計用に一時テーブルを作成する必要があります。この一時テーブルに本日分の変更内容と新規ファクトが保持され、slsmkdnilwdm.ksh は、これを使用して、目的の週のテーブルに対し本日分の変更内容を集計します。したがって、ファクト集計モジュールの "ソーステーブルまたはファイル" 列は、プログラム参照リストで空白のままになります。
- "引数" 列には、モジュール名自体に追加するコマンドラインパラメータが記載されています。
- 下のベースファクト DM Kornshell モジュールの場合は、コマンドラインパラメータに、データファイルのパスおよびファイル名を指定する必要があります。"引数" 列には、RDW の既定のデータファイルディレクトリのパスとファイル名が記載されています (\$MMHOME/data/cmptrpcilddm.txt など)。既定のパスを変更したい場合、クライアントは、それに代わる独自のパスとファイル名をコマンドラインに指定する必要があります。
- 特に指定がない場合は、トランザクションをバックポストできる日数は、在庫元帳によって制限されます。最後にクローズした月末の日付またはそれ以前の日付によりトランザクションが抽出される場合、その抽出の間に日付は現在の仮想営業日に変更されます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
cmptrpcilddm.ksh	競争業者の 価格変更	ベース ファクト (圧縮 テーブル)		cmptrpcilddm.txt	cmptrpcilddm.schema	COMP_PRICING_ITEM_LD_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/ cmptrpcilddm.txt	圧縮テーブルおよび cur テーブルについては、第 4 章を参照してください。このモジュールにより、バックポストされたデータを圧縮されたターゲットテーブルに処理できます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
cmptrprcildex. ksh	競争業者の 価格変更	ファクト 抽出	RMS	COMP_ STORE_ LINK、 COMP_ PRICE HIST、 CURRENCY_ RATES、 COMP_STORE	cmptrprcilddm. schema	cmptrprcilddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	競争業者の価格変更デー タのバックポストは、 RMS 在庫元帳によって制 限されません。このモ ジュールは、ファクトが RMS SYSTEM_ VARIABLES.LAST_EOM_ DATE の前に発生したか どうかに関わらず、競争 業者の価格変更ファクト を正確にバックポストし ます。
cstislddm.ksh	原価	ベース ファクト (圧縮 テーブル)		cstislddm.txt	cstislddm. schema	COST_ITEM_ SUPP_LD_DM、 COST_ISL_CUR_ DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/cstislddm. txt	圧縮テーブルおよび cur テーブルについては、第 4 章を参照してください。
cstisldex.ksh	原価	ファクト 抽出	RMS	PRICE_ HIST、 ITEM_SUPP_ COUNTRY_ LOC、 ITEM_LOC、 ITEM_ MASTER	cstislddm. schema	cstislddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
exchngratedm. ksh	為替レート	ベース ファクト (挿入)		exchngratedm. txt	exchngratedm. schema	EXCHNG_RATE_ CRNCY_DAY_DM	BASEFACT_INS	NSERT	\$MMHOME/ data/ exchngratedm. txt	圧縮モジュール (cur テー ブルなし) です。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
exchngratex.ksh	為替レート	ファクト 抽出	RMS	CURRENCY_ RATES、 EURO_EXCH ANGE_ RATE	exchngratedm. schema	exchngratedm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
invblddm.ksh	在庫 ポジション	ポジショナル 集計				INV_SBC_LD_DM	FACT_AGG_POS	UPDATE_G		
invblwdm.ksh	在庫 ポジション	ポジショナル 集計				INV_SBC_LW_DM	FACT_AGG_POS	UPDATE_F		
invilddm.ksh	在庫 ポジション	ベース ファクト (圧縮 テーブル)		invilddm.txt	invilddm. schema	INV_ITEM_LD_ DM、 INV_IL_CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/invilddm. txt	圧縮テーブルおよび cur テーブルについては、第 4 章を参照してください。 在庫ポジションはバック ポストできません。
invildex.ksh	在庫 ポジション	ファクト 抽出	RMS	ORDLOC_ REV,V_ PACKSKU_ QTY、 IF_TRAN_ DATA、 ITEM_ MASTER、 ITEM_LOC、 ITEM_LOC_ SOH、 REPL_ITEM_ LOC、 ORDHEAD、 ORDLOC、 PACKITEM	invilddm. schema	invilddm.txt	N/A	N/A	out_file_path/ filename	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
inwilwdm.ksh	在庫 ポジション	ポジショナル 集計				INV_ITEM_LW_ DM	FACT_AGG_POS	INSERT		
ivailddm.ksh	在庫調整	ベース ファクト (差分更新)		ivailddm.txt	ivailddm. schema	INV_ADJ_ITEM_ LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/ivailddm. txt	
ivaildex.ksh	在庫調整	ファクト 抽出	RMS	IF_TRAN_ DATA	ivailddm. schema	ivailddm.txt	N/A	N/A	out_file_path/ filename	
ivrcplddm.ksh	入荷情報	集計				INV_RCPTS_SBC_ LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_S		
ivrcplwdm.ksh	入荷情報	集計				INV_RCPTS_SBC_ LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		
ivrcpilddm.ksh	入荷情報	ベース ファクト (差分更新)		ivrcpilddm.txt	ivrcpilddm. schema	INV_RCPTS_ ITEM_LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/ ivrcpilddm.txt	
ivrcpildex.ksh	入荷情報	ファクト 抽出	RMS	IF_TRAN_ DATA	ivrcpilddm. schema	ivrcpilddm.txt	N/A	N/A	out_file_path/ filename	
ivrcpilwdm.ksh	入荷情報	集計				INV_RCPTS_ ITEM_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
ivrilddm.ksh	ベンダー返品	ベース ファクト (更新)		ivrilddm.txt	ivrilddm. schema	INV_RTV_SUPP_ ITEM_LD_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/ivrilddm. txt	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
ivrildex.ksh	ベンダー返品	ファクト 抽出	RMS	RTV_HEAD、 RTV_ DETAIL、 ITEM_LOC	ivrilddm. schema	ivrilddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
ivtblddm.ksh	在庫移動	集計				INV_TSF_SBC_ LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_S		
ivtblwdm.ksh	在庫移動	集計				INV_TSF_SBC_ LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		
ivtilddm.ksh	在庫移動	ベース ファクト (差分更新)		ivtilddm.txt	ivtilddm. schema	INV_TSF_ITEM_ LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/ivtilddm. txt	
ivtildex.ksh	在庫移動	ファクト 抽出	RMS	IF_TRAN_ DATA	ivtilddm. schema	ivtilddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
ivtilwdm.ksh	在庫移動	集計				INV_TSF_ITEM_ LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
ivuilddm.ksh	無効在庫	ベース ファクト (更新 - 圧縮 テーブル)		ivuilddm.txt	ivuilddm. schema	INV_UNAVL_ ITEM_LD_DM、 INV_UNAVL_IL_ CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/ivuilddm. txt	圧縮テーブルおよび cur テーブルについては、第 4 章を参照してください。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
ivuildex.ksh	無効在庫	ファクト 抽出	RMS	INV_ STATUS_ QTY、 ITEM_LOC、 ITEM_LOC_ SOH、 IF_TRAN_ DATA	ivuilddm. schema	ivuilddm.txt	N/A	N/A	out_file_path/ filename	
lptldmdm.ksh	ロス防止トラ ンザクション (失効、売上な し)	ベース ファクト (差分更新)		lptldmdm.txt	lptldmdm. schema	LP_TRAN_LM_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/lptldmdm. txt	ソースファイルは、DWI モジュール slsildmex.ksh から取得します。
lptldqdm.ksh	ロス防止トラ ンザクション (失効、売上な し)	集計				LP_TRAN_LQ_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_S		
lptotclddm.ksh	合計ロス防止 (キャッシュの 金額超過/不 足)	ベース ファクト (差分更新)		lptotclddm.txt	lptotclddm. schema	LP_TOT_CSHR_ LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/lptotclddm .txt	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
lptotcldex.ksh	合計ロス防止 (キャッシャ の金額超過/ 不足)	ファクト 抽出	ReSA (RDWC ファイル)	RDWC ファイル	入力 (ReSA からの 入力データを フォーマッ トする): lptotcldex. schema	lptotclddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename input_file_path/ filename	1. 入力ファイル名は RDWC で始まる名前 でなければなりません。 2. lptotcldex を実行する前 に、RDWC 入力ファイル を ReSA Perl スクリプト resa2rdw によって適切に フォーマットしておく必 要があります。
					出力 (出力テキスト ファイルを フォーマッ トする): lptotclddm. schema					
lptotlddm.ksh	合計ロス防止 (ユーザ定義 合計)	ベース ファクト (差分更新)		lptotlddm.txt	lptotlddm. schema	LP_TOT_LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/lptotlddm. txt	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
lptotldex.ksh	合計ロス防止 (ユーザ定義 合計)	ファクト 抽出	ReSA (RDWS ファイル)	RDWS ファイル	入力 (ReSA からの 入力データを フォーマッ トする): lptotldex. schema	lptotlddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename input_file_path/ filename	1. 入力ファイル名は RDWS で始まる名前 でなければなりません 2. lptotldex を実行する 前に、RDWS 入力 ファイルを ReSA Perl スクリプト resa2rdw によって適切に フォーマットしてお く必要があります。
					出力 (出力テキスト ファイルを フォーマッ トする): lptotlddm. schema					
mslsdlwdm.ksh	市場売上 データ	ファクト スタンド アロン	注を参照	mslsdlwdm. txt、 MKT_PROD_ DEPT_DM、 TIME_WK_ DM、 MKT_AREA_ LEVEL1_ DM、 MKT_AREA_ LEVEL2_ DM、 MKT_AREA_ LEVEL3_DM	mslsdlwdm. schema	MKT_SLS_DEPT_ LEVEL1_W_DM、 MKT_SLS_DEPT_ LEVEL2_W_DM、 MKT_SLS_DEPT_ LEVEL3_W_DM	FACT_ STANDALONE	UPDATE	\$MMHOME/ data/ mslsdlwdm.txt	このモジュールはファ クトマトリックスの 概念を使用してい ます。詳細につ いては、第 4 章を 参照してください。 ソースファイルは クライアントによ り提供されます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
mslsilwdm.ksh	市場売上 データ	ファクト スタンド アロン	注を参照	mslsilwdm.txt、 MKT_PROD_ ITEM_DM、 TIME_WK_ DM、 MKT_AREA_ LEVEL1_ DM、 MKT_AREA_ LEVEL2_ DM、 MKT_AREA_ LEVEL3_DM	mslsilwdm. schema	MKT_SLS_ITEM_ LEVEL1_W_DM、 MKT_SLS_ITEM_ LEVEL2_W_DM、 MKT_SLS_ITEM_ LEVEL3_W_DM	FACT_ STANDALONE	UPDATE	\$MMHOME/ data/ mslsilwdm.txt	このモジュールはファク トマトリックスの概念を 使用しています。詳細に ついては、第 4 章を参照 してください。ソース ファイルはクライアント により提供されます。
ncstuilddm.ksh	ネット原価	ベース ファクト (更新 - 圧縮 テーブル)		ncstuilddm.txt	ncstuilddm. schema	NET_COST_SUPP_ ITEM_LD_DM、 NET_COST_SIL_ CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/ ncstuilddm.txt	圧縮テーブルおよび cur テーブルについては、第 4 章を参照してください。 このモジュールは、バッ クポストされたデータを 扱えません。
ncstuidex.ksh	ネット原価	ファクト 抽出	RMS	FUTURE_ COST、 ITEM_SUPP_ COUNTRY、 ITEM_LOC	ncstuilddm. schema	ncstuilddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
nprftuilddm.ksh	基準原価を基 にした利益	導出 (注を参照)		SLS_ITEM_ LD_DM、 NET_COST_ SUPP_ITEM_ LD_DM、 PROD_ITEM_ SUPP_LOC_ DM、TIME_ DAY_DM		NET_PRFT_SUPP_ ITEM_LD_DM	FACT_ STANDALONE	UPDATE		このプログラムは、商品 売上データとネット原価 データを組み合わせて、 代替の利益計算を提供し ます。このファクトは、 売上トランザクション テーブル上の利益ファク トとは異なります。
nprftuilwdm. ksh	基準原価を基 にした利益	集計				NET_PRFT_SUPP_ ITEM_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		
plcblwdm.ksh	計画	ベース ファクト (更新)	注を参照	plcblwdm.txt	plcblwdm. schema	PLN_CURR_SBC_ LW_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/plcblwdm. txt	TopPlan インターフェイス の詳細については、第 6 章 「RDW のインターフェイ ス」を参照してください。
poblwdm.ksh	計画	ベース ファクト (更新)	注を参照	poblwdm.txt	poblwdm. schema	PLN_ORIG_SBC_ LW_DM、 PLN_CURR_SBC_ LW_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/poblwdm. txt	TopPlan インターフェイス の詳細については、第 6 章「RDW のインターフェ イス」を参照してくだ さい。
prcilddm.ksh	価格変更	ベース ファクト (更新 - 圧縮 テーブル)		prcilddm.txt	prcilddm. schema	PRICING_ITEM_ LD_DM、 PRICING_IL_CUR_ DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/prcilddm. txt	圧縮テーブルおよび cur テーブルについては、第 4 章を参照してください。
prcildex.ksh	価格変更	ファクト 抽出	RMS	PRICE_ HIST、ITEM_ MASTER	prcilddm. schema	prcilddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
saviddm.ksh	取引先の利用 可能性	ベース ファクト (更新 - 圧縮 テーブル)		saviddm.txt	saviddm. schema	SUPP_AVAIL_ ITEM_DAY_DM、 SUPP_AVAIL_I_ CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/saviddm. txt	圧縮テーブルおよび cur テーブルについては、第 4 章を参照してください。
savidex.ksh	取引先の利用 可能性	ファクト 抽出	RMS	SUP_AVAIL	saviddm. schema	saviddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
scmialdex.ksh	Supplier Compliance (取引先遵 守度)	ファクト 抽出	RMS	SHIPMENT、 ORDHEAD	scmiالddm. schema	scmiالddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
scmidldm.ksh	取引先遵守度	ベース ファクト (挿入)		scmidldm.txt、 scmiالddm.txt、 scmiolddm.txt	scmidldm. schema、 scmiالddm. schema、 scmiolddm. schema	SCMP_RCPT_ MISS_LD_DM	FACT_MATRIX	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/scmidldm. txt、 \$MMHOME/ data/ scmiالddm.txt、 \$MMHOME/ data/scmiolddm. txt	
scmilwdm.ksh	取引先遵守度	集計				SCMP_RCPT_ MISS_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
scmioldex.ksh	取引先遵守度	ファクト 抽出	RMS	ORDHEAD、 ORDLOC、 STORE、WH	scmiolddm. schema	scmiolddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
scrclddm.ksh	取引先遵守度	導出 (注を参照)		scrtllddm.txt、 scrqtllddm.txt、 scqcdm.txt	scrtllddm. schema、 scrqtllddm. schema、 scqcdm. schema	SCMP_RCPT_ ITEM_LD_DM	FACT_MATRIX	UPDATE_A	scrtllddm.txt、 scrqtllddm.txt、 scqcdm.txt	このプログラムは、3 つの データマートテーブルの ファクトを結合して、1 つ のより大きなファクト テーブルを作成します。 ファイル scqcdm.txt は、 外部から提供されます。
scrclwdm.ksh	取引先遵守度	集計				SCMP_RCPT_ ITEM_LW_DM	'FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
scrqtldex.ksh	取引先遵守度	ファクト 抽出	RMS	SHIPMENT、 ORDLOC、 SHIPSKU、 ORDHEAD、 IF_TRAN_ DATA、 ITEM_ MASTER、 V_PACKSKU_ QTY	scrqtllddm. schema	scrqtllddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
scrtlldex.ksh	取引先遵守度	ファクト 抽出	RMS	IF_TRAN_ DATA、 ORDHEAD、 SHIPMENT、 WH、 SOURCE_ DLVRY_ SCHED、 SOURCE_ DLVRY_ SCHED_DAYS	scrtllddm. schema	scrtllddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
sctiddm.ksh	取引先契約	ベース ファクト (更新 - 圧縮 テーブル)		sctiddm.txt	sctiddm. schema	SUPP_CNTRCT_ ITEM_DAY_DM、 SUPP_CNTRCT_ I_CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/sctiddm. txt	圧縮テーブルおよび cur テーブルについては、第 4 章を参照してください。
sctidex.ksh	取引先契約	ファクト 抽出	RMS	CONTRACT_ HEADER、 CONTRACT_ DETAIL、 CONTRACT_ COST、 ORDHEAD、 ORDLOC、 ITEM_ MASTER	sctiddm. schema	sctiddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	DWI は、追跡レベルを超 えるファクトだけを抽出 できます (RMS は、同じ アイテムファミリーでも、 追跡レベル以上の契約 ファクトを許可します)。 Item_key は、追跡レベル かそれ以上にできます。
sfcblwdm.ksh	売上予測	集計		集計につい ては、上の注を 参照してくだ さい。		SLS_FCST_SBC_ LW_DM	FACT_AGG_POS	UPDATE_GF		このモジュールは毎週実 行されます。
sfcilwdm.ksh	売上予測	ベース ファクト (更新)		sfcilwdm.txt	sfcilwdm. schema	SLS_FCST_ITEM_ LW_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_A		このモジュールは毎週実 行されます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
sfcilwex.ksh	売上予測	ファクト 抽出	RMS	ITEM_ FORECAST、 DOMAIN_ DEPT、ITEM_ MASTER、 DOMAIN_ CLASS、 DOMAIN_ SUBCLASS	sfcilwdm. schema	sfcilwdm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	このモジュールは毎週実 行されます。
sincilddm.ksh	取引先インボ イス原価	ベース ファクト (挿入)		sincilddm.txt	sincilddm. schema	SUPP_INVC_ COST_ITEM_LD_ DM	BASEFACT_INS	INSERT	\$MMHOME/ data/sincilddm. txt	
sincildex.ksh	取引先インボ イス原価	ファクト 抽出	ReIM	INVC_HEAD、 INVC_ DETAIL、 INVC_XREF、 SHIPMENT	sincilddm. schema	sincilddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
slsblddm.ksh	売上および 返品トランザ クション	集計				SLS_SBC_LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE		
slsblwdm.ksh	売上および 返品トランザ クション	集計				SLS_SBC_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
slsilddm.ksh	売上および 返品トランザ クション	集計				SLS_ITEM_LD_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_S		

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
slsildmdm.ksh	売上および 返品トランザ クション	ベース ファクト (差分更新)		slsildmdm.txt	slsildmdm. schema	SLS_ITEM_LM_ DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/slsildmdm. txt	
slsildmex.ksh	売上および 返品トランザ クション	ファクト 抽出	ReSA (RDWT ファイル)	PROMSKU、 PROM STORE、 ITEM_ MASTER、 PROMDEPT、 PROM_ THRESHOLD_ SKU、PROM_ THRESHOLD_ DEPT、 PROM_MIX_ MATCH_ BUY、 PROM_MIX_ MATCH_ GET、 VAT_ITEM、 STORE、 ITEM_LOC_ SOH、 CLASS	入力 (ReSA からの 入力データを フォーマッ トする): slsildmex. schema	lptldmdm.txt、 slsildmdm.txt	N/A	N/A	st_sls_out_ file_path/st_ sls_out_file st_lp_out_file path/st_lp_out_ file in_file_ path/in_file	1. このモジュールは、 ReSA から 1 つの入力ファ イル (RDWT ファイル) を 取り込み、2 つのフラット ファイル (売上トランザク ションファイルおよび売 上トランザクションロス 防止ファイル) を出力し ます。 2. 入力ファイル名は RDWT で始まっていなけ ればなりません。 3. slsildmex を実行する前 に、RDWT 入力ファイルを ReSA Perl スクリプト resa2rdw によって適切に フォーマットしておく必 要があります。
					出力 (出力テキスト ファイルを フォーマッ トする): slsildmdm. schema lptldmdm. schema					

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
slsilwdm.ksh	売上および 返品トランザ クション	集計				SLS_ITEM_LW_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		
slsmkdnilddm. ksh	値下げ	ベース ファクト (更新)		slsmkdnilddm. txt	slsmkdnilddm. schema	SLS_MKDN_ ITEM_LD_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/ slsmkdnilddm. txt	
slsmkdnildex. ksh	値下げ	ファクト 抽出	RMS	IF_TRAN_ DATA	slsmkdnilddm. schema	slsmkdnilddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename with path	
slsmkdnilwdm. ksh	値下げ	集計				SLS_MKDN_ ITEM_LW_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
slsmkdnpiildm. ksh	値下げ	導出 (注を参照)		SLS_MKDN_ ITEM_LD_ DM、 PRICING_ ITEM_LD_ DM、 PROD_PACK_ ITEM_MTX_ DM、 TIME_DAY_ DM		SLS_MKDN_ PACK_ITEM_LD_ DM	FACT_MATRIX	UPDATE_S		このモジュールは、 SLS_MKDN_ITEM_LD_D M 上の売上値下げファク トを、対応するパックコ ンポーネントの売上値下 げファクトに振り分け ます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
slspilddm.ksh	パック売上	導出 (注を参照)		SLS_ITEM_ LD_DM、 PRICING_ ITEM_LD_ DM、 PROD_PACK_ ITEM_MTX_ DM、TIME_ DAY_DM		SLS_PACK_ITEM_ LD_DM	FACT_MATRIX	UPDATE_S		このモジュールは、パ ックアイテムの売上ファク トを選択して、そのパッ クアイテムを、個々の構 成アイテムに分類し ます。
spaldlddm.ksh	アロケーショ ン領域	ベース ファクト (更新 - 圧縮 テーブル)	注を参照	spaldlddm.txt	spaldlddm. schema	SPACE_ALLOC_ DEPT_LD_DM、 SPACE_ALLOC_ DL_CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/spaldlddm. txt	クライアントは、 spaldlddm.ksh またはデ パートメントアロケー ション領域モジュール spaldlddm2.ksh のいずれか を実行します。ソース データはクライアントに より提供されます。この モジュールにより、パッ クポストされたデータを 圧縮されたターゲット テーブルに処理でき ます。
spaldlddm2.ksh	アロケーショ ン領域	集計				SPACE_ALLOC_ DEPT_LD_DM、 SPACE_ALLOC_ DL_CUR_DM	FACT_ STANDALONE	UPDATE		このモジュールは、アロ ケーション領域を集計し ます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
spalilddm.ksh	アロケーショ ン領域	ベース ファクト (更新 - 圧縮 テーブル)	注を参照	spalilddm.txt	spalilddm. schema	SPACE_ALLOC_ ITEM_LD_DM、 SPACE_ALLOC_ IL_CUR_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE_L	\$MMHOME/ data/spalilddm. txt	アロケーション領域のア イテムのソースデータは クライアントにより提供 されます。このモジュー ルにより、バックポスト されたデータを圧縮テー ブルに処理できます。
stlblwdm.ksh	在庫元帳	ベース ファクト (更新)		stlblwdm.txt	stlblwdm. schema	INV_VAL_SBC_ LW_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/stlblwdm. txt	このモジュールは毎週実 行されます。
stlblwex.ksh	在庫元帳	ファクト 抽出	RMS	WEEK_DATA	stlblwdm. schema	stlblwdm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	このモジュールは毎週実 行されます。
sttflddm.ksh	店舗の輸送	ベース ファクト	注を参照	sttflddm.txt	sttflddm. schema	STORE_TRAF_ LD_DM	BASEFACT_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/sttflddm. txt	ソースファイルはクラ イアントにより提供され ます。
tsilddm.ksh	売上生産性	集計				SLS_LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_FS		
tsildqdm.ksh	売上生産性	集計				SLS_LQ_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE		
ttlddm.ksh	入札トランザ クション (ロス防止)	集計				TNDR_TRAN_LD_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_MS		
ttldmdm.ksh	入札トランザ クション (ロス防止)	ベース ファクト (差分更新)		ttldmdm.txt	ttldmdm. schema	TNDR_TRAN_ LM_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE_A	\$MMHOME/ data/ttldmdm. txt	

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
ttldmex.ksh	入札トランザ クション (ロス防止)	ファクト 抽出	ReSA (RDWF ファイル)	RDWF ファイル	入力 (ReSA からの 入力データを フォーマッ トする): ttldmex. schema	ttldmdm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename input_file_ path/filename	1. 入力ファイル名は RDWF で始まっていなけ ればなりません。 2. ttldmex を実行する前 に、RDWF 入力ファイルを ReSA Perl スクリプト resa2rdw によって適切に フォーマットしておく必 要があります。
					出力 (出力テキスト ファイルを フォーマッ トする): ttldmdm. schema					
ttldqdm.ksh	入札トランザ クション (ロス防止)	集計				TNDR_TRAN_LQ_ DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_MS		
vchreschddm. ksh	復帰証票	ベース ファクト (差分更新)		vchreschlddm. txt	vchreschlddm. schema	VCHR_ESCH_ DAY_DM	BASEFACT_ INCR_UPD	UPDATE	\$MMHOME/ data/ vchreschlddm. txt	
vchreschdex. ksh	復帰証票	ファクト 抽出	RMS	SA_ VOUCHER	vchreschddm. schema	vchreschddm.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
vchrmovelddm. ksh	証票の移動	ステージ ングテー ブルから 集計され たベース ファクト				VCHR_MOVE_ LD_DM	FACT_AGG_STD	UPDATE_F		

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部データ のソース	ソーステーブル またはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイル またはテーブル	Program_Control DM.program_type	Program_Control DM.operation_type	引数	注
vchrmoveldsg. ksh	証票の移動	ステージン グテーブル		vchrmoveldsg. txt	vchrmoveldsg. schema	VCHR_MOVE_LD_ SG	FACT_MATRIX	UPDATE	\$MMHOME/ data/ vchrmovelddm. txt	このモジュールは、 ステージングテーブル VCHR_MOVE_ LD_SG を読み込みます。 このテーブルには、個々 の証票レベルの証票の移 動ファクトが含まれてい ます。このモジュールに は、ソースレコードの主 要な情報の更新 (既存の証 票に対するキャッシャ または店舗の変更など) が 行われた場合に証票移動 ファクトをデクリメン トするコードも含まれ ています。
vchrmoveldsgex .ksh	証票の移動	ファクト 抽出	RMS	SA_ VOUCHER	vchrmoveldsg. schema	vchrmoveldsg.txt	N/A	N/A	output_file_ path/filename	
vchroutlwdm. ksh	未処理証票	ベース ファクト (挿入)		vchroutlwdm. txt	vchroutlwdm. schema	VCHR_OUT_LW_ DM	FACT_MATRIX	INSERT_G	\$MMHOME/ data/ vchroutlwdm. txt	このモジュールは毎週実 行されます。
vchroutlwex. ksh	未処理証票	ファクト 抽出	RMS	SA_ VOUCHER	vchroutlwdm. schema	vchroutlwdm.txt	N/A	N/A	output_file_pat h/filename	このモジュールは毎週実 行されます。

メンテナンスプログラム

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部の データ ソース	ソーステーブルまたはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたはテーブル	引数	注
factclosedm.ksh	バッチ前 メンテナンス	メンテナンス		INV_IL_CUR_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 COST_ISL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM、 NET_COST_SIL_CUR_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_I_CUR_DM、 SUPP_CNTRCT_I_CUR_DM、 PRICING_IL_CUR_DM、 INVSBC_LW_DM、 PROD_ITEM_DM PROD_ITEM_RECLASS_DM PROD_DEPT_RECLASS_DM ORG_LOC_RECLASS_DM		INV_ITEM_LD_DM、 INV_UNAVL_ITEM_LD_DM、 COST_ITEM_SUPP_LD_DM、 SPACE_ALLOC_ITEM_LD_DM、 CMPTR_PRICING_ITEM_LD_DM、 PRICING_ITEM_LD_DM、 NET_COST_SUPP_ITEM_LD_DM、 SUPP_CNTRCT_ITEM_DAY_DM、 SPACE_ALLOC_DEPT_LD_DM、 INV_IL_CUR_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 COST_ISL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM、 NET_COST_SIL_CUR_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_I_CUR_DM、 SUPP_CNTRCT_I_CUR_DM SUPP_AVAIL_ITEM_DAY_DM INV_SBC_LW_DM		このプログラムは、アイテム、ロケーション、デパートメントのいずれかまたはすべてがクローズあるいはリクラスゼーションされたファクトレコードを処理します。バッチサイクルの最初 (mt_prime の前、factopendm の後) に実行され、アイテム/ロケーション/デパートメントがリクラスゼーションまたはクローズされているレコードを展開ビューがピックアップしないよう、圧縮テーブルにストップレコードを挿入します。このプログラムの詳細については、第 4 章を参照してください。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部の データ ソース	ソーステーブルまたはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたはテーブル	引数	注
factopendm.ksh	バッチ前 メンテナンス	メンテナンス		INV_IL_CUR_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 COST_ISL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM、 NET_COST_SIL_CUR_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_ DM、SUPP_AVAIL_I_CUR_ DM、SUPP_CNTRCT_I_CUR_ DM PRICING_IL_CUR_DM PROD_ITEM_RECLASS_DM PROD_DEPT_RECLASS_DM ORG_LOC_RECLASS_DM		INV_ITEM_LD_DM、 INV_UNAVL_ITEM_LD_DM、 COST_ITEM_SUPP_LD_DM、 SPACE_ALLOC_ITEM_ LD_DM、CMPTR_PRICING_ ITEM_LD_DM、 PRICING_ITEM_LD_DM、 NET_COST_SUPP_ITEM_LD_ DM、SUPP_CNTRCT_ITEM_ DAY_DM、SPACE_ALLOC_ DEPT_LD_DM、INV_IL_CUR_ DM、INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 COST_ISL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_IL_CUR_DM、 SPACE_ALLOC_DL_CUR_DM、 NET_COST_SIL_CUR_DM、 CMPTR_PRICING_IL_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_I_CUR_DM、 SUPP_CNTRCT_I_CUR_DM、 SUPP_AVAIL_ITEM_DAT_DM		このプログラムは、 factclosedm.ksh の直前に実行 されます。リクラスゼーショ ン日を経過すると、圧縮テー ブルに、新たにリクラスゼー ションされたアイテム/ロ ケーション/デパートメント のキーを持つ新規レコードを 挿入します。このプログラムの 詳細については、第 4 章を 参照してください。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部の データ ソース	ソーステーブルまたはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたはテーブル	引数	注
mt_prime.ksh	バッチ前 メンテナンス	メンテナンス		MAINT_LOAD_DT_DM、 TIME_DAY_DM、 TIME_WK_DM		datekey.txt、 nextdatekey.txt、 curridayidnt.txt、 nextdayidnt.txt、 currwkidnt.txt、 wkenddt.txt、 nextwkidnt.txt mthidnt.txt、 MAINT_LOAD_DT_DM、 PROGRAM_STATUS_DM		<p>1. このプログラムは、処理日 (curr_load_dt) を 1 日分インクリメントします。このプログラムは、time_day_dm と time_wk_dm とを結合することにより、\$etc ディレクトリに存在する、日付関連のすべてのテキストファイルに値を入力します。</p> <p>2. プログラム mt_prime.ksh は、'completed' ステータスを持つすべてのモジュールに対して、PROGRAM_STATUS_DM テーブルを 'ready' に更新すると実行されるバッチサイクルを設定します。前回の実行から 'error' ステータスになっているモジュールは、手動で更新する必要があります。</p>

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部の データ ソース	ソーステーブルまたはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたはテーブル	引数	注
orapartseed.ksh	バッチ後 メンテナンス	メンテナンス		cur テーブル		パーティション化された、 圧縮データマートテーブル	table_name cur_table_name table_level	パーティション化された、圧縮データマートの場合、このプログラムは、cur_table から得た最新の日付を使用して、新規パーティションの最初の日付をシーディングします。このプログラムは、Oracle クライアントにのみ適用します。引数の説明: table_name は、パーティション化されたターゲットテーブルの名前です。 cur_table_name は、パーティション化されたターゲットテーブルに関連付けられたカレントポジションテーブルの名前です。table_level は、パーティション化されたターゲットテーブルのレベル (DAY または WEEK) を指します。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部の データ ソース	ソーステーブルまたはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたはテーブル	引数	注
seasonopendm.ksh	バッチ前 メンテナンス	メンテナンス		SEASN_DM PROD_SEASN_ITEM_MTX_DM INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 INV_IL_CUR_DM		INV_UNAVL_ITEM_LD_DM、 INV_UNAVL_IL_CUR_DM、 INV_IL_CUR_DM、 INV_ITEM_LD_DM、 INV_ITEM_LW_DM		アイテムが別の商品シーズンに移行するとき、新規の prod_seasn_key が item_key と関連付けられます。この変更は、prod_seasn_key が格納された圧縮ファクト (つまり在庫ポジション) に反映する必要があります。シーズンに変化が生じた場合、Seasnopendm に、在庫ポジションのデータマートファクトが保持されます。
pre_dwi_extract.ksh	DWI 前 メンテナンス	メンテナンス	RMS	PERIOD、SYSTEM_OPTIONS、 SYSTEM_VARIABLES、 CURRENCY_RATES		class_level_vat_ind.txt、 consolidation_code.txt、 domain_level.txt、 last_eom_date.txt、 max_backpost_days.txt、 multi_currency_ind.txt、 prime_currency_code.txt、 prime_exchng_rate.txt、 stkldgr_vat_incl_retl_ind.txt、 vat_ind.txt、 vdate.txt		このモジュールは実行時に、これらのテキストファイルが \$MMHOME/rfx/etc に存在することを前提にしています。一番最初の実行の既定値を含むテキストファイルは、インストールプロセスに含まれます。

プログラム	ファンクション エリア	モジュール タイプ	外部の データ ソース	ソーステーブルまたはファイル	スキーマ ファイル	ターゲットファイルまたはテーブル	引数	注
pre_dwi_temp.ksh	DWI 前 メンテナンス	メンテナンス	RMS	CURRENCY_RATES、 WH、 EURO_EXCHANGE_RATE、 STORE、 SUPS、 CONTRACT_HEADER、 INVC_DETAIL、INVC_HEAD		curr_tran_day_temp、 loc_exchng_rate_temp、 supp_exchng_rate_temp、 cntrect_exchng_rate_temp、 invc_exchng_rate_temp		
post_dwi_temp.ksh	DWI 後 メンテナンス	メンテナンス						このモジュールは、 pre_dwi_temp.ksh によって作 成されたテーブルをドロップ します。

プログラムタイプおよびオペレーションタイプの説明

一部の例外を除き、すべての RETL モジュールには、プログラムタイプおよびオペレーションタイプが含まれます。プログラムタイプおよびオペレーションタイプは、特定のディメンションまたはファクト RDW RETL ライブラリに対して、データの処理方法を伝えます。次の表にプログラムタイプおよびオペレーションタイプのすべての組み合わせを詳述します。

ディメンションタイプ

ディメンションタイプに関しては、次の状況を想定しています。

- すべてのディメンションモジュールには、データを正確に処理するための有効なプログラムタイプとオペレーションタイプが必要です。
- ディメンションライブラリは、次の方法で大半のデータを取り扱います。
 - 1 つ以上の一時テーブルを作成する。
 - 一時テーブルを分析する。
 - 一時テーブル上にインデックスを作成する。
 - 新規レコードおよびメジャーチェンジされたレコードの代理キーを生成する。
 - MAINT_DIM_KEY_DM テーブル上の next_key_val を更新する。
 - 一時テーブルに基づき、ターゲットテーブルに対して更新 (挿入) を行う。
 - プログラムステータスを "completed" に更新する。
- 以上の項目に対するすべての例外は、プログラムタイプおよびオペレーションタイプの各説明フィールドに記載されています。
- ほとんどの場合、一時テーブルはディメンション処理を支援する目的で作成されます。この一時テーブルは、後続フローのモジュール用に保持されます (item_key_lkup_temp など)。一時テーブルを使用する最後のバッチプログラムが、一時テーブルをドロップします。

DIM_TOP

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_TOP	<ul style="list-style-type: none">すべてのディメンション識別子に対する代理キーと、すべてのメンテナンス列を持つ、階層最上位のディメンションモジュールまたは階層に属さないディメンションモジュール (通貨などの単独ディメンション) で使用されます。挿入は、新規レコードとして扱われ、一時テーブル "insert" に挿入される前に、代理キーとすべてのメンテナンスフィールドが生成されます。削除とマイナーチェンジは、更新レコードとして扱われ、一時テーブル "update" に挿入される前に、一部のメンテナンスフィールドが更新されます。	INSERT (UPDATE と同様)	
		UPDATE	<ul style="list-style-type: none">両方の一時テーブルが dim_top_ksh にドロップにされます。
		UPDATE_L	<ul style="list-style-type: none">モジュールが処理を続けることができるように、両方の一時テーブルが保持されます。このモジュールでは、プログラムステータスを手動で "completed" に更新します。

DIM_TOP_F

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_TOP_F	<ul style="list-style-type: none">すべてのディメンション識別子に対する代理キーと、一部のメンテナンス列を持つ、階層最上位のディメンションモジュールまたは階層に属さないディメンションモジュールで使用されます。つまり、レコードがシステムから削除された場合は履歴は保持されません。挿入は、新規レコードとして扱われ、一時テーブル "insert" に挿入される前に、代理キーとすべてのメンテナンスフィールドが生成されます。削除は、削除レコードとして扱われ、一時テーブル "delete" に挿入されます。マイナーチェンジは、更新レコードとして扱われ、一時テーブル "update" に挿入される前に、一部のメンテナンスフィールドが更新されます。	UPDATE_D	<ul style="list-style-type: none">3 つの一時テーブルはすべてライブラリ dim_top.ksh にドロップされます。
		UPDATE_DL	<ul style="list-style-type: none">モジュールが処理を完了できるように、3 つの一時テーブルはすべて保持されます。このモジュールでは、プログラムステータスを手動で 'completed' に更新します。

DIM_TOP_IDNT

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_TOP_IDNT	<ul style="list-style-type: none">ディメンション識別子に対する代理キーも、メンテナンス列もいっさい持たない、階層最上位のディメンションモジュールまたは階層に属さないディメンションモジュールで使用されます。挿入は、新規レコードとして扱われ、一時テーブル "insert" に挿入される前に、すべてのメンテナンスフィールドが生成されます。削除は、削除レコードとして扱われ、一時テーブル "delete" に挿入されます。マイナーチェンジは、更新レコードとして扱われ、一時テーブル "update" に挿入される前に、一部のメンテナンスフィールドが更新されます。	UPDATE	<ul style="list-style-type: none">一時テーブル 'delete' は使用しません。'insert' および 'update' 一時テーブルはドロップされます。
		UPDATE_D	<ul style="list-style-type: none">これらの 3 つの一時テーブルはすべてドロップされます。

DIM_LOW

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_LOW	<ul style="list-style-type: none">すべてのディメンション識別子に対する代理キーと、すべてのメンテナンス列を持つ、下位レベルの階層におけるディメンションモジュールで使用されます。レコードは、親テーブルと結合されて、親情報に値が入力されます。挿入およびメジャーチェンジを伴う挿入は、新規レコードとして扱われ、一時テーブル 'insert' に挿入される前に、代理キーとすべてのメンテナンスフィールドが生成されます。削除、メジャーチェンジを伴う削除、およびマイナーチェンジは、更新レコードとして扱われ、一時テーブル "update" に挿入される前に、一部のメンテナンスフィールドが更新されます。モジュール内の定義によっては、メジャーチェンジが行われたすべてのレコードを保持するための一時テーブル (reclass) が作成される場合があります。この一時テーブルは、後にメンテナンスモジュールによって使用されます。	UPDATE	<ul style="list-style-type: none">dim_low.ksh ライブラリは、すべてのプロセスに対応します。
		UPDATE_L	<ul style="list-style-type: none">モジュールが処理を続けることができるように、両方の一時テーブルが保持されます。このモジュールでは、プログラムステータスを手動で "completed" に更新します。

DIM_MTX

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_MTX	<ul style="list-style-type: none">複数ディメンション間の関係を保持するマトリックスモジュールで使用されます。	INSERT	<ul style="list-style-type: none">ターゲットテーブル上のすべてのレコードが削除されます。テキストファイルからのすべての新規レコードは、ターゲットテーブルに挿入される前に、対応する代理キーが割り当てられます。一時テーブルは、生成されることも、使用されることもありません。
		UPDATE	<ul style="list-style-type: none">テキストファイルからのレコードには、対応する代理キーが割り当てられます。レコードには、新規挿入のほか、メジャーチェンジを伴う挿入/更新があり、これらは一時テーブルに挿入されます。ターゲットテーブルは、一時テーブルに基づいて更新されます。この一時テーブルはドロップされます。

DIM_LKUP

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_LKUP	<ul style="list-style-type: none">ディメンションテーブルのサブセットに値を入力するモジュールで使用されます。	INSERT	<ul style="list-style-type: none">既定のオペレーションタイプです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。

DIM_STANDALONE

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
DIM_STANDALONE	<ul style="list-style-type: none">ライブラリを呼び出す必要のないモジュールで使用されます。	UPDATE	<ul style="list-style-type: none">既定のオペレーションタイプです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。

ファクトタイプ

ファクトタイプに関しては、次の状況を想定しています。

- すべてのファクトモジュールには、データを正確に処理するための有効なプログラムタイプとオペレーションタイプが必要です。
- ファクトライブラリは、次の方法で大半のデータを取り扱います。
 - 1つ以上の一時テーブルを作成する。
 - 一時テーブルを分析する。
 - 一時テーブル上にインデックスを作成する。
 - 一時テーブルに基づき、ターゲットテーブルに対して更新/挿入を行う。
 - プログラムステータスを "completed" に更新する。
- 以上の項目に対するすべての例外は、プログラムタイプおよびオペレーションタイプの各説明フィールドに記載されています。
- ほとんどの場合、一時テーブルはファクト処理を支援する目的で作成されます。この一時テーブルは、後続フローのモジュール用に保持されます。一時テーブルを最後に使用するモジュールがこれをドロップします。

BASEFACT_INS

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
BASEFACT_INS	<ul style="list-style-type: none">新規レコードの挿入だけを行うモジュールで使用されます。ターゲットテーブルのポジショナルレコードに対して、レコードのポジショナルファクトが変更されている場合は、新規ポジションが当日の日付でターゲットテーブルに挿入されます。	INSERT	<ul style="list-style-type: none">レコードは、一時テーブルに直接追加されます。一時テーブルは、生成されることも、使用されることもありません。
		UPDATE_A	<ul style="list-style-type: none">レコードは、一時テーブルに直接追加されます。この一時テーブルは、後続フローのモジュール用に保持されます。

BASEFACT_UPD

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
BASEFACT_UPD	<ul style="list-style-type: none">新規レコードの挿入または現在のレコードの更新を行うモジュールで使用されます。挿入と更新に使用する当日分のデータが一時テーブルに保持されます。	UPDATE	<ul style="list-style-type: none">レコードは、一時テーブルからターゲットテーブルへ更新されます。この一時テーブルはドロップされます。
		UPDATE_L	<ul style="list-style-type: none">レコードは、一時テーブルに挿入されます。この一時テーブルは、後続のスケジューリングフローにおいて、このモジュール自体および別のモジュールによる使用に備えて保持されます。モジュール自体が、当該のライブラリによって作成された一時テーブルに基づいて、更新/挿入を実行します。必要な集計がもう存在しない場合は、プログラムステータスを "completed" に更新し、一時テーブルをドロップする必要があります。日レベルの圧縮テーブルではすべて、このオペレーションタイプを使用する必要があります。
		UPDATE_A	<ul style="list-style-type: none">レコードは、一時テーブルからターゲットテーブルに挿入され、更新されます。この一時テーブルは、後続スケジューリングフローのモジュール用に保持されます。

BASEFACT_INCR_UPD

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
BASEFACT_INCR_UPD	<ul style="list-style-type: none">新規レコードの挿入および既存のレコードの差分更新を行うモジュールで使用されます。第 1 の一時テーブルに、当日分のデータが保持されます。第 2 の一時テーブルには、当日までの差分更新が保持されます。	UPDATE	<ul style="list-style-type: none">両方の一時テーブルからのレコードがマージされ、ターゲットテーブルに対して、更新/挿入が行われます。第 1 の一時テーブルはドロップされます。第 2 の一時テーブルはドロップされます。
		UPDATE_A	<ul style="list-style-type: none">両方の一時テーブルからのレコードがマージされ、ターゲットテーブルに対して、更新/挿入が行われます。第 1 の一時テーブルは、後続スケジューリングフローのモジュール用に保持されます。第 2 の一時テーブルはドロップされます。

FACT_AGG_POS

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
FACT_AGG_POS	<ul style="list-style-type: none">時間に関するポジショナルデータを保持するモジュールで使用されます。商品階層の下位レベルから上位レベルへ集計します。集計フローにおいて、先行モジュールの一時テーブルを使用して、当日分のデータを保持します。	INSERT	<ul style="list-style-type: none">ターゲットテーブル上のレコードは、集計フローにおける先行モジュールで作成された一時テーブルに基づいて更新されます。この一時テーブルはドロップされます。
		UPDATE_F	<ul style="list-style-type: none">一時テーブルは、モジュールによって指定されたパラメータによって作成されます。ターゲットテーブル上のレコードは、一時テーブルに基づいて更新されます。この一時テーブルはドロップされます。先行モジュールからの、既存の一時テーブルはすべてドロップされます。
		UPDATE_G	<ul style="list-style-type: none">一時テーブルは、モジュールによって指定されたパラメータ (商品階層に対する標準集計など) によって作成されます。ターゲットテーブル上のレコードは、一時テーブルに基づいて更新されます。この一時テーブルは、フローにおける別のモジュール用に保持されます。先行モジュールからの、既存の一時テーブルはすべてドロップされます。
		UPDATE_GF	<ul style="list-style-type: none">一時テーブルは、モジュールによって指定されたパラメータ (商品階層に対する標準集計など) によって作成されます。ターゲットテーブル上のレコードは、一時テーブルに基づいて更新されます。この一時テーブルはドロップされます。先行モジュールからの、既存の一時テーブルはすべてドロップされます。

FACT_AGG_STD

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
FACT_AGG_STD	<ul style="list-style-type: none">時間階層および商品階層の下位レベルから上位レベルへ集計するモジュールで使用されます。第 1 の一時テーブルが作成され、当日分のデータが保持されます。第 2 の一時テーブルが作成され、ターゲットテーブル上の既存のデータおよび当日のデータからの集計結果が保持されます。DB2 クライアントの場合にのみ、オペレーションタイプのモジュールは、接尾辞 S が付くかどうかで、一時テーブルに使用するテーブル領域が異なります。バッチスケジュールにおける先行モジュールに接尾辞 S 付きのオペレーションタイプが使用されている場合、その直後のモジュールには接尾辞 S の付かないオペレーションタイプが使用されている必要があります。その逆も同様です。。オペレーションタイプに接尾辞 S が付くかどうかを決定するのは、プログラムタイプやオペレーションタイプではなく、バッチスケジュールの順序です。	UPDATE (UPDATE または UPDATE_S)	<ul style="list-style-type: none">レコードは、新しい一時テーブルに基づいて更新され、ターゲットテーブルに追加されます。集計フローにおける先行モジュールからの一時テーブルは、このフローの別のモジュール用に保持されます。現行モジュールからの一時テーブルは、スケジューリングフローにおける別のモジュール用に保持されます。
		UPDATE_F (UPDATE_F または UPDATE_FS)	<ul style="list-style-type: none">レコードは、新しい一時テーブルに基づいて更新され、ターゲットテーブルに追加されます。集計フローにおける先行モジュールからの一時テーブルはドロップされます。現行モジュールからの一時テーブルはドロップされます。
		UPDATE_M (UPDATE_M または UPDATE_MS)	<ul style="list-style-type: none">レコードは、新しい一時テーブルに基づいて更新され、ターゲットテーブルに追加されます。集計フローにおける先行モジュールからの一時テーブルはドロップされます。現行モジュールからの一時テーブルは、後続フローにおける別のモジュール用に保持されます。

FACT_MATRIX

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
FACT_MATRIX	<ul style="list-style-type: none">計算に対する例外コードまたは追加コードが必要なモジュールや、標準以外の追加のディメンション結合が必要なモジュールで使用されます。一時テーブルは、モジュールによって指定されたパラメータに基づいて作成されます。オペレーションタイプのモジュールは、接尾辞 S が付くかどうかで、一時テーブルに使用するテーブル領域が異なります。バッチスケジュールにおける先行モジュールに接尾辞 S 付きのオペレーションタイプが使用されている場合、その直後のモジュールには接尾辞 S の付かないオペレーションタイプが使用されている必要があります。その逆も同様です。オペレーションタイプに接尾辞 S が付くかどうかを決定するのは、プログラムタイプやオペレーションタイプではなく、バッチスケジュールの順序です。	INSERT	<ul style="list-style-type: none">レコードは、ターゲットテーブルに直接追加されます。一時テーブルは、生成されることも、使用されることもありません。
		INSERT_G	<ul style="list-style-type: none">レコードは、ターゲットテーブルに直接追加されます。モジュールで指定されたパラメータにより、グループ化/合計フィールドが識別されます。一時テーブルは、生成されることも、使用されることもありません。
		UPDATE (UPDATE または UPDATE_S)	<ul style="list-style-type: none">ターゲットテーブル上のレコードは、一時テーブルに基づいて更新されます。この一時テーブルはドロップされます。また、集計フローにおける先行モジュールからの一時テーブルもドロップされます。
		UPDATE_A	<ul style="list-style-type: none">ターゲットテーブルのすべてのレコードは、一時テーブルに基づいて更新されます。この一時テーブルは、別のモジュール用に保持されます。また、集計フローにおける先行モジュールからの一時テーブルもドロップされます。

FACT_STANDALONE

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
FACT_STANDALONE	<ul style="list-style-type: none">ファクトライブラリを呼び出す必要のないファクトモジュールで使用されます。	UPDATE	<ul style="list-style-type: none">既定のオペレーションです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。

メンテナンスタイプ

MAINTENANCE

プログラムタイプ	プログラムタイプの説明	オペレーションタイプ	オペレーションタイプの説明
MAINTENANCE	メンテナンス作業を実行するモジュールのうち、ジェネリックライブラリだけを呼び出すモジュールで使用されます。	UPDATE	<ul style="list-style-type: none">既定のオペレーションタイプです。このオペレーションタイプに依存する処理はありません。

付録 A アプリケーションプログラミングインターフェース (API) のフラットファイルの仕様

この付録には、ソースシステムと RDW 間のインターフェースとして機能する、すべてのテキストファイルのファイルフォーマット仕様を記述する API が含まれています。これらの API は、以下のフォーマットを制御します。

- DWI コードによって抽出されたファクトおよびディメンションデータ
- RDW 側に読み込まれたのと同じファクトおよびディメンションデータ

フィールドの説明およびフォーマット情報に加え、新データに対する基本的なビジネスルールも定義されています。

API フォーマット

各 API は、ビジネスルールとファイルレイアウトで構成されます。すべての API に共通の一般的なビジネスルールおよび標準も存在します。ビジネスルールは、RDW の内部に保持された情報の整合性を保つために使用されます。さらに、各 API には、特定の API に固有の一連のルールも含まれます。

ファイルレイアウト

- フィールド名: テキストファイルに含まれるフィールドの名前です。
- 説明: フィールドに保持される情報の簡単な説明です。
- 最大列長: 使用できる最大フィールド長を示します。フィールドがこの長を超えないようにする必要があります。
- データ型/フォーマット: 有効なデータ型 (Character、Numbers、Date) を指定します。
 - Character: アルファベット (a、b、c...)、数値 (1、2、3...)、特殊文字 (\$、#、&...) を保持できます。
 - Numbers: 数値 (1、2、3...) だけを保持できます。
 - Date: 年、月、日の特定の組み合わせを保持できます。

フィールドに必要なフォーマット情報は、「フォーマット」欄に示します。たとえば、Number(18,4) は数値の精度とスケールを示します。第 1 の値は精度を表し、常に最大列長と一致します。第 2 の値はスケールを表し、小数点以下の桁数を指定します。

- 必須フィールド: フィールドに NULL 値を格納できるかどうかを示します。この欄は "Yes" または "No" で示されます。"Yes" は、フィールドが NULL 値を格納できないことを表します。"No" は、フィールドが必要に応じて NULL 値を格納できることを表します。

すべての API に共通の一般的なビジネスルールおよび標準

- **ディメンションデータの完全な "スナップショット":**
ディメンション情報が変更されたかどうかに関係なく、大半の RDW ディメンションコードには、ターゲットテーブル上の正確なデータを取得するために、最新のディメンションデータがすべて必要になります。完全なディメンションデータがテキストファイルとして指定されていない場合、結果として、無効 (不正確) なディメンションデータが取得されてしまう場合があります。たとえば、有効なアイテムを `prditmdm.txt` ファイルから除外した場合、データウェアハウスにおいてそのアイテムは、抽出日時点でクローズされてしまいます。アイテムの売上を処理するときに、ファクトプログラムは、対応する "有効" なディメンションレコードを見つけることができません。このような理由により、各 API に固有のビジネスルールで特に注記されていない限り、各テキストファイルにディメンションデータの完全なスナップショットを指定する必要があります。
- **前後に付加された値:**
テキストファイルに入力された値は、そのまま処理されてデータマートテーブルに読み込まれます。そのため、前後に追加されたゼロ、文字、NULL 値はそのまま処理されます。API のビジネスルールで特に注記されていない限り、RDW 側で、前後に付加された値が取り除かれることはありません。
- **区切り文字:**

注: 区切り文字はデータには含まれません。

- ディメンションのテキストファイルの各フィールドは、パイプ文字 (|) で区切られている必要があります。たとえば、`prddivdm.txt` のレコードは次のように区切られています。

```
1000|1|Homewares|2006|Henry Stubbs|2302|Craig Swanson
```

- ファクトのテキストファイルの各フィールドは、セミコロン文字 (;) で区切られている必要があります。たとえば、`exchngratedm.txt` のレコードは次のように区切られています。

```
WIS;20010311;1.73527820592648544918
```

詳細については、『RETL 1.7.X プログラマーズガイド』を参照してください。

- **レコードの終端を示すキャリッジリターン:**
テキストファイルの各レコードは、行末のキャリッジリターンで区切られている必要があります。たとえば、それぞれ 4 つの値を保持する 3 つのレコードは次のように指定します。

```
1|2|3|4
```

```
5|6|7|8
```

```
9|10|11|12
```

次のように 1 行につなげて指定することはできません。

```
1|2|3|4|5|6|7|8|9|10|11|12
```

- **文字フォーマット:**
すべての API には ASCII テキスト文字だけが含まれます。

ディメンション

抽出および読み込み

cmptrdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、競争業者の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `cmptr_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CMPTR_IDNT	競争業者の一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_DESC	競争業者の説明または名前です。	40	Character	No
CMPTR_ADDR	競争業者の住所です。	100	Character	No
CMPTR_CITY_NAME	競争業者の市名です。	20	Character	No
CMPTR_ST_OR_PRVNC_CDE	競争業者の都道府県を表すコードです。	3	Character	No
CMPTR_CNTRY_CDE	競争業者の国名です。	3	Character	No

cmptrlmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルは、ロケーションと競争業者ロケーション間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、`loc_idnt` と `cmptr_loc_idnt` の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_LOC_IDNT	競争業者店舗の一意の識別子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
TARGET_CMPTR_IND	このフィールドは、小売業者の店舗に対する競争業者を識別します。Price Management で推奨売価を計算するときに、ゾーン内の既定店舗とともに、ここに指定された競争業者の売価が使用されます。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	Yes
CMPTR_RANK	このフィールドには、各競争業者店舗のランクが格納されます。	2	Number(2)	No
DISTANCE	このフィールドには、小売業者の店舗と競争業者店舗との距離が格納されます。	4	Number(4)	No
DISTANCE_UOM_CDE	このフィールドには、距離に使用する UOM のコードが格納されます。有効な値は、1 = 'Miles' と 2 = 'Kilometers' です。	6	Character	No
DISTANCE_UOM_DESC	このフィールドには、距離に使用する UOM の説明が格納されます。	40	Character	No

cmptrlocdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、競争業者とその各ロケーションについて、履歴以外の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、cmptr_loc_idnt と cmptr_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CMPTR_LOC_IDNT	競争業者店舗の一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_IDNT	競争業者の一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_LOC_DESC	競争業者店舗の名称です。	30	Character	No
CMPTR_LOC_ADDR	競争業者店舗の住所です。	100	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CMPTR_LOC_CITY_NAME	競争業者店舗の市名です。	20	Character	No
CMPTR_LOC_ST_OR_PRVNC_CDE	競争業者店舗の都道府県です。	3	Character	No
CMPTR_LOC_CNTRY_CDE	競争業者店舗の国名です。	3	Character	No
ESTIMATED_VOLUME	このフィールドは、競争業者のロケーションに割り当てられ、競争業者の年間見積もり売上ボリュームを示します。	18	Number(18,4)	No
CMPTR_CRNCY_CDE_IDNT	通貨コードの一意的識別子です。たとえば、USD は、US ドルに対応するローカル通貨コードです。	3	Character	Yes

crnycddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、通貨コード情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ crncy_cde_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CRNCY_CDE_IDNT	通貨コードの一意的識別子です。たとえば、USD は、US ドルに対応するローカル通貨コードです。	10	Character	Yes
CRNCY_CDE_DESC	通貨コードの名称です。たとえば、USD の名称は "US ドル" です。	30	Character	Yes

emptydm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、従業員のデータが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ empty_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
EMPTY_IDNT	従業員の一意の識別子です。	10	Character	Yes
EMPTY_NAME	従業員の名前です。	30	Character	Yes
EMPTY_ROLE	従業員の役割を示すインジケータです。C ('C'ashier: キャッシャ)、S ('S'alesperson: 販売員)、O ('O'ther: その他) があります。	1	Character	Yes

orgaradm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、チェーンに含まれるエリアが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `area_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
AREA_IDNT	エリアの一意の識別子です。	4	Character	Yes
AREA_DESC	エリアの名称です。	30	Character	No
AREA_MGR_NAME	エリアのマネージャの名前です。	32	Character	No
CHAIN_IDNT	チェーンの一意の識別子です。	4	Character	Yes

orgchandm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、カンパニーのチャネルが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `channel_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CHANNEL_IDNT	チャネルの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CHANNEL_TYPE	チャネルのタイプを指定するコードです。	6	Character	No
CHANNEL_DESC	チャネルの名称です。	30	Character	No

orgchndm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、カンパニーに含まれるチェーンが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ chain_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CHAIN_IDNT	チェーンの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CMPY_IDNT	カンパニーの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
CHAIN_DESC	チェーンの名称です。	30	Character	No
CHAIN_MGR_NAME	チェーンのマネージャの名前 です。	32	Character	No

orgdisdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、リージョンに含まれるディストリクトが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ distt_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DISTT_IDNT	ディストリクトの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
DISTT_DESC	ディストリクトの名称です。	30	Character	Yes
DISTT_MGR_NAME	ディストリクトの担当マネー ージャの名前です。	32	Character	No
REGN_IDNT	リージョンの一意の識別子 です。	4	Character	Yes

orgllmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルは、ロケーションとロケーションリスト間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、loclst_idnt と loc_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOCLST_IDNT	ロケーションリストの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか ウェアハウスであるかを示す コードです。	2	Character	Yes

orglocdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ディストリクトに含まれるロケーションが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `loc_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか ウェアハウスであるかを示す コードです。	2	Character	Yes
LOC_DESC	店舗やウェアハウスの説明または 名前です。	30	Character	No
LOC_DESC_10	店舗名の略語 (10 文字) です。	10	Character	No
LOC_DESC_3	店舗名の略語 (3 文字) です。	3	Character	No
LOC_TYPE_DESC	ロケーションが店舗であるか ウェアハウスであるかを示す <code>loc_type_cde</code> の名称です。	30	Character	No
DISTT_IDNT	ディストリクトの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
DISTT_DESC	ディストリクトの名称です。	30	Character	No
CRNCY_CDE_IDNT	通貨の一意の識別子です。	10	Character	No
CRNCY_CDE_DESC	ローカル通貨コードの名称 です。たとえば、USD の名称は "US ドル" です。これは、店舗 によって選ばれた通貨の名称に なります。	30	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
PHY_WH_IDNT	仮想ウェアハウスに割り当てられた実ウェアハウスの一意の識別子です。	10	Character	No
VIRTUAL_WH_IDNT	仮想ウェアハウスの一意の識別子です。	10	Character	No
STOCKHOLD_IND	この列は、ロケーションが在庫を保持できるかどうかを示します。非マルチチャネル環境では、常に Y になります。	1	Character	No
CHANNEL_IDNT	マルチチャネル環境において、ロケーションに関連付けられる、チャネルの一意の識別子です。	4	Character	No
LOC_ADDR	店舗またはウェアハウスの住所(番地)です。	100	Character	No
LOC_CITY_NAME	店舗またはウェアハウス所在地の市です。	32	Character	No
LOC_ST_OR_PRVNC_CDE	店舗またはウェアハウス所在地の都道府県コードです。	7	Character	No
LOC_CNTRY_CDE	店舗またはウェアハウス所在地の国コードです。	3	Character	No
LOC_CNTRY_DESC	店舗またはウェアハウス所在地の国コードの説明または名前です。	30	Character	No
LOC_PSTL_CDE	店舗またはウェアハウスの郵便番号です。	10	Character	No
LOC_MGR_NAME	当該店舗の担当マネージャの名前です。店舗ロケーションでのみ有効です。	32	Character	No
LOC_FMT_CDE	ロケーションのフォーマットタイプを示すコードです。店舗のロケーションだけで有効です。	5	Character	No
LOC_TOT_LINEAR_DISTANCE	ロケーションの合計線形売り場スペースを保持します。	8	Number(8)	No
LOC_SELLING_AREA	ロケーションの合計販売エリアを保持します。	8	Number(8)	No
LOC_PRMTN_ZNE_CDE	ロケーションが属する特売ゾーンを示すコードです。店舗ロケーションでのみ有効です。	5	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_TRNSFR_ZNE_ CDE	ロケーションが属する在庫移動 ゾーンを示すコードです。店舗 ロケーションでのみ有効です。	5	Character	No
LOC_VAT_REGN	店舗またはウェアハウスが 属する付加価値税リージョンの 数を保持します。	4	Number(4)	No
LOC_VAT_INCLUDE_ IND	付加価値税が店舗の売価に含ま れるかどうかを示します。有効 な値は "Y" と "N" です。	1	Character	No
LOC_MALL_NAME	店舗所在地のモールの名前を保 持します。	20	Character	No
LOC_DEFAULT_WH	クロスドックマスク作成用の既 定値として使用するウェアハウ スの数を保持します。ウェアハ ウスに関連付ける店舗 (ウェア ハウスを調達先とする店舗) を 決定します。	10	Character	No
LOC_BREAK_PAC_IND	ウェアハウスが取引先ケース数 量以下で配分できるかどうかを 示します。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	No
LOC_REMODEL_DT	前回の店舗改装日を保持し ます。		Date (YYYY MMDD)	No
LOC_START_DT	ロケーションの開始日です。		Date (YYYY MMDD)	No
LOC_END_DT	ロケーションの終了日です。		Date (YYYY MMDD)	No
LOC_TOT_AREA	ロケーションの合計エリアを保 持します。	8	Number(8)	No
LOC_NO_LOAD_ DOCKS	クライアント固有のフィールド です。このフィールドの定義と 用途は、クライアントごとにカ スタマイズ可能です。	4	Character	No
LOC_NO_UNLOAD_ DOCKS	クライアント固有のフィールド です。このフィールドの定義と 用途は、クライアントごとにカ スタマイズ可能です。	4	Character	No
LOC_UPS_DISTT	ロケーションが属する UPS デイ ストリクトを示すコードです。 店舗ロケーションでのみ有効 です。	2	Number(2)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_TIME_ZNE	ロケーションが属するタイムゾーンを示すコードです。店舗ロケーションでのみ有効です。	10	Character	No
LOC_FASH_LINE_NO	クライアント固有のフィールドです。このフィールドの定義と用途は、クライアントごとにカスタマイズ可能です。	9	Character	No
LOC_COMP_CDE	クライアント固有のフィールドです。このフィールドの定義と用途は、クライアントごとにカスタマイズ可能です。	2	Character	No
LOC_STORE_VOL_CAT	クライアント固有のフィールドです。このフィールドの定義と用途は、クライアントごとにカスタマイズ可能です。	2	Character	No
LOC_PAY_CAT	クライアント固有のフィールドです。このフィールドの定義と用途は、クライアントごとにカスタマイズ可能です。	1	Character	No
LOC_ACCT_CLK_ID	クライアント固有のフィールドです。このフィールドの定義と用途は、クライアントごとにカスタマイズ可能です。	3	Character	No
LOC_FMT_DESC	このロケーションのロケーションフォーマットコードの説明または名前です。店舗ロケーションでのみ有効です。	30	Character	No
LOC_ST_OR_PRVNC_DESC	店舗またはウェアハウス所在地の国コードの説明または名前です。	30	Character	No
LOC_TRNSFR_ZNE_DESC	このロケーションの在庫移動ゾーンコードの説明または名前です。店舗ロケーションでのみ有効です。	30	Character	No
LOC_PRMTN_ZNE_DESC	このロケーションの特売ゾーンコードの説明または名前です。店舗ロケーションでのみ有効です。	30	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
STORE_CLASS	店舗が属するクラスを示すコードを保持します。有効な値は A ～ E です。	1	Character	No
START_ORDER_DAYS	店舗の開店日 (注文の受付を開始する日) までの日数を保持します。	3	Character	No
FORECAST_WH_IND	ウェアハウスが需要予測かどうか、RDW Retek 以外のアプリケーションに使用されるかどうかを示します。	1	Character	No

orgloldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーションリストごとに 1 つのレコードが格納されます。通常、ロケーションリストは、ロケーションをグループ化してレポートを作成するために使用します。
- このテキストファイルは、同じ loclst_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOCLST_IDNT	ロケーションリストの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CREATE_ID	ロケーションリストを作成した人物のログイン ID です。	30	Character	Yes
LOCLST_DESC	ロケーションリストの一意の識別子の説明または名前です。	40	Character	No

orgltmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルは、ロケーションとロケーション特性間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、loc_trait_idnt と loc_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_TRAIT_IDNT	ロケーション特性の一意の識別子です。店舗ロケーションでのみ有効なエントリです。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるかウェアハウスであるかを示すコードです。	2	Character	Yes

orgltrdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーション特性ごとに 1 つの行が含まれます。ロケーション特性により、共通の特性に基づいて、組織階層のロケーション(店舗)をグループ化することができます。
- このテキストファイルは、同じ `loc_trait_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_TRAIT_IDNT	ロケーション特性の一意の識別子です。店舗ロケーションでのみ有効なエントリです。	10	Character	Yes
LOC_TRAIT_DESC	ロケーション特性の一意の識別子の説明または名前です。	30	Character	No

orgrgndm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、エリアに含まれるリージョンが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `regn_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
REGN_IDNT	リージョンの一意の識別子です。	4	Character	Yes
REGN_DESC	リージョンの説明または名前です。	30	Character	No
REGN_MGR_NAME	リージョンのマネージャの名前を保持します。	32	Character	No
AREA_IDNT	エリアの一意の識別子です。	4	Character	Yes

phasdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、フェーズが格納されます。フェーズは、1 つのシーズン内の特定の期間です。すべての日は、いずれか 1 つのフェーズに属します。
- このテキストファイルは、phase_idnt と seasn_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SEASN_IDNT	シーズンの一意の識別子です。	3	Character	Yes
PHASE_IDNT	フェーズの一意の識別子です。	3	Character	Yes
PHASE_START_DT	フェーズの開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PHASE_END_DT	フェーズの終了日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PHASE_DESC	フェーズの名称です。	30	Character	No

prdcldsm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、デパートメントに含まれるクラスが格納されます。
- このテキストファイルは、dept_idnt と class_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CLASS_IDNT	クラスの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_IDNT	デパートメントの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_DESC	クラスの名称です。	30	Character	No
CLASS_BUYR_IDNT	クラスのバイヤーの一意の識別子です。	4	Character	No
CLASS_BUYR_NAME	このクラスの商品に対するバイヤーの名前です。	32	Character	No
CLASS_MRCH_IDNT	クラスのマーチャンダイザの一意の識別子です。	4	Character	No
CLASS_MRCH_NAME	このクラスの商品に対するマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No

prdcmpdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、カンパニー情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ cmpy_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CMPY_IDNT	カンパニーの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CMPY_DESC	カンパニーの名称です。	30	Character	No

prdisldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーションおよび取引先に対して追跡レベルアイテムを関連付けるレコードが格納されます。
- このテキストファイルは、supp_idnt、item_idnt、loc_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
SUPP_PRT_NBR	対応する取引先の製造元番号です。	30	Character	No
PRMY_SUPP_IND	アイテムの既定取引先を維持したり追跡したりするためのインジケータです。Y の場合、そのロケーションにおけるアイテムの既定取引先であることを示します。	1	Character	No
PRESENTATION_METHOD	指定された寸法を考慮した包装 (ある場合) について説明します。	6	Character	No
F_SUPP_CASE_QTY	既定取引先に発注可能なケースパックのアイテム数です。	12	Number(12,4)	No

prddepdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、グループに含まれるデパートメントが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ dept_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DEPT_IDNT	デパートメントの一意の識別子です。	4	Character	Yes
GRP_IDNT	グループの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_DESC	デパートメントの名称です。	30	Character	No
DEPT_BUYR_IDNT	デパートメントのバイヤーの一意の識別子です。	4	Character	No
DEPT_BUYR_NAME	このデパートメントの商品に対するバイヤーの名前です。	32	Character	No
DEPT_MRCH_IDNT	デパートメントのマーチャンダイザの一意の識別子です。	4	Character	No
DEPT_MRCH_NAME	このデパートメントの商品に対するマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No
PRFT_CALC_TYPE_CDE	デパートメントの収益を原価ベースで計算するか、売価ベースで計算するかを決定する一意のコードです。	1	Character	No
PRFT_CALC_TYPE_DESC	デパートメントの収益計算方法の名称です。一般に、原価または売価のいずれかになります。	30	Character	No
PURCH_TYPE_CDE	デパートメントにおけるアイテムの在庫タイプ (標準在庫または委託品在庫) を示すコードです。	1	Character	No
PURCH_TYPE_DESC	デパートメントにおける商品タイプの名称 (標準在庫または委託品在庫) です。	30	Character	No
BUD_INT	予算上の売上率を保持します。これは、売価に対する値入率と同義です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
BUD_MKUP	予算上の値入率を保持します。 これは、原価に対する値入率と 同義です。	12	Number(12,4)	No
TOTL_MKT_AMT	デパートメントに対して見込ま れる市場金額合計です。	18	Number(18,4)	No
MKUP_CALC_TYPE_ CDE	デパートメントに対して値入を どのように計算するかを決 定するコードです。	1	Character	No
MKUP_CALC_TYPE_ DESC	デパートメントの値入計算方法 の名称です。	30	Character	No
OTB_CALC_TYPE_CDE	デパートメントの OTB が原価 をベースとするか、売価をベ ースとするかを決定するコード です。	1	Character	No
OTB_CALC_TYPE_ DESC	OTB を原価ベースで計算する か、売価ベースで計算するかに ついての説明です。	30	Character	No

prddiffdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムのすべて子要素識別子のほか、これらに関連付けられた NRF 産業コードが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ diff_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DIFF_IDNT	子要素の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DIFF_TYPE	子要素タイプの一意の識別子 です。	6	Character	No
DIFF_DESC	子要素の名称です。	30	Character	No
INDUSTRY_CDE	サイズに対して考えられるすべ ての組み合わせを表す一意の番 号です。	10	Character	No
INDUSTRY_ SUBGROUP	色の範囲のグループをすべて 表す一意の番号です。	10	Character	No

prddivdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、カンパニーに含まれるディヴィジョンが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `div_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DIV_IDNT	ディヴィジョンの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CMPY_IDNT	カンパニーの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DIV_DESC	ディヴィジョンの名称です。	30	Character	No
DIV_BUYR_IDNT	ディヴィジョンのバイヤーの一意の識別子です。	4	Character	No
DIV_BUYR_NAME	ディヴィジョンのバイヤーの名前です。	32	Character	No
DIV_MRCH_IDNT	ディヴィジョンのマーチャンダイザの一意の識別子です。	4	Character	No
DIV_MRCH_NAME	ディヴィジョンのマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No

prddtypdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、子要素タイプの情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `diff_type` に対して重複するレコードを格納することはできません。
- RDW では、子要素タイプを最大 30 まで使用できます。新しい子要素タイプ (テキストファイルで挿入) と既存の子要素タイプ (`prod_diff_type_dm` テーブル内) の合計が 30 を超えた場合、データ処理に障害が発生します。
- 子要素タイプディメンションの変更が RDW のフロントエンドに与える影響の詳細については、『RDW 10.1 中間層インストールガイド』を参照してください。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DIFF_TYPE	子要素タイプを一意に識別します。	6	Character	Yes
DIFF_TYPE_DESC	子要素タイプの名称です。	40	Character	Yes

prdgprdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ディヴィジョンに含まれるグループが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `grp_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
GRP_IDNT	グループの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DIV_IDNT	ディヴィジョンの一意の識別子です。	4	Character	Yes
GRP_DESC	グループの名称です。	30	Character	No
GRP_BUYR_IDNT	グループのバイヤーの一意の識別子です。	4	Character	No
GRP_BUYR_NAME	グループのバイヤーの名前です。	32	Character	No
GRP_MRCH_IDNT	グループのマーチャンダイザの一意の識別子です。	4	Character	No
GRP_MRCH_NAME	グループのマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No

prditmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、サブクラス、クラス、デパートメントに含まれるアイテムが格納されます。サブクラス、クラス、デパートメントの組み合わせにより、アイテムが一意に識別されます。たとえば、サブクラス 10 が異なるクラスに属していて、2 つの異なるサブクラスを表す場合、アイテム 100 をサブクラス 10 によって識別することはできません。アイテム 100 は、サブクラス、クラス、デパートメントの組み合わせに属しています。
- このテキストファイルは、同じ `item_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。
- 以下の列は RDW 10.1 では使用されませんが、他の Retek アプリケーション用に `prditmdm` テキストファイルに含まれています。
 - `forecast_ind`
 - `item_aggregate_ind`
 - `diff_1_aggregate_ind`
 - `diff_2_aggregate_ind`
 - `diff_3_aggregate_ind`
 - `diff_4_aggregate_ind`

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LEVEL1_IDNT	アイテムファミリの第 1 レベルの一意の識別子です。	25	Character	No
LEVEL2_IDNT	アイテムファミリの第 2 レベルの一意の識別子です。	25	Character	No
LEVEL3_IDNT	アイテムファミリの第 3 レベルの一意の識別子です。	25	Character	No
ITEM_LEVEL	アイテムが 3 つのレベルのうちのどのレベルに属するかを示す番号です。有効な値は 1、2、3 です。	1	Number(1)	Yes
TRAN_LEVEL	アイテムのファミリに対し、3 つのレベルのトランザクションのうちのどのトランザクションが発生するかを示す番号です。有効な値は 1、2、3 です。	1	Number(1)	Yes
DIFF_1	子要素または子要素グループの一意の識別子です。	10	Character	No
DIFF_2	子要素または子要素グループの一意の識別子です。	10	Character	No
ITEM_AGGREGATE_IND	RDW Retek 以外のアプリケーションで 사용되는 アイテム集計インジケータです。	1	Character	No
DIFF_1_AGGREGATE_IND	RDW Retek 以外のアプリケーションで 사용되는 Diff_1 集計インジケータです。	1	Character	No
DIFF_2_AGGREGATE_IND	RDW Retek 以外のアプリケーションで 사용되는 Diff_2 集計インジケータです。	1	Character	No
DIFF_3_AGGREGATE_IND	RDW Retek 以外のアプリケーションで 사용되는 Diff_3 集計インジケータです。	1	Character	No
DIFF_4_AGGREGATE_IND	RDW Retek 以外のアプリケーションで 사용되는 Diff_4 集計インジケータです。	1	Character	No
PACK_IND	アイテムがパックであるかどうかを示すインジケータです。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
PACK_SELLABLE_CDE	パックが販売可能であるかどうかを示すコードです。販売可能パックとは、1 パックとして販売できるアイテムのグループのことです。これには、発注可能パックとして届けられる場合と、小売業者自身がアイテムを包装して、パックとして販売する場合とがあります。たとえば、シャンプーとコンディショナーを組み合わせ、パックとして販売する場合があります。	6	Character	No
PACK_SELLABLE_DESC	販売可能パックの名称です。	40	Character	No
PACK_SIMPLE_CDE	シンプルパックであるかどうかを示すコードです。シンプルパックとは、単一のアイテムを複数集めて、それを 1 パックとして販売するパックのことです。たとえば、コーラ 12 本パックなどがあります。	6	Character	No
PACK_SIMPLE_DESC	シンプルパックの名称です。	40	Character	No
PACK_ORDERABLE_CDE	パック発注タイプ (ベンダーまたはバイヤー) を示すコードです。内容がバイヤーによって指定されるパックのことを発注可能なバイヤーパックといいます。ベンダーによってパッケージ化され、その単位で発注されるパックのことを、発注可能なベンダーパックといいます。たとえば、ベンダーまたはバイヤーによる、コーラの 12 本パックなどがあります。	6	Character	No
PACK_ORDERABLE_DESC	パック発注タイプの名称です。	40	Character	No
PACKAGE_UOM	パッケージサイズに関連付けられた UOM です。	4	Character	No
PACKAGE_SIZE	パッケージに印刷される商品のサイズです (24 オンスなど)。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SBCLASS_IDNT	サブクラスの一意的識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	商品階層において、アイテムが属するクラスの一意的識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_IDNT	商品階層において、アイテムが属するデパートメントの一意的識別子です。	4	Character	Yes
ITEM_DESC	アイテムの長い名称です。この名称は、システム全体で使用され、オンラインユーザがアイテムを識別するのに役立ちます。	160	Character	No
ITEM_SHRT_DESC	アイテムの略称です。これが、POS にダウン読み込まれる既定の名称になります。	30	Character	No
ITEM_NBR_TYPE_CDE	アイテムのタイプを指定するコードです。このフィールドに有効な値としては、ITEM、UPC-A、EAN13、ISBN があります。	6	Character	No
ITEM_NBR_TYPE_DESC	ITEM_NBR_TYPE_CDE の名称です。有効な値には、Retek アイテム番号、UPC-A、EAN13、ISBN があります。	40	Character	No
STND_UOM_CDE	UOM の一意的識別子です (ポンドの場合は LBS など)。	6	Character	No
STND_UOM_DESC	UOM_CDE の具体的な名称です。たとえば、LBS の場合は "ポンド" のように表されます。	40	Character	No
FORECAST_IND	外部の予測システムと連動するアイテムかどうかを示すインジケータです。有効な値は Y と N です。この列は、RDW Retek 以外のアプリケーションに使用されます。	1	Character	Yes

prditmldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムリストごとに 1 つの行が含まれます。通常、アイテムリストは、アイテムをグループ化してレポートを作成するために使用します。
- このテキストファイルは、同じ itemlst_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEMLIST_IDNT	アイテムリストの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CREATE_ID	アイテムリストを作成した人物のログイン ID です。	30	Character	Yes
ITEMLIST_DESC	アイテムリストの一意の識別子の名称です。	40	Character	No

prditmldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムリストと追跡レベルアイテム識別子間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、itemlst_idnt と item_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEMLIST_IDNT	アイテムリストの一意の識別子です。	10	Character	Yes
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes

prditmltmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーション、追跡レベルアイテム、およびそれらのロケーション特性の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt と loc_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
LAUNCH_DT	最初にロケーションでアイテム を販売する日付を示します。		Date (YYYY MMDD)	No
DEPOSIT_CDE	預金がロケーションのこのアイ テムに関連付けられているかど うかを示します。	6	Character	No
FOOD_STAMP_IND	ロケーションでフードスタンプ が承認されているアイテムかど うか示します。	1	Character	No
REWARD_ELIGIBLE_ IND	アイテムがロケーションのさま ざまなタイプのボーナスポイン トつまり賞与プログラムに適用 されるかどうかを示します。	1	Character	No
NATL_BRAND_COMP_ ITEM	現在のアイテムの比較対象で ある全国ブランドアイテムを示 します。	25	Character	No
STOP_SALE_IND	そのロケーションでのアイテム の販売を直ちに停止することを 示します。	1	Character	No
ELECT_MKT_CLUBS	ロケーションでアイテムが 属するエレクトリックマーケ ティングクラブを示すコードを 保持します。	6	Character	No
STORE_ REORDERABLE_IND	店舗がアイテムを再発注できる かどうかを示します。	1	Character	No
FULL_PALLET_ITEM_ IND	店舗がフルパレットのみでアイ テムを再発注する必要があるか どうか示します。	1	Character	No
DEPOSIT_CDE_DESC	預金がロケーションのこのアイ テムに関連付けられているかど うかを示す預金コード名称 です。	40	Character	No

prditmlmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、追跡レベル以上のアイテムと商品シーズン/フェーズとの間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、同じアイテムに対して重複するレコードを格納することはできません。

FIELDNAME	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
PROD_SEASN_IDNT	商品シーズンの一意の識別子です。	3	Character	Yes
PROD_PHASE_IDNT	商品フェーズの一意の識別子です。	3	Character	Yes

prditmuddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、詳細レベルのユーザ定義アトリビュート (UDA) と追跡レベルのアイテムの識別子との間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、item_uda_dtl_idnt と item_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_UDA_HEAD_IDNT	UDA の一意の識別子です。	5	Character	Yes
ITEM_UDA_DTL_IDNT	UDA のすべての値 (テキスト、日付、LOV) に対する一意の識別子です。	256	Character	Yes
ITEM_UDA_DTL_DESC	UDA 値、テキスト、日付の名称です。	250	Character	No

prditmuhdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ユーザ定義アトリビュート (UDA) の各種の値が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ item_uda_head_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_UDA_HEAD_IDNT	UDA の一意の識別子です。	5	Character	Yes
ITEM_UDA_TYPE_CDE	UDA タイプを指定するコードです。有効な値には、DT=日付、LV=値リスト、FF=自由形式テキスト、などがあります。	3	Character	Yes
ITEM_UDA_HEAD_DESC	UDA の名称です。	40	Character	Yes

prditmumdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、詳細レベルのユーザ定義アトリビュート (UDA) と追跡レベルのアイテムの識別子との間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、item_uda_dtl_idnt と item_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_UDA_HEAD_IDNT	UDA の一意の識別子です。	5	Character	Yes
ITEM_UDA_DTL_IDNT	UDA のすべての値 (テキスト、日付、LOV) に対する一意の識別子です。	256	Character	Yes
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes

prdpimdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、パックと構成追跡レベルアイテム識別子間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、pack_idnt と item_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
PACK_IDNT	パックの一意の識別子です。	25	Character	Yes
PACK_ITEM_QTY	パックに含まれる一意のアイテムの合計数量です。	12	Number(12,4)	No
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes

prdsbcdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、クラスおよびデパートメントに含まれるサブクラスが格納されます。
- このテキストファイルは、dept_idnt、class_idnt、subclass_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SBCLASS_IDNT	サブクラスの一意的識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	クラスの一意的識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_IDNT	デパートメントの一意的識別子です。	4	Character	Yes
SBCLASS_DESC	サブクラスの名称です。	30	Character	No
SBCLASS_BUYR_IDNT	このサブクラスの商品のバイヤーの一意的識別子です。	4	Character	No
SBCLASS_BUYR_NAME	このサブクラスの商品に対するバイヤーの名前です。	32	Character	No
SBCLASS_MRCH_IDNT	このサブクラスの商品のマーチャンダイザの一意的識別子です。	4	Character	No
SBCLASS_MRCH_NAME	このサブクラスの商品に対するマーチャンダイザの名前です。	32	Character	No

prmevtdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特売イベントと関連アトリビュートが格納されます。イベントは、特売をグループ化して分析するための期間です。
- このテキストファイルは、同じ event_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
EVENT_IDNT	イベントの一意的識別子です。	10	Character	Yes
EVENT_DESC	特売イベントの名称です。	250	Character	No
THEME_DESC	特定のイベントに対する特売テーマの名称です。	30	Character	No

prmhdrdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特売責任者とそのアトリビュートが保存されます。責任者は、特売とその開始日/終了日を決定します。
- このテキストファイルは、同じ head_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。
- すべての特売 head_idnt レコードには開始日および終了日が必要です。4444-04-04 のような 'ダミー' 値でも構いません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
HEAD_IDNT	特売の一意の識別子です。	10	Character	Yes
EVENT_IDNT	イベントの一意の識別子です。	10	Character	Yes
HEAD_NAME	特売の名前です。	40	Character	No
HEAD_DESC	特売の説明です。	160	Character	No
BEG_DT	特売の開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
END_DT	特売の終了日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
THEME_DESC	特定のイベントに対する特売 テーマの名称です。	30	Character	No

prmschdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、複合特売の割引計画とそのアトリビュートが格納されます。この計画では、特売での割引方法 ("3 点購入すると 1 点無料" など) を指定します。
- このテキストファイルは、同じ schm_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。
- すべての特売 schm_idnt レコードには開始日および終了日が必要です。4444-04-04 のような 'ダミー' 値でも構いません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SCHM_IDNT	特売計画の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SCHM_TYPE_CDE	ミックスマッチ、スレッシュ ホールド、マルチユニット、標 準のいずれの特売であるかを示 します。	4	Character	Yes
HEAD_IDNT	特売の一意の識別子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SCHM_DESC	特売計画の説明です ("1 点購入すると 1 点無料" など)。	30	Character	No
SCHM_TYPE_DESC	特売計画のタイプ (ミックス マッチ、スレッシュホールド、 マルチユニット、標準) の完全 な識別子です。	30	Character	No
THEME_DESC	特売テーマの名称です。	30	Character	No
BEG_DT	特売の開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
END_DT	特売の終了日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes

regngrpdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、地域特性グループの情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `regionality_grp_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
REGIONALITY_GRP_IDNT	地域特性グループの一意的識別子です。	4	Character	Yes
REGIONALITY_GRP_DESC	地域特性グループの名称です。	40	Character	No
REGIONALITY_GRP_ROLE_CDE	この地域特性グループに割り当てられた役割です。	6	Character	No
REGIONALITY_GRP_ROLE_DESC	この地域特性グループに割り当てられた役割の名称です。	40	Character	No

regnmtxdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、地域特性グループ、デパートメント、ロケーション、取引先間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、`regionality_grp_idnt`、`loc_idnt`、`supp_idnt`、`dept_idnt` の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
REGIONALITY_GRP_IDNT	特定のエレメントにアクセスしたユーザグループ ID の一意の識別子です。	4	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるかウェアハウスであるかを示すコードです。	2	Character	Yes
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DEPT_IDNT	デパートメントの一意の識別子です。	4	Character	Yes

rgstrdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、レジ情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ rgstr_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes

rsndm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、理由ディメンションの理由クラス、タイプ、コードが格納されます。在庫調整、ベンダー返品、失効、売上など、さまざまな種類のトランザクションの理由とコードを保持できます。理由クラスに、各種の理由を定義することにより、対応するタイプとコードをそのクラスの下に定義することができます。
- このテキストファイルは、reasn_code_idnt、reasn_type_idnt、reasn_class_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_CLASS_IDNT	理由クラスの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_CODE_DESC	理由コードの名称です。	40	Character	No
REASN_TYPE_DESC	理由タイプの名称です。	40	Character	No
REASN_CLASS_DESC	理由クラスの名称です。	40	Character	No

seasndm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、シーズンが格納されます。シーズンとは、小売業者が売買のパターンを規定した任意の期間です。すべての日は、いずれか1つのシーズンに属します。
- このテキストファイルは、同じ seasn_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SEASN_IDNT	シーズンの一意の識別子です。	3	Character	Yes
SEASN_START_DT	シーズンの開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
SEASN_END_DT	シーズンの終了日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
SEASN_DESC	シーズンの名称です。	30	Character	No

subtrantypedm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、サブトランザクションタイプのレコードが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ sub_tran_type_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SUB_TRAN_TYPE_IDNT	サブトランザクションタイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
SUB_TRAN_TYPE_DESC	サブトランザクションタイプの名称です。	40	Character	No

supctrdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先契約情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ cntret_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CNTRCT_IDNT	契約の一意の識別子です。	6	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
STATUS_CDE	この契約のステータスを表すコードです。	1	Character	Yes
CNTRCT_BEG_DT	契約の開始日です。		Date (YYYY MMDD)	No
CNTRCT_END_DT	契約の終了日です。		Date (YYYY MMDD)	No
CNTRCT_DIST	商品を取引先から集荷し、小売業者に配送する流通業者の名称です。	40	Character	No
CNTRCT_SHIP_MTHD_CDE	契約に関連付けられた出荷方法を表すコードです。	4	Character	No
CNTRCT_SHIP_MTHD_DESC	契約に関連付けられた出荷方法の名称です。	30	Character	No
STATUS_DESC	契約ステータスの名称です。	30	Character	No

supsupdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先ごとのレコードが格納され、取引先に関連するアトリビュートの詳細が保持されます。
- このテキストファイルは、同じ supp_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes
SUPP_DESC	ベンダーの説明または名前です。	40	Character	Yes
SUPP_QC_RQRD_IND	この取引先からの入荷の品質を管理する必要があるかどうかを示します。	1	Character	No
SUPP_PRE_MARK_IND	この取引先によって供給されたアイテムが、事前にマークされるかどうかを示します。	1	Character	No
SUPP_PRE_TICKET_IND	取引先によって商品が事前にマークされる、または価格変更されるかどうかを示します。	1	Character	No
SUPP_STTS_CDE	取引先の経営状態が良好かどうかを示すコードです。	2	Character	No
SUPP_STTS_DESC	ステータスコードの名称です。	30	Character	No
SUPP_EDI_IND	取引先に EDI 機能があるかどうかを示します。	1	Character	No
SUPP_DOMESTIC_CDE	取引先の国内コードです。	1	Character	No
SUPP_DOMESTIC_DESC	取引先の国内コードの名称です。	30	Character	No
SUPP_CRNCY_CDE	取引先が使用する通貨を表すコードです。	3	Character	No
SUPP_CRNCY_DESC	取引先の通貨コードの名称です。	30	Character	No
SUPP_VMI_IND	取引先がベンダー主導型在庫管理かどうかを示します。	1	Character	No

suptrmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルは、取引先と取引先特性間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、`supp_trait_idnt` と `supp_idnt` の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SUPP_TRAIT_IDNT	取引先特性の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes

suptrtdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先特性情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `supp_trait_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SUPP_TRAIT_IDNT	取引先特性の一意的識別子です。	10	Character	Yes
MAST_SUPP_FLAG	この特性がマスター取引先特性であるかどうかを示すフラグです。有効な値は "Y" と "N" です。	1	Character	Yes
SUPP_TRAIT_DESC	取引先特性の名称です。	30	Character	No
MAST_SUPP_CDE	この取引先特性がマスター取引先の特性である場合、このフィールドには、マスター取引先の番号が保持されます。	10	Character	No

time_13.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、会計暦年の月ごとに 1 つの行が含まれます。
- このテキストファイルは、同じ年、四半期、月に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
年	13 期間による会計暦年です。	4	Number (YYYY)	Yes
四半期	13 期間の会計四半期です。 有効な値は 1 ～ 4 です。	1	Number (Format: Q)	Yes
月 (期間)	13 期間による会計期間です。 有効な値は 1 ～ 13 です。	2	Number (Format: MM)	Yes
月の最初の日付	グレゴリオ暦の日付です (2002 年 1 月 1 日の場合は 20020101 など)。		Date (YYYY MMDD)	Yes
週数	4 週間の月か 5 週間の月かによって、4 または 5 のいずれかが保持されます。	1	Number(1)	Yes

time_454.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、会計暦年の月ごとに1つの行が含まれます。
- このテキストファイルは、同じ年と月に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
年	454 会計暦年における年です。	4	Number (YYYY)	Yes
月	会計暦年における月です。たとえば、1 月の場合は 1 に、12 月の場合は 12 のようになります。	2	Number (MM)	Yes
月の最初の日付	グレゴリオ暦の日付です (2002 年 1 月 1 日の場合は 20020101 など)。		Date (YYYY MMDD)	Yes
週数	4 週間の月か 5 週間の月かによって、4 または 5 のいずれかが保持されます。	1	Number(1)	Yes
月の名称	カレンダー月の名称です (1 月、2 月など)。	30	Character	Yes

tndrtypedm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、入札タイプとその親の入札タイプグループが格納されます。
- このテキストファイルは、tndr_type_id_idnt と tndr_type_grp_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
TNDR_TYPE_GRP_IDNT	入札タイプグループの一意の識別子です。入札タイプグループの例としては、キャッシュ、小切手、クレジットカードが挙げられます。	6	Character	Yes
TNDR_TYPE_ID_IDNT	入札タイプ ID の一意の識別子です。入札タイプ ID の例としては、Discover Card、Master Card、Visa などが挙げられます。	6	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
TNDR_TYPE_GRP_DESC	入札タイプグループの名称です。名称の例としては、クレジットカード、キャッシュ、小切手などが挙げられます。	40	Character	No
TNDR_TYPE_ID_DESC	入札タイプ ID の説明です (Master Card、Visa Gold、American Express Corporate など)。	40	Character	No
CASH_EQUIV_FLAG	現金同価値インジケータです。	1	Character	No

ttltypdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ユーザ定義の合計が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `total_type_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
TOTAL_TYPE_IDNT	調整される合計の一意の識別子です。	10	Character	Yes
TOTAL_TYPE_DESC	合計タイプの名称です。	255	Character	Yes

wkday.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、単一のレコードが格納されます。このレコードは、週初日の曜日の名称を表示します。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
週日の名称	会計週の初日を表します (月曜日または日曜日など)。週の最初の曜日は、国によって異なる場合がありますことに注意してください。	30	Character	Yes

読み込み専用

custacctdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、顧客とアカウント番号との関係が格納されます。これにより、アカウント番号を特定の顧客にリンクすることができます。同じアカウントを持つ顧客が 2 人いる場合、このファイルには、最初にそのアカウントを取得した顧客だけを格納できます。
- このテキストファイルは、cust_idnt、acct_nbr、acct_type_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CUST_IDNT	顧客の一意の識別子です。	15	Character	Yes
ACCNT_NBR	顧客のアカウント番号です (当座預金、クレジットカード、ロイヤルティカードのアカウントなど)。	30	Character	Yes
ACCNT_TYPE_IDNT	アカウントタイプの一意の識別子です。	3	Character	Yes
ACCNT_TYPE_DESC	アカウントタイプの名称です (当座預金、VISA、Master カードなど)。	30	Character	Yes
ACCNT_GRP_IDNT	アカウントグループの一意の識別子です。	3	Character	Yes
ACCNT_GRP_DESC	アカウントグループの名称です (クレジットカード、ロイヤルティカードなど)。	30	Character	Yes

custclstrdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、すべての顧客クラスとその説明が格納されます。このデータは外部ソースから取り込む必要があります。
- このテキストファイルは、同じ cust_clstr に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CUST_CLSTR_KEY	CUST クラスタの一意のキー です。	4	Number(4)	Yes
CUST_CLSTR_DESC	この顧客クラスタの説明または 名前です。	30	Character	No
CUST_IDNT	顧客の一意の識別子です。	15	Character	Yes

custclstrimdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルは、追跡レベルアイテムと顧客クラスタ間の関連付けを定義します。
- このテキストファイルは、`cust_clstr_key` と `item_idnt` の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CUST_CLSTR_KEY	CUST クラスタの一意のキー です。	4	Number(4)	Yes
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes

custdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、顧客の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `cust_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CUST_IDNT	顧客の一意の識別子です。	15	Character	Yes
CUST_FIRST_NAME	顧客の名です。	40	Character	Yes
CUST_LAST_NAME	顧客の姓です。	40	Character	Yes
CUST_MIDDLE_NAME	顧客のミドルネームのイニシャル です。	40	Character	No
CUST_TITLE	個人の名前の前に付く呼称 です。たとえば、Mr.、Ms.、 Mrs.、Dr などがあります。	12	Character	No
CUST_SUFFIX	個人の名前の後に付く称号 (Jr.、Sr. など) です。	12	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CUST_LAST_NAME_MATERNAL	顧客の母方の姓です。	40	Character	No
CUST_LAST_NAME_PATERNAL	顧客の父方の姓です。	40	Character	No
CUST_HOME_ADDR_1	顧客自宅住所の 1 行目 (番地など) です。	30	Character	No
CUST_HOME_ADDR_2	顧客自宅住所の 2 行目 (アパート名など) です。	30	Character	No
CUST_HOME_CITY	顧客の自宅所在地の市です。	25	Character	No
CUST_HOME_COUNTY	顧客の自宅所在地の郡です。	30	Character	No
CUST_HOME_ST_OR_PRVNC_CDE	顧客の勤務先の国コードです。	3	Character	No
CUST_HOME_ST_OR_PRVNC_DESC	顧客の自宅所在地の都道府県です。	80	Character	No
CUST_HOME_CNTRY_CDE	顧客の自宅所在地の国コードです。	3	Character	No
CUST_HOME_PSTL_CDE	郵便サービスなどで顧客の自宅所在地のエリアを識別するためのコードです。	10	Character	No
CUST_HOME_PSTL_CDE_4	顧客の自宅所在地のエリアをより具体的に特定するための、拡張された郵便番号です。	4	Character	No
CUST_WORK_ADDR_1	顧客の勤務先住所の 1 行目 (番地など) です。	30	Character	No
CUST_WORK_ADDR_2	顧客の勤務先住所の 2 行目 (アパート名など) です。	30	Character	No
CUST_WORK_CITY	顧客の勤務先所在地の市です。	25	Character	No
CUST_WORK_COUNTY	顧客の勤務先所在地の郡です。	30	Character	No
CUST_WORK_ST_OR_PRVNC_CDE	顧客の勤務先所在地の都道府県コードです。	3	Character	No
CUST_WORK_ST_OR_PRVNC_DESC	顧客の勤務先所在地の都道府県です。	80	Character	No
CUST_WORK_CNTRY_CDE	顧客の勤務先所在地の国コードです。	3	Character	No
CUST_WORK_PSTL_CDE	郵便サービスなどで顧客の勤務先所在地のエリアを識別するためのコードです。	10	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CUST_WORK_PSTL_ CDE_4	顧客の勤務先所在地のエリアを より具体的に特定するための、 拡張された郵便番号です。	4	Character	No
CUST_HOME_PHONE	顧客の自宅電話番号です。	30	Character	No
CUST_WORK_PHONE	顧客の勤務先電話番号です。	30	Character	No
CUST_FAX	顧客の FAX 番号です。	30	Character	No
CUST_EMAIL	顧客の E-Mail アドレスです。	80	Character	No
CUST_HOME_MAIL_ ALLWD_IND	マーケティング情報を顧客の自 宅に送付することをその顧客自 身が許可しているかどうかを示 すインジケータです。	1	Character	No
CUST_HOME_PHONE_ ALLWD_IND	マーケティング情報を顧客の自 宅の電話を介して提供すること をその顧客自身が許可している かどうかを示すインジケータ です。	1	Character	No
CUST_WORK_MAIL_ ALLWD_IND	マーケティング情報を顧客の勤 務先に送付することをその顧客 自身が許可しているかどうかを 示すインジケータです。	1	Character	No
CUST_WORK_PHONE_ ALLWD_IND	マーケティング情報を顧客の勤 務先の電話を介して提供すること をその顧客自身が許可して いるかどうかを示すインジ ケータです。	1	Character	No
CUST_FAX_ALLWD_ IND	マーケティング情報を FAX を 介して提供することをその顧客 自身が許可しているかどうかを 示すインジケータです。	1	Character	No
CUST_EMAIL_ ALLWD_IND	マーケティング情報を E-Mail で 送信することをその顧客自身が 許可しているかどうかを示すイ ンジケータです。	1	Character	No
CUST_DT_OF_BIRTH	顧客の誕生日です。		Date (YYYY MMDD)	No
CUST_OCCPN	顧客の職業です。	64	Character	No
CUST_INCOME	顧客の年収です。	18	Number(18,4)	No
CUST_HH_SIZE	何人家族かを示します。	2	Number(2)	No
CUST_CHILD_QTY	顧客の子供の人数です。	2	Number(2)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CUST_MARITAL_CDE	顧客の未婚/既婚を識別するコードです。	12	Character	No
CUST_MARITAL_DESC	顧客の未婚/既婚の説明です。	80	Character	No
CUST_GENDER_CDE	顧客の性別を識別するコードです。	12	Character	No
CUST_GENDER_DESC	顧客の性別の説明です。	80	Character	No
CUST_ETHNIC_CDE	顧客の民族性を識別するコードです。	12	Character	No
CUST_ETHNIC_DESC	顧客の民族です。	80	Character	No
CUST_STTS_CDE	顧客のステータスを識別するコードです。	15	Character	No
CUST_STTS_DESC	顧客のステータス (有効/無効など) です。	160	Character	No
CUST_TAX_IDNT	政府機関が課税を目的として顧客に割り当てる一意の識別子です。	30	Character	No
CUST_LEGAL_IDNT	政府機関が顧客に割り当てる一意の識別子であり、社会保障番号など、顧客の法的身分を識別するために使用されます。	20	Character	No
CUST_LEGAL_DESC	社会保障番号など、法的身分のタイプを表します。	160	Character	No
CUST_ST_IDNT	都道府県機関が顧客に割り当てる識別子です。これには、運転免許番号が使用される場合があります。	20	Character	No
CUST_TYPE_IDNT	顧客のタイプに対する一意の識別子です。	15	Character	No
CUST_TYPE_DESC	顧客のタイプの説明です (従業員または流通業者など)。	160	Character	No
CUST_EXT_STRAT_IDNT	対外戦略 (顧客の獲得方法) を示す一意の識別子です。	15	Character	No

geocdedm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、各種の地区コードが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ geo_cde_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
GEO_CDE_IDNT	地区の一意的識別子です。	10	Character	Yes
GEO_CDE_DESC	地区の名称です。	30	Character	No
GEO_AGE	地区の平均年齢です。	4	Number(4,1)	No
GEO_ANCESTRY_CDE	地区の家系コードです。	4	Character	No
GEO_ANCESTRY_CDE_DESC	家系コードの名称です。	30	Character	No
GEO_AUTO_AVAIL_NBR	自動番号です。	3	Number(3,1)	No
GEO_COMMUTE_TIME	地区の平均通勤時間です。	5	Number(5,2)	No
GEO_EDU_LVL_CDE	地区の教育レベルです。	4	Character	No
GEO_EDU_LVL_CDE_DESC	平均教育レベルの説明です。	30	Character	No
GEO_FAMILY_TYPE_CDE	地区の家族タイプコードです。	4	Character	No
GEO_FAMILY_TYPE_CDE_DESC	家族タイプコードの名称です。	30	Character	No
GEO_HOME_NBR_ROOMS	家屋の平均部屋数です。	4	Number(4,1)	No
GEO_HOUSEHOLD_INCOME	地区における平均世帯主所得です。	15	Number(15)	No
GEO_HOUSING_VALUE	地区の平均住宅価格です。	15	Number(15)	No
GEO_INDUSTRY_CDE	地区における産業タイプのコードです。	4	Character	No
GEO_INDUSTRY_CDE_DESC	産業コードの名称です。	30	Character	No
GEO_MALE_TO_FEMALE_RAT	地区の男女比率です。	12	Number(12,4)	No
GEO_PER_CAPITA_INCOME	地区の地区平均所得です。	15	Number(15)	No
GEO_PERSONS_TOT	地区の総人口です。	12	Number(12)	No
GEO_POVERTY_TOT	地区の合計貧困数です。	9	Number(9)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
GEO_RENT_TO_OWN_RAT	借家と持家の比率です。	12	Number(12,4)	No
GEO_RETIREMENT_INCOME	地区における平均定年退職所得です。	15	Number(15)	No
GEO_URBAN_TO_RURAL_RAT	地区における都市/郊外比率です。	12	Number(12,4)	No
GEO_YR_HOME_BUILT	地区における平均築家屋年度です。	4	Number(4)	No

itmclstrcmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、顧客とアイテムクラスタの関係が格納されます。
- このテキストファイルは、item_clstr_key と cust_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_CLSTR_KEY	アイテムクラスタの一意のキーです。	4	Number(4)	Yes
CUST_IDNT	顧客の一意の識別子です。	15	Character	Yes

maralmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロケーションと市場データ間の関連付けが格納されます。
- このテキストファイルは、loc_idnt、mkt_area_level1_idnt、mkt_area_level2_idnt、mkt_area_level3_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL3_IDNT	市場エリアレベル 3 の一意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL2_IDNT	市場エリアレベル 2 の一意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL1_IDNT	市場エリアレベル 1 の一意の識別子です。	16	Character	Yes

maralvldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、市場エリアレベル情報が格納されます。
- このテキストファイルは、mkt_area_level1_idnt、mkt_area_level2_idnt、mkt_area_level3_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
MKT_AREA_LEVEL3_IDNT	市場エリアレベル 3 の一意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL2_IDNT	市場エリアレベル 2 の一意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL1_IDNT	市場エリアレベル 1 の一意の識別子です。	16	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL3_DESC	市場レベル 3 の名称です。	30	Character	No
MKT_AREA_LEVEL2_DESC	市場レベル 2 の名称です。	30	Character	No
MKT_AREA_LEVEL1_DESC	市場レベル 1 の名称です。	30	Character	No

mdepdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、市場部門が格納されます。
- このテキストファイルは、同じ mkt_dept_idnt に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
MKT_DEPT_IDNT	市場部門の一意の識別子です。	13	Character	Yes
MKT_DEPT_DESC	市場部門の名称です。	30	Character	No
OWNED_FLAG_IND	所有部門を示します。	1	Character	Yes

mitmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、市場アイテムが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `mkt_item_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
MKT_ITEM_IDNT	市場アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
MKT_DEPT_IDNT	市場部門の一意の識別子です。	13	Character	Yes
MKT_ITEM_DESC	市場アイテムの名称です。	40	Character	No
MKT_DEPT_DESC	市場部門の名称です。	30	Character	No
VENDOR_NAME	市場アイテムのベンダー/メーカーです。	30	Character	No
BRAND_NAME	市場アイテムのブランドラベルです。	30	Character	No
FLAVOR_SCENT	市場アイテムの風味または香りです。	30	Character	No
MKT_ITEM_SIZE	市場アイテムのサイズです。	10	Character	No
PROD_TYPE	商品の分類です。	20	Character	No
PACK_TYPE	市場アイテムのパッケージタイプです。	20	Character	No
GENERATION_CDE	UPC が改訂されたかどうかを示す 3 桁の識別子です。	3	Character	No
OWNED_FLAG_IND	所有アイテムを示します。	1	Character	Yes

plnsendm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、計画シーズンが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ `pln_seasn_idnt` に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
PLN_SEASN_IDNT	計画シーズンの一意の識別子です。	6	Character	Yes
PLN_SEASN_START_DT	計画シーズンの開始日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PLN_SEASN_END_DT	計画シーズンの終了日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PLN_SEASN_DESC	計画シーズンの名称です。	30	Character	Yes

prditmclstrdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムクラスタが格納されます。
- このテキストファイルは、同じ item_clstr_key に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_CLSTR_KEY	アイテムクラスタの一意のキーです。	4	Number(4)	Yes
ITEM_CLSTR_DESC	アイテムクラスタの名称です。	30	Character	No
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes

timelastyrbydaylfldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、今年の特定の曜日と、前年の対応する曜日との間のユーザ定義の関係が格納されますたとえば、実際の日付に関係なく、今年の特定の月の第3月曜日と、昨年と同じ月の第3月曜日とを対応付けることがあります。また、別の例としては、今年の大晦日と、昨年の大晦日とを対応付けることもあります。
- このテキストファイルは、インストール時にのみ使用されます。
- このテキストファイルは、day_idnt と last_yr_lfl_day_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DAY_IDNT	日付を表す一意の数値です。	7	Number(7)	Yes
LAST_YR_LFL_DAY_IDNT	今年の日付に対応する昨年の曜日を表す一意の数値です。	7	Number(7)	Yes

timelastyrbywkfldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、今年の特定の週と、前年の対応する週との間のユーザ定義の関係が格納されます。たとえば、今年のイースターの前の週と、昨年におけるイースターの前の週とを対応づけることがあります。
- このテキストファイルは、インストール時にのみ使用されます。
- このテキストファイルは、wk_idnt と last_yr_lfl_wk_idnt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
WK_IDNT	週を表す一意の数値です。	6	Number(6)	Yes
LAST_YR_LFL_WK_IDNT	今年の週に対応する昨年の週を表す一意の数値です。	6	Number(6)	Yes

vchragebandm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、証票日付帯ごとに 1 つの行が含まれます。証票日付ディメンションは、引換時に、有効期間に基づいて商品券/証票を分類するための静的日付帯ディメンションを提供します。各日付帯は、カレンダー日で表された、クライアント定義の有効日数範囲です。証票有効期間は当該日付帯決定に使用されます。
- 複数の証票日付帯が重なってはいけません。たとえば、証票日付帯 1 の最小値と最大値がそれぞれ 12 と 20 の場合、次の日付帯の最小値は 21 とし、最大値は 21 と等しいか、それ以上でなければなりません。
- このテキストファイルは、RDW のインストール時にのみ使用されます。
- このテキストファイルは、同じ VCHR_AGE_BAND_KEY に対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
VCHR_AGE_BAND_KEY	証票が該当する日付帯の一意の識別子です。	6	Number(6)	Yes
VCHR_AGE_BAND_MIN	証票日付帯の最小期間をカレンダー日の日数で表します。日付帯には、上限と下限の値も含まれます。たとえば、日付帯の最小と最大がそれぞれ 12 と 20 の場合、12 から 20 までのすべての証票がこの日付帯に属することになります。	6	Number (番号)	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
VCHR_AGE_BAND_MAX	証票日付帯の最大期間をカレンダー日の日数で表します。日付帯には、上限と下限の値も含まれます。	6	Number (番号)	Yes
VCHR_AGE_BAND_DESC	証票日付帯の名称です。	30	Character	No

ファクト

抽出および読み込み

cmptrprclddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、クライアントロケーション、競争業者ロケーション、およびアイテムの組み合わせに対する競争業者の価格変更ファクトが格納されます。このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、cmptr_loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CMPTR_LOC_IDNT	競争業者店舗の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_CMPTR_UNIT_RTL_AMT	特定のアイテムに対する競争業者の売単価です。既定通貨で格納されます。	18	Number(18,4)	No
F_CMPTR_UNIT_RTL_AMT_LCL	特定のアイテムに対する競争業者の売単価です。ローカル通貨で格納されます。	18	Number(18,4)	No
F_CMPTR_MULTI_UNIT_RTL_AMT	特定のアイテムに対する競争業者のマルチユニット売価額です。既定通貨で格納されます。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_CMPTR_MULTI_UNIT_RTL_AMT_LCL	特定のアイテムに対する競争業者のマルチユニット売価額です。ローカル通貨で格納されます。	18	Number(18,4)	No
RTL_TYPE_CDE	売価タイプが通常、特売、クリアランスのいずれであるかを示すコードです。	2	Character	Yes
OFFER_TYPE_CDE	この非集合型フィールドは、競争業者の特売売価のオフertypeコードを識別します。有効な値には、1='Coupon'、2='Mailer' などがあります。	6	Character	No
MULTI_UNITS_QTY	この非集合型フィールドは、特定のアイテムの F_CMPTR_UNIT_RTL_AMT に関連付けられたマルチユニットを識別します。	12	Number(12,4)	No

cstislddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテム、取引先、ロケーションの組み合わせの原価情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、supp_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_BASE_COST_AMT	既定通貨による原価高です。	18	Number(18,4)	No
F_BASE_COST_AMT_LCL	ローカル通貨による原価高です。	18	Number(18,4)	No

exchngratedm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、為替通貨レート情報が格納されます。
- このテキストファイルは、crncy_cde_idnt と day_dt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CRNCY_CDE_IDNT	通貨コードの一意の識別子です。たとえば、USD は、US ドルに対応するローカル通貨コードです。	10	Character	Yes
DAY_DT	為替レートが有効になった日付のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_EXCHNG_RATE	現在の為替通貨レートです。	18	Number(18,4)	Yes

invilddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテムとロケーションの組み合わせについて、特定の日付の終了時における在庫レベルと在庫状況が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するレコードを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるかウェアハウスであることを示すコードです。	2	Character	Yes
RTL_TYPE_CDE	売価タイプが通常、特売、クリアランスのいずれであることを示すコードです。	2	Character	Yes
F_I_SOH_QTY	手持ち在庫数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_SOH_COST_AMT	加重平均原価 (既定通貨) × 現在の手持ち在庫数です。	18	Number(18,4)	No
F_I_SOH_COST_AMT_LCL	加重平均原価 (ローカル通貨) × 現在の手持ち在庫数です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_I_SOH_RTL_AMT	売単価 (既定通貨)×現在の手持ち在庫数です。	18	Number(18,4)	No
F_I_SOH_RTL_AMT_LCL	売単価 (ローカル通貨)×現在の手持ち在庫数です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ON_ORD_QTY	発注中の在庫数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_ON_ORD_COST_AMT	既定通貨で表した発注中在庫の平均原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ON_ORD_COST_AMT_LCL	ローカル通貨で表した発注中在庫の平均原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ON_ORD_RTL_AMT	既定通貨で表した発注中在庫の売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ON_ORD_RTL_AMT_LCL	ローカル通貨で表した発注中在庫の売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_IN_TRNST_QTY	移動中の在庫数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_IN_TRNST_COST_AMT	既定通貨で表した移動中の在庫の原価総額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_IN_TRNST_COST_AMT_LCL	ローカル通貨で表した移動中の在庫のローカル原価総額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_IN_TRNST_RTL_AMT	既定通貨で表した移動中在庫の売価額の合計です。	18	Number(18,4)	No
F_I_IN_TRNST_RTL_AMT_LCL	ローカル通貨で表した移動中在庫の売価額の合計です。	18	Number(18,4)	No
F_I_REPL_ACTV_FLAG	このレコードの期間終了日が補充の有効な日にあるか、無効な日にあるかを示すフラグです。	1	Character	No
F_I_REPL_CALC_MTHD_CDE	この列には、補充方法のコードの値が保持されています。	2	Character	No
F_I_MIN_SOH_QTY	手持ち在庫の最小数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_MIN_SOH_COST_AMT	既定通貨で表した手持ち在庫の平均原価額の最小値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MIN_SOH_COST_AMT_LCL	ローカル通貨で表した手持ち在庫の平均原価額の最小値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MIN_SOH_RTL_AMT	既定通貨で表した手持ち在庫の売価額の最小値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MIN_SOH_RTL_AMT_LCL	ローカル通貨で表した手持ち在庫の売価額の最小値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MAX_SOH_QTY	手持ち在庫の最大数量です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_I_MAX_SOH_COST_AMT	既定通貨で表した手持ち在庫の平均原価額の最大値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MAX_SOH_COST_AMT_LCL	ローカル通貨で表した手持ち在庫の平均原価額の最大値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MAX_SOH_RTL_AMT	既定通貨で表した手持ち在庫の売価額の最大値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_MAX_SOH_RTL_AMT_LCL	ローカル通貨で表した手持ち在庫の売価額の最大値です。	18	Number(18,4)	No
F_I_INCR_PCT	この列には、補充増加率または複数の値が保持されています。この列は補充計算に使用します。	12	Number(12,4)	No
F_I_COST_AMT	既定通貨で表した在庫の加重平均原価です。	18	Number(18,4)	No
F_I_COST_AMT_LCL	ローカル通貨で表した在庫の加重平均原価です。	18	Number(18,4)	No
F_I_STD_COST_AMT	仕入れた最新アイテムの原価(既定通貨)です。原価法決算を使用している場合、この値を使用して原単価の差を反映します。	18	Number(18,4)	No
F_I_STD_COST_AMT_LCL	仕入れた最新アイテムの原価(ローカル通貨)です。原価法決算を使用している場合、この値を使用して原単価の差を反映します。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTL_AMT	既定通貨で表した企業単位の仕入れ価格です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTL_AMT_LCL	ローカル通貨で表した企業単位の仕入れ価格です。	18	Number(18,4)	No
F_I_AGED_30_60_QTY	このファクトを使用して、この日のこのロケーションで 30 ～ 60 日経過した在庫の数量を記録します。	12	Number(12,4)	No
F_I_AGED_61_90_QTY	このファクトを使用して、この日のこのロケーションで 61 ～ 90 日経過した在庫の数量を記録します。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_I_AGED_91_120_QTY	このファクトを使用して、この日のこのロケーションで 91 ～ 120 日経過した在庫の数量を記録します。	12	Number(12,4)	No
F_I_AGED_121_QTY	このファクトを使用して、この日のこのロケーションで 121 日以上経過した在庫の数量を記録します。	12	Number(12,4)	No
F_I_SLS_ADMN_COST_AMT	このファクトを使用して、アイテム、ロケーション、日の関係に関する、売上原価およびアドミニストレーション原価の追加情報を格納できます。	18	Number(18,4)	No
F_I_DIST_COST_AMT	このファクトを使用して、アイテム、ロケーション、日の関係に関する、サプライチェーン原価の追加情報を格納できます。	18	Number(18,4)	No

ivailddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテム、取引先、ロケーション、理由の組み合わせに対応する在庫調整データが格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、reason_type_idnt、reason_cde_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるかウェアハウスであるかを示すコードです。	2	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_ADJ_QTY	手持ち在庫の合計調整数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_ADJ_COST_AMT	既定通貨で表したすべての手持ち在庫の調整の原価額です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_I_ADJ_COST_AMT_LCL	ローカル通貨で表したすべての手持ち在庫の調整の原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ADJ_RTL_AMT	既定通貨で表したすべての手持ち在庫の調整の売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_ADJ_RTL_AMT_LCL	ローカル通貨で表したすべての手持ち在庫の調整の売価額です。	18	Number(18,4)	No
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes

ivrcpiddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテムとロケーションの組み合わせごとの入荷情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_RCPTS_QTY	入荷数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_RCPTS_COST_AMT	既定通貨で表した受取原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RCPTS_COST_AMT_LCL	ローカル通貨で表した受取原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RCPTS_RTL_AMT	既定通貨で表した受取売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RCPTS_RTL_AMT_LCL	ローカル通貨で表した受取売価額です。	18	Number(18,4)	No

ivrlddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先、アイテム、ロケーションの組み合わせごとに、特定の日付に取引先に返品された在庫のデータが格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、supp_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるかウェアハウスであるかを示すコードです。	2	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_RTV_QTY	ベンダー返品在庫の数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_RTV_COST_AMT	既定通貨で表したベンダー返品在庫の原価です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTV_COST_AMT_LCL	ローカル通貨で表したベンダー返品在庫の原価です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTV_RTL_AMT	既定通貨で表したベンダー返品在庫の売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_I_RTV_RTL_AMT_LCL	ローカル通貨で表したベンダー返品在庫の売価額です。	18	Number(18,4)	No
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes

ivtilddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテム、在庫移動元ロケーション、在庫移動先ロケーションの組み合わせごとの在庫移動情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、from_loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	在庫移動のターゲットロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
FROM_LOC_IDNT	在庫移動のソースロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_TSF_QTY	在庫移動済み数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_TSF_COST_AMT	在庫移動原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_I_TSF_RTL_AMT	在庫移動売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No

ivuilddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日における、アイテムとロケーションの組み合わせごとの、無効在庫の情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_I_UNAVL_QTY	無効在庫の数量です。	12	Number(12,4)	No
F_I_UNAVL_COST_AMT	無効在庫の平均原価 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_I_UNAVL_COST_AMT_LCL	無効在庫の平均原価 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_I_UNAVL_RTL_AMT	無効在庫の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_I_UNAVL_RTL_AMT_LCL	無効在庫の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるかウェアハウスであるかを示すコードです。	2	Character	Yes

lptldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、全ロス防止トランザクションがトランザクション/ロケーション/日/分レベルで格納されます。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
TRAN_IDNT	トランザクションの一意の識別子です。	30	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日の営業日です。		Date (YYYYMMDD)	Yes
MIN_IDNT	hour_idnt の後に 1 ～ 60 の数字を続けて構成される一意の識別子で、その時間の分を示します。	4	Number(4) (HH24MI)	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
CSHR_IDNT	キャッシャの一意の識別子です。	10	Character	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_LP_AMT	ロス防止トランザクション額(既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_LP_AMT_LCL	ロス防止トランザクション額(ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_DISC_COUPON_COUNT	1回のトランザクションで使用された割引クーポンの総数です。割引クーポンは、メーカーではなく店舗が発行します。	16	Number(16,4)	No
F_DISC_COUPON_AMT	1回のトランザクションで使用された割引クーポンの総額です(既定通貨)。割引クーポンは、メーカーではなく店舗が発行します。	18	Number(18,4)	No
F_DISC_COUPON_AMT_LCL	1回のトランザクションで使用された割引クーポンの総額です(ローカル通貨)。割引クーポンは、メーカーではなく店舗が発行します。	18	Number(18,4)	No

lptotclddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ロス防止の超過/不足合計が格納されます。
- 各レコードの rgstr_idnt または cshr_idnt のいずれか一方が値を保持し、もう一方は -1 になっている必要があります。
- ターゲットテーブルで、金額が、cschr_idnt、rgstr_idnt、loc_idnt、day_dt 別に合計されます。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CSHR_IDNT	キャッシャの一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_DRAWER_OS_AMT	超過/不足金額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_DRAWER_OS_AMT_LCL	超過/不足金額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

lptotlddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ユーザ定義のロス防止の合計が格納されます。
- ターゲットテーブルで、金額が、合計タイプ、ロケーション、日付別に合計されます。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
TOTAL_TYPE_IDNT	合計のタイプの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_TOTAL_AMT	合計金額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_TOTAL_AMT_LCL	合計金額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

ncstuiddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、ネット原価情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、supp_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	原価が有効になった日付のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_SUPP_BASE_COST_AMT	アイテムの取引先基準原価額 (既定通貨) です。取引条件や割引を適用する前の初期原価です。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_BASE_COST_AMT_LCL	アイテムの取引先基準原価額 (ローカル通貨) です。取引条件や割引を適用する前の初期原価です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_SUPP_NET_COST_AMT	アイテムの取引先ネット原価 (既定通貨) です。基準原価から、小売業者による全取引条件構成を差し引いた金額です。このレベルで取引条件または割引がいつさい適用されていない場合、取引先ネット原価は、取引先基準原価に等しくなります。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_NET_COST_AMT_LCL	アイテムの取引先ネット原価 (ローカル通貨) です。基準原価から、小売業者による全取引条件構成を差し引いた金額です。このレベルで取引条件または割引がいつさい適用されていない場合、取引先ネット原価は、取引先基準原価に等しくなります。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_NET_NET_COST_AMT	アイテムの純ネット原価 (既定通貨) です。ネット原価から、小売業者による全取引条件構成を差し引いた金額 (純ネット原価) です。このレベルで取引条件または割引がいつさい適用されていない場合、取引先純ネット原価は、取引先ネット原価に等しくなります。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_NET_NET_COST_AMT_LCL	アイテムの純ネット原価 (ローカル通貨) です。ネット原価から、小売業者による全取引条件構成を差し引いた金額 (純ネット原価) です。このレベルで取引条件または割引がいつさい適用されていない場合、取引先純ネット仕入れ原価は、取引先ネット原価に等しくなります。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_SUPP_DEAD_NET_ COST_AMT	アイテムの取引先デッドネットコスト (既定通貨) です。取引条件および割引をすべて適用した後の最終原価です。純ネット原価から、小売業者による全取引条件構成を差し引いた金額 (デッドネットコスト) です。このレベルで取引条件または割引がいっさい適用されていない場合、取引先デッドネットコストは、取引先純ネット原価に等しくなります。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_DEAD_NET_ COST_AMT_LCL	アイテムの取引先デッドネットコスト (ローカル通貨) です。取引条件および割引をすべて適用した後の最終原価です。純ネット原価から、小売業者による全取引条件構成を差し引いた金額 (デッドネットコスト) です。このレベルで取引条件または割引がいっさい適用されていない場合、取引先デッドネットコストは、取引先純ネット原価に等しくなります。	18	Number(18,4)	No

prclddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテムとロケーションの組み合わせごとの価格情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるかウェアハウスであるかを示すコードです。	2	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CHNG_CDE	価格変更の理由を示すコードです。	2	Character	No
F_MULTI_UNIT_QTY	マルチユニットトランザクションを構成する単位数です。	12	Number(12,4)	No
F_UNIT_RTL_AMT	新しい売単価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_UNIT_RTL_AMT_LCL	新しい売単価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MULTI_UNIT_RTL_AMT	新しいマルチユニット売価額 (ドル) です。	18	Number(18,4)	No
F_MULTI_UNIT_RTL_AMT_LCL	新しいマルチユニット売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
SELLING_UOM_CDE	アイテム売単価の販売用 UOM を保持します。この値は集計できません。	4	Character	No
MULTI_SELLING_UOM_CDE	アイテムのマルチユニット売価の販売用 UOM を保持します。この値は集計できません。	4	Character	No

saviddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先とアイテムの組み合わせごとにまとめられた、特定の日付におけるアイテムの利用可能数量が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、supp_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	ベンダーの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_AVAIL_QTY	取引先から発注可能な在庫の数量です。	12	Number(12,4)	No

scmialddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先による不明な出荷に関するデータが、ロケーション、日付別に格納されます。
- このテキストファイルは、supp_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MISSED_ASN_COUNT	予定されていながら納品されなかった ASN (事前出荷通知) 数です。	16	Number(16,4)	No

scmiolddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先による不明な発注に関するデータが、ロケーション、日付別に格納されます。
- このテキストファイルは、supp_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MISSED_ORDER_COUNT	予定されていながら納品されなかった発注出荷数です。	16	Number(16,4)	No

scrqtlldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、入荷アイテムの数量に関する出荷情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、supp_idnt、ship_idnt、loc_idnt、day_dt、po_idnt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SHIP_IDNT	出荷の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PO_IDNT	発注の一意の識別子です。	8	Character	Yes
F_ASN_EXPECTED_QTY	予測される数量の合計です。	12	Number(12,4)	No
F_RECEIVED_QTY	合計入荷数です。	12	Number(12,4)	No
F_ORDERED_QTY	合計発注数です。	12	Number(12,4)	No
F_ASN_EXPECTED_COUNT	納品数量が予測数量と同じであった配送数です (ASN の場合のみ)。	16	Number(16,4)	No
F_ASN_UNDER_COUNT	納品数量が予測数量より少なかった配送回数です (ASN の場合のみ)。	16	Number(16,4)	No
F_ASN_OVER_COUNT	納品数量が予測数量より多かった配送数です (ASN の場合のみ)。	16	Number(16,4)	No
F_MISMATCHED_COUNT	予定外のアイテム数が納品された配送の数です。	16	Number(16,4)	No
F_FULL_PO_COUNT	予測数量がすべて納品された発注数です。	16	Number(16,4)	No
F_PART_PO_COUNT	納品された数量が予測数より少なかった発注数です。	16	Number(16,4)	No
F_OVER_PO_COUNT	納品された数量が予測数より多かった発注数です。	16	Number(16,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
PICKUP_LOC	クライアントによる集荷場所として、ユーザが入力した出荷ロケーションです。	45	Character	No
PICKUP_NBR	ユーザによって入力された、出荷の識別子です。	25	Character	No
PICKUP_DT	ユーザによって入力された集荷日付です。		Date (YYYY MMDD)	No

scrtlldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、入荷のタイムラインに関する出荷情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、supp_idnt、ship_idnt、loc_idnt、day_dt、po_idnt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SHIP_IDNT	出荷の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PO_IDNT	発注の一意の識別子です。	8	Character	Yes
F_ON_TIME_COUNT	納品された数量が予測数と同じであった配送数です。	16	Number(16,4)	No
F_EARLY_COUNT	予定時刻よりも前に届いた配送の数です。	16	Number(16,4)	No
F_LATE_COUNT	到着が予定時刻を過ぎた配送の回数です。	16	Number(16,4)	No
F_UNsched_COUNT	予定日以外に配送された回数です。	16	Number(16,4)	No
F_DAYS_EARLY_COUNT	予定日の何日前に届いたかを示します。	16	Number(16,4)	No
F_DAYS_LATE_COUNT	予定日の何日後に届いたかを示します。	16	Number(16,4)	No

sctiddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先契約情報が格納されます。
- このデータマートは、圧縮されているため、契約ファクトに対する変更内容だけがテキストファイルに格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、cntrct_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
CNTRCT_IDNT	契約の一意の識別子です。	6	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_CNTRCT_QTY	取引先から発注する契約済みの数量です。	12	Number(12,4)	No
F_CNTRCT_COST_AMT	この契約について交渉した仕入れ原単価です。	18	Number(18,4)	No
F_CNTRCT_ORD_QTY	すべてのロケーションについて契約日から指定日までに発注した数量の合計です。	12	Number(12,4)	No
F_CNTRCT_ORD_COST_AMT	すべてのロケーションについて契約日から指定日までに発注した数量の原価の総額です。	18	Number(18,4)	No
F_CNTRCT_ORD_CNCLLD_QTY	すべてのロケーションおよび発注について契約日から指定日までにキャンセルされた数量の合計です。	12	Number(12,4)	No
F_CNTRCT_ORD_CNCLLD_COST_AMT	すべてのロケーションおよび発注について契約日から指定日までにキャンセルされた数量の原価の総額です。	18	Number(18,4)	No

sfclwldm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテムとロケーションの組み合わせごとの売上予測情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、dat_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレ ンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_FCST_SLS_QTY	予測売上数量です。	12	Number(12,4)	No

sincilddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、出荷アイテムごとにインボイス原価情報が含まれます。
- このテキストファイルは、item_idnt、po_idnt、invc_idnt、supp_idnt、ship_idnt、day_dt、loc_idnt、invc_line_nbr の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
PO_IDNT	発注の一意の識別子です。	8	Character	Yes
INVC_IDNT	インボイスの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SHIP_IDNT	出荷の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	インボイスが更新された日付の カレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
INVC_LINE_NBR	アイテム-発注-取引先-日-出荷- ロケーションがまったく同じイ ンボイスのラインを区別し ます。	18	Number(18,4)	Yes
F_SUPP_INVC_COST_ AMT	既定通貨によるインボイス原価 です。	18	Number(18,4)	No
F_SUPP_INVC_COST_ AMT_LCL	ローカル通貨によるインボイス 原価です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_SUPP_INVC_QTY	インボイス上に表記されるアイテムの数量です。	12	Number(12,4)	No
SUPP_INVC_STATUS_CDE	インボイスラインアイテムのステータスです。有効な値としては、U(一致しない)、R(部分一致)、M(一致)があります。	2	Character	No

slsildmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、アイテム、ロケーション、日、分、証票、トランザクションに対する売上と返品情報が格納されます。
- RDW では、ソースシステムから受け取った tran_idnt が、ロケーション-レジ-従業員-分-日の組み合わせにおいて一意であることを想定します。2つの異なるキャッシュレジスタで、2人の別々の顧客に対し、2つの異なるトランザクションとして、同じ従業員、同じ時間(分)、同じ場所において販売された2つのアイテムは、独立した2つの tran_idnts になります。同様に、アイテム/ロケーション/日/分/レジが同一であっても、異なる従業員によってレジに打ち込まれた場合は、2つの異なる tran_idnts になります。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
TRAN_IDNT	トランザクションの一意の識別子です。	30	Character	Yes
VCHR_IDNT	証票の一意の識別子です。アイテムが商品券である場合は、対応するアイテム番号が VCHR_IDNT になります。これはディメンションアトリビュートとしてではなく、レコードを一意に識別するために使用されます。	16	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日の営業日です。	8	Date (YYYY MMDD)	Yes
MIN_IDNT	hour_idnt の後に 1 ~ 60 の数字を続けて構成される一意の識別子で、その時間の分を示します。	4	Number(4) (HHMM)	Yes
OVERRIDE_REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
OVERRIDE_REASON_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
HEAD_IDNT	特売の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SCHM_IDNT	特売計画の一意の識別子です。特売のタイプに該当する番号 (ミックスマッチ、スレッシュホールド、マルチユニット、標準など) を識別します。アイテム-デパートメント特売の場合は、schm_idnt を必ず -2 にする必要があります。	6	Character	Yes
CUST_REF	トランザクションに関連付けられた顧客の識別子です。	20	Character	Yes
CUST_REF_TYPE	顧客が使用する識別子番号のタイプです。	6	Character	Yes
EMPLY_IDNT	従業員の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SLSPRSN_IDNT	販売員の一意の識別子です。	10	Character	Yes
CSHR_IDNT	キャッシャの一意の識別子です。	10	Character	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
REASN_CODE_IDNT	理由コードの一意の識別子です。	6	Character	Yes
REASN_TYPE_IDNT	理由タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
SUB_TRAN_TYPE_IDNT	サブトランザクションタイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
RTL_TYPE_CDE	売価タイプが通常、特売、クリアランスのいずれであるかを示すコードです。	2	Character	Yes
F_SLS_AMT	売上高 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_AMT_LCL	売上高 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_QTY	売り上げに含まれるアイテム数です。	12	Number(12,4)	No
F_SLS_PRFT_AMT	売上の利益額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_SLS_PRFT_AMT_LCL	売上の利益額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_AMT	返品 of 金額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_AMT_LCL	返品 of 金額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_QTY	返品 of アイテム数です。	12	Number(12,4)	No
F_RTRN_PRFT_AMT	返品 of 利益額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_PRFT_AMT_LCL	返品 of 利益額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_ENTER_ITEM_COUNT	キャッシュがアイテムの売上を手動で入力した回数です。	16	Number(16,4)	No
F_SLS_SCAN_ITEM_COUNT	キャッシュがアイテムを売上としてスキャンした回数です。	16	Number(16,4)	No
F_RTRN_ENTER_ITEM_COUNT	キャッシュがアイテムの返品を手動で入力した回数です。	16	Number(16,4)	No
F_RTRN_SCAN_ITEM_COUNT	キャッシュがアイテムを返品としてスキャンした回数です。	16	Number(16,4)	No
F_SLS_IS_MKUP_COUNT	店舗内で値入された売上トランザクションの数です。	16	Number(16,4)	No
F_SLS_IS_MKDN_COUNT	店舗内で値下げされた売上トランザクションの数です。	16	Number(16,4)	No
F_RTRN_IS_MKUP_COUNT	店舗内で値入された返品トランザクションの数です。	16	Number(16,4)	No
F_RTRN_IS_MKDN_COUNT	店舗内で値下げされた返品トランザクションの数です。	16	Number(16,4)	No
F_SLS_IS_MKUP_AMT	売上トランザクションの合計店舗内値入額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_IS_MKUP_AMT_LCL	売上トランザクションの合計店舗内値入額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_IS_MKUP_AMT	返品トランザクションの合計店舗内値入額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_IS_MKUP_AMT_LCL	返品トランザクションの合計店舗内値入額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_IS_MKDN_AMT	売上トランザクションの合計店舗内値下げ額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_SLS_IS_MKDN_AMT_LCL	売上トランザクションの合計店舗内値下げ額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_IS_MKDN_AMT	返品トランザクションの合計店舗内値下げ額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_IS_MKDN_AMT_LCL	返品トランザクションの合計店舗内値下げ額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_EMPTY_DISC_AMT	売上トランザクションでの合計従業員割引額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_EMPTY_DISC_AMT_LCL	売上トランザクションでの合計従業員割引額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_EMPTY_DISC_AMT	返品トランザクションでの合計従業員割引額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_EMPTY_DISC_AMT_LCL	返品トランザクションでの合計従業員割引額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_VAT_AMT	売上の付加価値税額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_SLS_VAT_AMT_LCL	売上の付加価値税額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_VAT_AMT	返品の付加価値税額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_RTRN_VAT_AMT_LCL	返品の付加価値税額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

slsmkdnlddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日付における、アイテム、ロケーション、小売タイプの組み合わせごとの売上値下げ情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、rtl_type_cde、head_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
RTL_TYPE_CDE	売価タイプが通常、特売、クリ アランスのいずれであるかを 示すコードです。	2	Character	Yes
HEAD_IDNT	特売の一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレ ンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MKDN_AMT	値下げ高 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKDN_AMT_LCL	値下げ高 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKDN_QTY	値下げの数量です。	12	Number(12,4)	No
F_MKUP_AMT	値入高 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKUP_AMT_LCL	値入高 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKUP_QTY	値入の数量です。	12	Number(12,4)	No

stlblwdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週におけるデパートメント、クラス、サブクラスについて、在庫元帳高が格納されます。
- このテキストファイルは、dept_idnt、class_idnt、subclass_idnt、loc_idnt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SBCLASS_IDNT	サブクラスの一意の識別子 です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	クラスの一意の識別子です。	4	Character	Yes
DEPT_IDNT	商品階層において、クラスが 属するデパートメントの一意の 識別子です。	4	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子 です。	10	Character	Yes
LOC_TYPE_CDE	ロケーションが店舗であるか ウェアハウスであるかを示す コードです。	2	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DAY_DT	トランザクション発生週の最終日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_IVL_BEG_SOH_COST_AMT	週初めの手持ち在庫の合計原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_BEG_SOH_COST_AMT_LCL	週初めの手持ち在庫の合計原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_BEG_SOH_RTL_AMT	週初めの手持ち在庫の合計売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_BEG_SOH_RTL_AMT_LCL	週初めの手持ち在庫の合計売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SOH_ADJ_COST_AMT	サブクラス/ロケーションの 1 週間における手持ち在庫調整の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SOH_ADJ_COST_AMT_LCL	サブクラス/ロケーションの 1 週間における手持ち在庫調整の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SOH_ADJ_RTL_AMT	サブクラス/ロケーションの 1 週間における手持ち在庫調整の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SOH_ADJ_RTL_AMT_LCL	サブクラス/ロケーションの 1 週間における手持ち在庫調整の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RCPTS_COST_AMT	入荷在庫品の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RCPTS_COST_AMT_LCL	入荷在庫品の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RCPTS_RTL_AMT	入荷在庫品の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RCPTS_RTL_AMT_LCL	入荷在庫品の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTV_COST_AMT	ベンダーに返品された在庫品の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTV_COST_AMT_LCL	ベンダーに返品された在庫品の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTV_RTL_AMT	ベンダーに返品された在庫品の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTV_RTL_AMT_LCL	ベンダーに返品された在庫品の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_IVL_TRNSFR_IN_ COST_AMT	他から在庫移動された在庫の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_IN_ COST_AMT_LCL	他から在庫移動された在庫の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_IN_ RTL_AMT	他から在庫移動された在庫の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_IN_ RTL_AMT_LCL	他から在庫移動された在庫の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_OUT_ COST_AMT	他へ在庫移動された在庫の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_OUT_ COST_AMT_LCL	他へ在庫移動された在庫の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_OUT_ RTL_AMT	他へ在庫移動された在庫の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_TRNSFR_OUT_ RTL_AMT_LCL	他へ在庫移動された在庫の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SHRK_COST_ AMT	実績と終了時在庫の差の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SHRK_COST_ AMT_LCL	実績と終了時在庫の差の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SHRK_RTL_ AMT	実績と終了時在庫の差の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SHRK_RTL_ AMT_LCL	実績と終了時在庫の差の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTRNS_COST_ AMT	販売から返品された在庫品の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTRNS_COST_ AMT_LCL	販売から返品された在庫品の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTRNS_RTL_ AMT	販売から返品された在庫品の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RTRNS_RTL_ AMT_LCL	販売から返品された在庫品の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_IN_ COST_AMT	このロケーションへリクラス ゼーションされた在庫品の原価 額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_IN_ COST_AMT_LCL	このロケーションへリクラス ゼーションされた在庫品の原価 額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_IVL_RECLASS_IN_ RTL_AMT	このロケーションヘリクラス ゼーションされた在庫品の売価 額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_IN_ RTL_AMT_LCL	このロケーションヘリクラス ゼーションされた在庫品の売価 額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_OUT_ COST_AMT	このロケーションからリクラス ゼーションされた在庫品の原価 額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_OUT_ COST_AMT_LCL	このロケーションからリクラス ゼーションされた在庫品の原価 額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_OUT_ RTL_AMT	このロケーションからリクラス ゼーションされた在庫品の売価 額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_RECLASS_OUT_ RTL_AMT_LCL	このロケーションからリクラス ゼーションされた在庫品の売価 額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SLS_COST_AMT	販売した在庫品の原価額 (既定 通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SLS_COST_ AMT_LCL	販売した在庫品の原価額 (ロー カル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SLS_RTL_AMT	販売した在庫品の売価額 (既定 通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_SLS_RTL_AMT_ LCL	販売した在庫品の売価額 (ロー カル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_END_SOH_ COST_AMT	週末手持ち在庫の合計原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_END_SOH_ COST_AMT_LCL	週末手持ち在庫の合計原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_END_SOH_RTL_ AMT	週末手持ち在庫の合計売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_END_SOH_RTL_ AMT_LCL	週末手持ち在庫の合計売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GRS_PRFT_ AMT	合計グロス利益額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GRS_PRFT_ AMT_LCL	合計グロス利益額 (ローカル通 貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_IVL_CUM_MKON_PCT	累積値付け率です。	12	Number(12,4)	No
F_IVL_ACTL_STOCK_COST_AMT	棚卸後の実際の在庫の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_ACTL_STOCK_COST_AMT_LCL	棚卸後の実際の在庫の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_ACTL_STOCK_RTLL_AMT	棚卸後の実際の在庫の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_ACTL_STOCK_RTLL_AMT_LCL	棚卸後の実際の在庫の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKUP_AMT	価格の上方修正額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKUP_AMT_LCL	価格の上方修正額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKUP_CNCLLD_AMT	価格の上方修正に対する調整額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKUP_CNCLLD_AMT_LCL	価格の上方修正に対する調整額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKDN_CNCLLD_AMT	以前の相殺で使用された価格の上方修正額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_MKDN_CNCLLD_AMT_LCL	以前の相殺で使用された価格の上方修正額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_PERM_MKDN_AMT	永久値下げ額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_PERM_MKDN_AMT_LCL	永久値下げ額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_PRMTN_MKDN_AMT	特売値下げ額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_PRMTN_MKDN_AMT_LCL	特売値下げ額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CLRC_MKDN_AMT	クリアランス値引き額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CLRC_MKDN_AMT_LCL	クリアランス値引き額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_EMPTY_DISC_AMT	従業員割引額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_IVL_EMPTY_DISC_AMT_LCL	従業員割引額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CASH_DISC_AMT	現金割引額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_CASH_DISC_AMT_LCL	現金割引額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_FRGHT_COST_AMT	輸送費 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_FRGHT_COST_AMT_LCL	輸送費 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_WRKRM_COST_AMT	ワークルーム費 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_WRKRM_COST_AMT_LCL	ワークルーム費 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GAFS_COST_AMT	販売可能な商品の原価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GAFS_COST_AMT_LCL	販売可能な商品の原価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GAFS_RTL_AMT	販売可能な商品の売価額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_IVL_GAFS_RTL_AMT_LCL	販売可能な商品の売価額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

ttldmdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、入札タイプのトランザクション情報が格納されます。
- ターゲットテーブルで、金額が、tndr_type_idnt、tran_idnt、loc_idnt、day_dt、min_idnt、rgstr_idnt、cshr_idnt 別に合計されます。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
TNDR_TYPE_ID_IDNT	入札タイプの一意の識別子です。	6	Character	Yes
TRAN_IDNT	トランザクションの一意の識別子です。	30	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYYMMDD)	Yes
MIN_IDNT	トランザクション発生時刻 (分) の一意の識別子です。hour_idnt の後に 1 ~ 60 の数字を続けて構成される識別子で、その時間の分を示します。	4	Number(4)	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes
CSHR_IDNT	キャッシュの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_CC_SCAN_FLAG	クレジットカードがスキャンされたか、手動入力されたかを示します。有効な値は "Y" (スキャン済み) と "N" (手動入力済み) です。	1	Character	No
F_TNDR_COUPON_COUNT	各トランザクションで使用された入札クーポンの合計数です。入札クーポンは、店舗ではなくメーカーが発行します。	16	Number(16,4)	No
F_TNDR_COUPON_AMT	各トランザクションで使用された入札クーポンの合計額 (既定通貨) です。入札クーポンは、店舗ではなくメーカーが発行します。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_COUPON_AMT_LCL	各トランザクションで使用された入札クーポンの合計額 (ローカル通貨) です。入札クーポンは、店舗ではなくメーカーが発行します。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_SLS_AMT	特定の入札タイプで支払われた売上高 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_SLS_AMT_LCL	特定の入札タイプで支払われた売上高 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_RTRNS_SLS_AMT	特定の入札タイプに対して払い戻された返金額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_TNDR_RTRNS_SLS_AMT_LCL	特定の入札タイプに対して払い戻された返金額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

vchreschddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、復帰証票の日付と数が格納されます。復帰証票になると、小売業者は証票に関してすべての法的な責任から免除されます。復帰証票の数および復帰日付は、このテキストファイルから取得されます。
- このテキストファイルは、同じ day_dt に対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_ESCH_COUNT	特定の日の復帰証票の総数です。	16	Number(16,4)	No
F_ESCH_AMT	復帰証票の金額です。証票が発行されなかった場合は、復帰金額は 0 です。証票が発行された場合は、発行された金額が復帰金額です。	18	Number(18,4)	No

vchrmoveldsg.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには発行された証票と買い戻した証票の情報が個々の証票レベルで格納されます。
- このテキストファイルは、同じ vchr_line_no、vchr_status_cde の組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
VCHR_LINE_NO	証票の一意の識別子です。	20	Character	Yes
VCHR_STATUS_CDE	この証票に対する発行 (I) レコードか買い戻し (R) レコードかを示します。	1	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes (ロケーションがない場合は-1)
DAY_DT	証票のステータスが取得された日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	No
VCHR_AGE	証票の有効期間の日数です。	6	Number(6)	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
TNDR_TYPE_ID_IDNT	入札タイプの一意の識別子です。入札タイプの例としては、Discover Card、Master Card、Visa などが挙げられます。	6	Character	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes (レジがない場合は -1)
CSHR_IDNT	キャッシャの一意の識別子です。この証票が発行または買い戻された金額です。	10	Character	Yes (キャッシャがない場合は -1)
F_AMT	この証票が発行または買い戻された金額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_AMT_LCL	この証票が発行または買い戻された金額 (発行または買い戻されたロケーションのローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

vchroutlwdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、day_dt の時点における未処理証票の情報が格納されます。証票は発行されてまだ買い戻しか復帰 (完全な未処理) になっていない場合未処理となります。
- このテキストファイルは、loc_idnt、week、vchr_age、tndr_type_id_idnt、rgstr_idnt、cshr_idnt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	証票が発行された日付のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
VCHR_AGE	証票の有効期間の日数です。	6	Number(6)	Yes
TNDR_TYPE_ID_IDNT	入札タイプの一意の識別子です。入札タイプの例としては、Discover Card、Master Card、Visa などが挙げられます。	6	Character	Yes
RGSTR_IDNT	レジの一意の識別子です。	10	Character	Yes

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
CSHR_IDNT	キャッシャの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_OUT_COUNT	未処理証票の数です。	16	Number(16,4)	No
F_OUT_AMT	未処理証票の金額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_OUT_AMT_LCL	未処理証票の金額 (ローカル通貨) です	18	Number(18,4)	No

読み込み専用

mslsdlwdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週における、市場カテゴリおよび市場エリアレベルの市場売上データが格納されます。
- このテキストファイルは、mkt_dept_idnt、mkt_area_level_idnt、wk_end_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
MKT_DEPT_IDNT	市場部門の一意の識別子です。	13	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL_IDNT	市場エリアレベルの一意の識別子です。	16	Character	Yes
WK_END_DT	週の最後の日付です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
MKT_GEO_LEVEL	市場地区レベルです。有効な値は 1、2、3 のいずれかです。	1	Character	Yes
MKT_RECD_CURR_DT	市場データの作成日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MKT_SLS_AMT_LCL	その週の市場アイテムの合計売上 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_AMT	その週の市場アイテムの合計売上 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_QTY	その週に販売された市場アイテムの合計数です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_MKT_AVG_ACV_WGT_DIST_PCT	全商品金額を加重した週間平均配分量です。商品をストックしている店舗の割合に全商品金額を加重した値を示します。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_MMACHV_SLS_RATE	全商品金額 (\$MM/百万ドル) あたりの週間平均売上高 (売上率) です。\$MM あたりの全商品金額に基づいて、商品の配分と販売効率の関係を示します。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_WGT_PRICE_REDT_PCT	加重平均値下げ率です。そのアイテムを販売している全店舗での平均値下げ額に各小売での販売数を加重した値です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_STORE_SELL_ITEM_QTY	週間平均アイテム販売数 (店舗別) です。各店舗で選択された商品の平均 UPC 数です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_NORMAL_AMT_LCL	その週のディスプレイ、特売、値下げとは関係のない売上の予想額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_NORMAL_AMT	その週のディスプレイ、特売、値下げとは関係のない売上の予想額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_NORMAL_QTY	その週のディスプレイ、特売、値下げとは関係のない売上の予想数です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_CUT_AMT_LCL	宣伝/値下げによる合計売上 (ローカル通貨) です。宣伝、ディスプレイ、または値下げされているアイテムの合計売上額です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_CUT_AMT	宣伝/値下げによる合計売上 (既定通貨) です。宣伝、ディスプレイ、または値下げされているアイテムの合計売上額です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_CUT_QTY	宣伝/値下げによる合計単位売上です。宣伝、ディスプレイ、または値下げされているアイテムの合計単位売上額です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_AMT_LCL	宣伝されているアイテムの合計売上 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_MKT_MAIN_AD_AMT	宣伝されているアイテムの合計売上 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_QTY	宣伝されているアイテムの合計単位売上です。	12	Number(12,4)	No

mslsilwdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週における、市場アイテム、市場エリアレベル、および週レベルの市場売上データが格納されます。
- このテキストファイルは、mkt_item_idnt、mkt_area_level_idnt、wk_end_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
MKT_ITEM_IDNT	市場アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
MKT_AREA_LEVEL_IDNT	市場エリアレベルの一意の識別子です。	16	Character	Yes
WK_END_DT	週の最後の日付です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
MKT_GEO_LEVEL	市場地区レベルです。	1	Character	Yes
MKT_RECD_CURR_DT	ソースシステムにおけるこのレコードの最新の日付です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MKT_SLS_AMT_LCL	その週の市場アイテムの合計売上 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_AMT	その週の市場アイテムの合計売上 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_QTY	販売済み市場アイテムの総数です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_ACV_WGT_DIST_PCT	全商品金額を加重した週間平均配分量です。商品をストックしている店舗の割合に全商品金額を加重した値を示します。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_MMACHV_SLS_RATE	全商品金額 (\$MM/百万ドル) あたりの週間平均売上高 (売上率) です。\$MM あたりの全商品金額に基づいて、商品の配分と販売効率の関係を示します。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_MKT_AVG_WGT_PRICE_REDT_PCT	加重平均値下げ率です。そのアイテムを販売している全店舗での平均値下げ額に各小売での販売数を加重した値です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_AVG_STORE_SELL_ITEM_QTY	週間平均アイテム販売数 (店舗別) です。商品を持する各店舗で有効な選択した商品の異なる UPC の平均数です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_NORMAL_AMT_LCL	その週のディスプレイ、特売、値下げとは関係のない売上予想額 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_NORMAL_AMT	その週のディスプレイ、特売、値下げとは関係のない売上予想額 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_NORMAL_QTY	ディスプレイ、特売、または値下げなどの影響がなかった場合に記録されたと思われる見積もり売上数量を計算します。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_CUT_AMT_LCL	宣伝/値下げによる合計売上 (ローカル通貨) です。宣伝、ディスプレイ、または値下げされているアイテムの合計売上額です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_CUT_AMT	宣伝/値下げによる合計売上 (既定通貨) です。宣伝、ディスプレイ、または値下げされているアイテムの合計売上額です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_SLS_PRICE_CUT_QTY	宣伝/値下げによる合計単位売上です。宣伝、ディスプレイ、または値下げされているアイテムの合計単位売上額です。	12	Number(12,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_AMT_LCL	宣伝されているアイテムの合計売上 (ローカル通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_AMT	宣伝されているアイテムの合計売上 (既定通貨) です。	18	Number(18,4)	No
F_MKT_MAIN_AD_QTY	宣伝されているアイテムの合計単位売上です。	12	Number(12,4)	No

plcblwdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週におけるデパートメント、クラス、サブクラスについて、現行の計画データが格納されます。
- このテキストファイルは、day_dt、dept_idnt、class_idnt、subclass_idnt、loc_idnt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DAY_DT	トランザクション発生週の最終日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
DEPT_IDNT	デパートメントの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	商品階層において、アイテムが属するクラスの一意の識別子です。	4	Character	No
SBCLASS_IDNT	商品階層において、アイテムが属するサブクラスの一意の識別子です。	4	Character	No
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
F_PLN_CURR_SLS_QTY	通常売上、クリアランス売上、特売売上から顧客による返品分を差し引いた合計売上数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_SLS_AMT	通常売上、クリアランス売上、特売売上から顧客による返品分を差し引いた合計売上額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_GRS_PRFT_AMT	グロス利益額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RGLR_MKDN_AMT	通常値下げ額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CLRC_MKDN_AMT	現行計画のクリアランス値下げ額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_PRMTN_MKDN_AMT	特売値下げ額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_SHRK_QTY	損傷、紛失、盗難によって減少した在庫品の合計数 (ロス数) (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_PLN_CURR_SHRK_ RTL_AMT	損傷、紛失、盗難によって減少した在庫品の合計売価額 (ロス売価額) (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_BOP_ QTY	現行計画開始時の在庫数です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_BOP_ COST_AMT	現行計画開始時の在庫原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_BOP_ RTL_AMT	現行計画開始時の在庫売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_OTB_ QTY	予定在庫レベル以内に収まる仕入れ商品の数量 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_OTB_ COST_AMT	予定在庫レベル以内に収まる仕入れ商品の原価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_OTB_ RTL_AMT	予定在庫レベル以内に収まる仕入れ商品の売価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ RCPTS_QTY	商品の仕入れ数量 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_RCPTS_ COST_AMT	商品の仕入れ予定数量の原価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RCPTS_ RTL_AMT	商品の予定仕入れ数量の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CMTS_ RTL_AMT	現行計画での取引先への支払い (売価額) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_ CNCLLD_RTL_AMT	発注キャンセル売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_ RTL_AMT	発注後、まだ納品されていない商品の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RECL_ IN_RTL_AMT	リクラスゼーションの結果として、他から在庫移動された在庫品の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RECL_ OUT_RTL_AMT	リクラスゼーションの結果として、他へ在庫移動された在庫品の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RCVD_ RTL_AMT	仕入れた商品の売価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_PLN_CURR_RTV_RTL_AMT	ベンダーに返品された商品の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CMTS_QTY	未承認の発注数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_CNCLLD_QTY	キャンセルされた注文の単位数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_QTY	発注後、まだ納品されていない商品の数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_RECL_IN_QTY	リクラスゼーションの結果として、他から在庫移動された在庫品の数量 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_RECL_OUT_QTY	リクラスゼーションの結果として、他へ在庫移動された在庫品の数量 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_RCVD_QTY	仕入れ商品 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_RTV_QTY	ベンダーに返品された商品の単位数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_EOP_RTL_AMT	終了時在庫の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_WOS_AMT	現行計画での供給可能週数 (開始時の在庫高と週あたりの売上高との比率) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_EOP_COST_AMT	終了時在庫の原価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_CNCLLD_COST_AMT	発注キャンセル原価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_ORD_COST_AMT	発注後、まだ納品されていない商品の原価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RCVD_COST_AMT	仕入れた商品の原価 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CMTS_COST_AMT	現行計画での取引先への支払い (原価額) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_CUM_MKUP_AMT	累積在庫を含め、配送された商品の合計原価と、特定の期間内に売買された合計オリジナル売価額との差の比率 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_PLN_CURR_EOP_QTY	終了時在庫の単位数 (現行計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_WOS_QTY	現行計画での供給可能週数 (開始時の在庫数と週あたりの販売数との比率) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_CURR_COGS_AMT	販売した商品の原価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_SLS_VAT_AMT	通常売上、クリアランス売上、特売売上から返品分を差し引いた合計付加価値税額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_EMPTY_DISC_AMT	従業員の売価割引額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_FRGHT_COST_AMT	輸送費 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_WKRM_COST_AMT	ワークルーム原価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_CURR_RTRNS_SLS_AMT	顧客売上の返品の売価額 (現行計画) です。	18	Number(18,4)	No

ploblwdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の週におけるデパートメント、クラス、サブクラスについて、オリジナルの計画データが格納されます。
- このテキストファイルは、day_dt、dept_idnt、class_idnt、sbclass_idnt、loc_idnt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DAY_DT	トランザクション発生週の最終日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
DEPT_IDNT	デパートメントの一意の識別子です。	4	Character	Yes
CLASS_IDNT	商品階層において、アイテムが属するクラスの一意の識別子です。	4	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SBCLASS_IDNT	商品階層において、アイテムが属するサブクラスの一意的識別子です。	4	Character	No
LOC_IDNT	ロケーションの一意的識別子です。	10	Character	Yes
F_PLN_ORIG_SLS_QTY	通常売上、クリアランス売上、特売売上から返品分を差し引いた合計販売数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_SLS_AMT	通常売上、クリアランス売上、特売売上から返品分を差し引いた合計売上 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_GRS_PRFT_AMT	グロス利益 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RGLR_MKDN_AMT	通常値下げ額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CLRC_MKDN_AMT	クリアランス値下げ額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_PRMTN_MKDN_AMT	特売値下げ額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_SHRK_QTY	損傷、紛失、盗難によって減少した在庫品の合計数 (ロス数) (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_SHRK_RTL_AMT	損傷、紛失、盗難によって減少した在庫品の合計売価額 (ロス売価額) (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_BOP_QTY	オリジナル計画開始時の在庫数です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_BOP_COST_AMT	オリジナル計画開始時の在庫原価額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_BOP_RTL_AMT	オリジナル計画開始時の在庫売価額です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RCPTS_QTY	予定在庫レベル内に収まる仕入れ商品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_PLN_ORIG_RCPTS_ COST_AMT	予定在庫レベル内に収まる仕入れ商品の原価 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RCPTS_ RTL_AMT	予定在庫レベル内に収まる仕入れ商品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CMTS_ RTL_AMT	取引先に支払うべき売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_ CNCLLD_COST_AMT	発注キャンセルの原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_ RTL_AMT	発注後、未入荷の商品の売価 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RECL_ IN_RTL_AMT	リクラスゼーションの結果として、他から在庫移動された在庫品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RECL_ OUT_RTL_AMT	リクラスゼーションの結果として、他へ在庫移動された在庫品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RCVD_ RTL_AMT	入荷商品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RTV_ RTL_AMT	ベンダーに返品された商品の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CMTS_ QTY	発注後、未承認の単位数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_ CNCLLD_QTY	キャンセルされた発注数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_ QTY	発注後、未入荷の商品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_RECL_ IN_QTY	リクラスゼーションの結果として、他から在庫移動された在庫品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_RECL_ OUT_QTY	リクラスゼーションの結果として、他へ在庫移動された在庫品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_RCVD_ QTY	入荷商品数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_PLN_ORIG_RTV_QTY	ベンダーに返品された商品の数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_EOP_RTL_AMT	終了時在庫の売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_EOP_QTY	終了時在庫の単位数 (オリジナル計画) です。	12	Number(12,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_COST_AMT	発注後、未入荷の商品の原価 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_ORD_CNCLLD_RTL_AMT	発注キャンセルの売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CMTS_COST_AMT	取引先に支払うべき原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RCVD_COST_AMT	入荷商品の原価 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_CUM_MKUP_AMT	累積在庫を含め、配送品の合計原価と、特定の期間内に売買された商品の合計オリジナル売価額との差の比率 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_COGS_AMT	販売された商品の原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_SLS_VAT_AMT	通常売上、クリアランス売上、特売売上から返品分を差し引いた合計付加価値税額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_EMPTY_DISC_AMT	小売の従業員割引 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_FRGHT_COST_AMT	輸送費 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_WKRM_COST_AMT	ワークルームの原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_RTRNS_SLS_AMT	顧客売上の返品 of 売価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No
F_PLN_ORIG_EOP_COST_AMT	終了時の原価額 (オリジナル計画) です。	18	Number(18,4)	No

scmidlddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、取引先による不明な配送に関するデータが、ロケーション、日付別に格納されます。
- このテキストファイルは、supp_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_MISSED_SCHED_COUNT	納品されていない予定出荷の合計数です。	16	Number(16,4)	No

scqcdm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、QC (品質管理) を必要としている各アイテムが品質管理テストに合格したかどうかについての出荷情報が格納されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、ship_idnt、supp_idnt、loc_idnt、day_dt、po_idnt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
SHIP_IDNT	出荷の一意の識別子です。	10	Character	Yes
SUPP_IDNT	取引先の一意の識別子です。	10	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
PO_IDNT	発注の一意の識別子です。	8	Character	Yes
F_QC_FLAG	入荷時に品質管理チェックが必要かどうかを示します。	1	Character	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_QC_FAILED_QTY	品質管理チェックで落とされたアイテムの合計数です。	12	Number(12,4)	No
F_QC_PASSED_QTY	品質管理チェックに合格したアイテムの合計数です。	12	Number(12,4)	No

spallddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日の、特定のロケーションにおける、各デパートメントのアロケーション領域の量に関する情報が格納されます。この領域は、1 次元、2 次元、3 次元のいずれかの単位 (線形、方形、立方) で示されます。
- このテキストファイルは、dept_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
DEPT_IDNT	デパートメントの一意の識別子です。	4	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_SA_LINEAR_AMT	線形スペースの容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_AMT	方形スペースの容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_AMT	立方スペースの容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_LINEAR_MAX_AMT	線形スペースの最大容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_MAX_AMT	方形スペースの最大容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_MAX_AMT	立方スペースの最大容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_LINEAR_MIN_AMT	線形スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_MIN_AMT	方形スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_MIN_AMT	立方スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_FACINGS	ディスプレイフェイスの数です。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_SA_ON_DISP_IND	アイテムがディスプレイされているかどうかを示します。	1	Character	No
F_SA_ON_FEAT_IND	アイテムが宣伝中かどうかを示します。	1	Character	No

spalilddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、特定の日の、特定のロケーションにおける、各アイテムのアロケーション領域の量に関する情報が格納されます。この領域は、1 次元、2 次元、3 次元のいずれかの単位 (線形、方形、立方) で示されます。
- このテキストファイルは、item_idnt、loc_idnt、day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
ITEM_IDNT	アイテムの一意の識別子です。	25	Character	Yes
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	トランザクション発生日のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_SA_LINEAR_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた線形領域の量です。顧客指定の UOM によって表されます。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた 2 次元領域の量です。顧客指定の UOM によって表されます (平方フィートや平方センチメートルなど)。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた 3 次元領域の量です。顧客指定の UOM によって表されます (立方フィートや立方センチメートルなど)。	18	Number(18,4)	No
F_SA_LINEAR_MAX_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた線形領域の最大量です。顧客指定の UOM によって表されます。	18	Number(18,4)	No

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
F_SA_SQUARE_MAX_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた2次元領域の最大量です。顧客指定のUOMによって表されます(平方フィートや平方センチメートルなど)。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_MAX_AMT	ロケーションにおいてアイテムに割り当てられた3次元領域の最大量です。顧客指定のUOMによって表されます(立方フィートや立方センチメートルなど)。	18	Number(18,4)	No
F_SA_LINEAR_MIN_AMT	線形スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_SQUARE_MIN_AMT	方形スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_CUBIC_MIN_AMT	立方スペースの最小容量です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_FACINGS	ディスプレイフェイスの数です。	18	Number(18,4)	No
F_SA_ON_DISP_IND	アイテムがディスプレイされているかどうかを示します。	1	Character	No
F_SA_ON_FEAT_IND	アイテムが宣伝中かどうかを示します。	1	Character	No

sttflddm.txt ファイルの仕様

ビジネスルール:

- このテキストファイルには、店舗の輸送情報が格納されます。
- このテキストファイルは、loc_idnt と day_dt の同じ組み合わせに対して重複するトランザクションを格納することはできません。

フィールド名	説明	最大 列長	データ型/ フォーマット	必須 フィールド
LOC_IDNT	ロケーションの一意の識別子です。	10	Character	Yes
DAY_DT	店舗への訪問があった日付のカレンダー日です。		Date (YYYY MMDD)	Yes
F_STORE_TRAFFIC	特定の日にその店舗を訪れた客の数です。	16	Number(16,4)	No